

注 文 書

発注者
名取市長 山田 司郎

令和7年度
第4号 大曲準幹線築造工事（その6）
工事場所 名取市 大曲 地内

【工事概要】

施工延長	L=132.3m
機械設備撤去工	一式
電気設備撤去工	一式
汚泥処理工	一式
舗装工	A=622m ²

【工期】

契約締結の翌日より令和8年3月31日

【契約保証金】

徴収

【支払条件】

前払い金	あり
出来形部分払い	なし

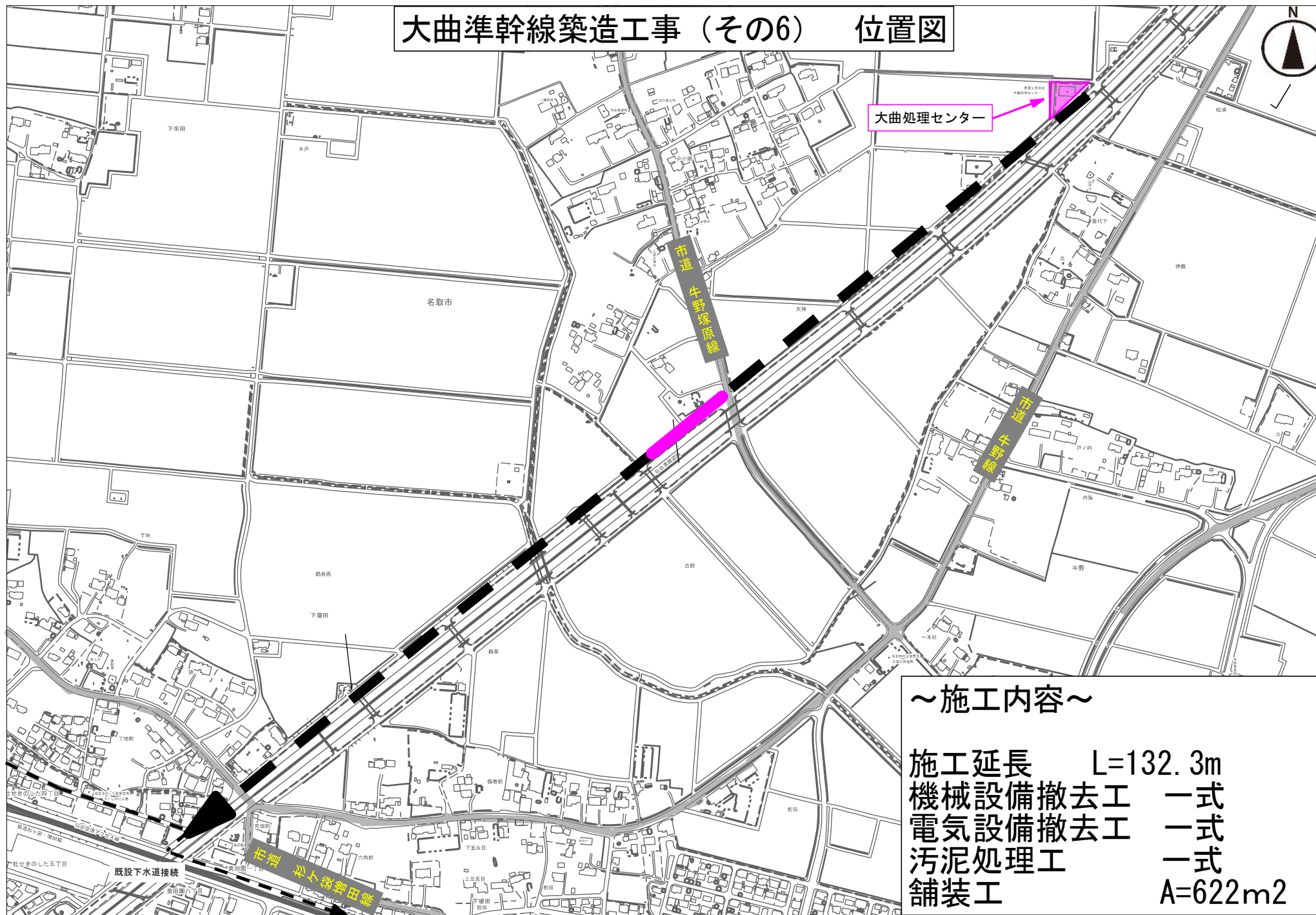
【添付書類】

位置図
特記仕様書
金抜設計書
図面
参考数量計算書

位 置 図

令和 7 年度 大曲準幹線築造工事（その 6）

大曲準幹線築造工事（その6） 位置図



特記仕様書・条件明示書

令和 7 年度 大曲準幹線築造工事（その 6）

特 記 仕 様 書

- 1 共通仕様書（土木工事編ⅠⅡ）の適用
本工事の施工にあたっては、「宮城県土木部制定共通仕様書（土木工事編ⅠⅡ）」に基づき実施しなければならない。
- 2 共通仕様書（土木工事編ⅠⅡ）に対する特記事項
共通仕様書（土木工事編ⅠⅡ）に対する特記仕様事項は次のとおりとする。

第 1 章 総 則

第 1 条 契約、規程

- 1 契約等においては、名取市契約規則、名取市建設工事執行規則及び名取市工事検査規程等に基づき履行しなければならない。
- 2 現場代理人と主任技術者の兼務は認めるものとする。
- 3 前項の者は、少なくとも次に掲げる資格のすべてを有するものとする。
 - イ) 土木施工管理の資格
 - ロ) 下水道法による監督管理の資格
- 4 工事の一部を第三者に請け負わせる場合は、契約書第 7 条の規程により直ちに書面をもって発注者の承認を得ること。
添付書類は施工体制台帳、請負体系図、建設業の許可証の写し、見積書（承認申請時）等とし、後日請書の写しを提出すること。

第 2 条 関係機関との協議

本工事に係る関係機関との協議は、本工事契約締結後速やかに手続きを行うものとする。

第 3 条 工期

本工事の工期は、令和 8 年 3 月 3 1 日迄とする。

第 4 条 騒音規制法及び振動規制法

騒音規制法及び振動規制法に定められた特定建設作業については、当該工事着手一週間前までに名取市生活経済部クリーン対策課に届け出なければならない。

第 5 条 工事現場管理

- 1 工事の施工にあたっては、着手前に道路管理者の指示を遵守するとともに、「道路工事保安施設設置基準」に基づき適切な交通管理を行うものとする。

- 2 工事の施工に際し、地下埋設物等が予想される場合は、その管理者と現地立会いのうえ当該物件の位置、深さ等を確認し、保安対策について十分打合せを行い、事故の発生を防止しなければならない。
- 3 請負者の責により地下埋設物等に損害を与えた場合は、速やかに監督員に報告するとともに、関係機関に連絡し応急処置をとり、請負者の負担によりこれを補修しなければならない。
- 4 道路及び地下埋設物管理者から指示または指摘された場合には、直ちに対処し、監督員に連絡しなければならない。
- 5 本工事の施工は、法令及び「建設工事公衆災害防止対策要綱」に準じて工事を行わなければならない。
- 6 残土等の搬出による公道の路面汚損防止に努めなければならない。
- 7 大雨による排水については、直に対応できるよう対策を講じなければならない。
- 8 本工事に係る苦情や要望が付近住民等からあった場合には、直ちに善処し、また監督員に連絡及び協議しなければならない。
- 9 歩行者の迂回については、道路管理者、交通管理者、消防署、地元と綿密に調整し、歩行者や沿道の住民や商業施設の営業に支障の無いように工事を進めなければならない。
また、仮設通路の安全施設や、仮設駐車場が必要となった場合は請負者の負担において設置するものとする。

第6条 事前調査等

- 1 請負者は工事着手前・工事中・工事後において下記項目のうち当該工事に必要な調査を請負者負担により実施し、その結果を図書により監督職員に提出しなければならない。
 - ・ 家屋等の調査
 - ・ 地下埋設物の調査（下水埋設深まで）
 - ・ 井戸枯れ等、地下水に関する調査
 - ・ 地質等の調査
 - ・ 測量調査等

隣接工区との施工基準位置のズレを防止する為、今年度発注及び過年度発注工事について、施工起終点・施工基準点高・現況地盤高・センター測点位置等について隣接工区とこれらの確認し結果を報告すること。

 - ・ その他必要な事項
- 2 前項の調査は監督職員と協議のうえ行わなければならない
なお、水道については管理者と立会いを行い、埋設箇所を確認した後掘削等の作業に着工すること。

第7条 安全・訓練等の実施

本工事の施工に際し、現場に即した安全・訓練等について、工事着手後、原則として作業員全員の参加により月当たり半日以上の時間を割り当て、下記の項目から実施内容を選択し安全・訓練等を実施するものとする。

- 1 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
- 2 本工事内容等の周知徹底
- 3 土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
- 4 本工事における災害対策等
- 5 本工事現場で予想される事故対策
- 6 その他、安全・訓練等として必要な事項

第8条 安全・訓練等に関する施工計画

施工に先立ち作成する施工計画書に、本工事の内容に応じた安全・訓練の具体的な計画を作成し、監督員に提出するものとする

第9条 安全・訓練等の実施状況報告

安全・訓練等の実施状況をビデオ等または工事報告（工事週報・写真）に記録し、報告するものとする。

第10条 建設業退職金共済制度

建設業退職金共済制度のうち、特に現場労働者に対する手帳の交付証紙の貼付けを履行すると共に、「建設業退職金共済制度適用事業種工事現場」のシールを工事現場に掲示することにより、建設労働者の福祉の向上と、建設業の健全な発展に寄与するよう配慮すること。

また、掛金収納書（発注者提出用）を提出すること。

第11条 工事カルテ作成、登録

請負者は、受注時又は変更において工事請負代金額が500万円以上の工事について、受注時、登録内容の変更時は変更のあった日から土、日、祝日を除き10日以内に、完成時は完成後10日以内、工事实績情報サービス（C O R I N S）に基づき「工事カルテ」を作成し、監督職員の承認を受けた後に財団法人 日本建設情報総合センターに提出しなければならない。

また、財団法人 日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ」の写しを監督員に提出しなければならない。

第12条 建設副産物情報交換システム

（請負代金額が1百万円以上の場合は工事登録をするものとする。）

請負者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに、建設副産物情報交換システム（（財）日本建設情報総合センター建

設副産物センター）にデータの入力を行うものとする。

入力をした工事にあつては、当該システムにより再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し施工計画書に含め、かつ建設副産物情報交換システム工事登録証明書を監督職員に提出しなければならない。また、建設副産物実態調査にあつては、フロッピーディスク等によるデータ提出を省略するものとする。

なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第13条 作業時間帯

作業時間について、現道部は道路管理者の指示通りとする。

第14条 建設廃棄物処理

1 本工事において発生する建設廃棄物については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「建設リサイクル法」に基づく廃棄物として適正に処理するものとする。

【産業廃棄物税について】

本工事で発生する建設廃棄物のうち、宮城県内の最終処分場（中間処理施設経由を含む）に搬入される産業廃棄物については、宮城県の産業廃棄物税が課税されるので適正に取り扱うこと。

本工事では、宮城県の産業廃棄物税相当額を計上していない。

2 当該廃棄物は、産業廃棄物処理場に運搬処理するものとして運搬費及び処分費を見込んでいる。なお、この処理施設以外で自社最終処分場が所定の条件を満たしていると認められる場合は設計変更の対象とする。

ただし、この場合でも処分費は当初設計額における処分費を超えないものとする。

また、自社最終処分場に処理する場合の処分費は、当該最終処分場までの運搬費と最終処分場における処理費の合計額とする。

また、中間処理の場合でも同様とする。

3 当該工事受注後は、速やかに「建設廃棄物処理委託契約」を取り交わし、施工計画書の中にその写しと建設廃棄物処理計画を作成し、提出するものとする。

4 建設廃棄物を処理した後は、速やかに「建設廃棄物処理結果報告書」マニフェスト及び処理状況写真を提出すること。

5 建設残土（第三種建設発生土以上）を第三者所有地に処分する場合は、所有者とそれに関する処理契約（承諾書でもよい）を締結し、搬出完了時には所有者から署名押印のある確認書を取得すること。

当該地が農地の場合は農地法による転用の許可証の写しを添付すること。

- 6 第四種建設発生土に該当する建設発生土が現場より発生した場合は、監督員に協議を行い適切に処理すること。

第15条 建設発生土情報交換システム

（土量規模が搬出量 1,000m³ 以上又は搬入量 500m³ 以上の場合は工事登録をするものとする。）

請負者は、工事の実施に当たっては、土量、土質、土工期等に変更があった場合、速やかに当該発生土システム（（財）日本建設情報総合センター建設副産物センターとの契約）（利用料は無料）が必要）のデータ更新を行うものとする。

なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第16条 建設発生土現場管理者の選任

- 1 請負者は、建設発生土を確実に管理するものとして「建設発生土現場管理者」を選任し、施工計画書に記載し監督職員に提出すること。この場合、現場間の距離等を勘案して現場代理人を含めた複数の「現場発生土現場管理者」を選任することができる。

- 2 建設発生土搬出量等管理表等の提出の義務づけ

請負者は、当該工事の建設発生土の運搬に使用するダンプトラックについて「ダンプトラック等管理表」を、工事着手前に監督職員に提出すること。

また、記載された内容に変更がある場合は再提出すること。

- 3 建設発生土の運搬状況の確認

請負者は搬出を行う日毎に、稼働時刻、ナンバー、運転手等が特定できる「建設発生土搬出量等管理表」を作成し、1週間毎に集計した任意の調査を監督職員に提出すること。

- 4 搬出先土量の確認

請負者は、建設発生土の受入地において、搬出先土量を伝票により管理するとともに、搬出先の土砂を集積し、検測・確認して土量を確認すること。

また、受入地で集積ができない場合は、「建設発生土現場管理者」を定期的に現場に配置し、伝票により確認するとともに、搬出先土量を監督職員に報告すること。

第17条 竣工時提出資料

竣工時工事成果については、宮城県共通仕様書等に記載されているところであるが、下記のものについても提出すること。

- ・ 下水道主要資材、工法調書 1部
- ・ 出来形図 白焼き1部 縮版製本1部

竣工書類の他に、A1 白焼きを図袋にいれ、位置図を添付し、A4 紙ファイルにとじたもの。

A-3 の縮版製本(最終設計数値に出来形数値を赤書き)

- ・ 設計最終図面（原図・白焼き 各1部）
- ・ 設計最終数量計算書
- ・ 建設副産物調査（クレダス）
- ・ その他監督員が必要と認めるもの。

第 18 条 排ガス対策型建設機械の原則使用

下記に示す建設機械は、排ガス対策型を使用すること。

なお、排ガス対策型建設機械の保有台数が制限されていることから、実施において当該機種種の調達が困難な場合には設計変更により排ガス対策型以外の機種種に変更することができる。

建 設 機 械 名	備 考
バックホウ 車輪式トラクタショベル ブルドーザ 発動発電機 空気圧縮機 油圧ユニット ローラー ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（出力7.5kw～260kw）を搭載した建設機械に限る。 ただし、道路運送車両の保安基準に排出ガス基準が定められている自動車の種別で、有効な自動車検査証の交付を受けているものは除く。

第2章 施設撤去

第1条 工事範囲

本工事は大曲処理センターを対象に施設撤去を行う。なお撤去品は以下の通り。

機器名	数量
自動荒目スクリーン	1
スクリーンカバー	1
沈砂排出ポンプ	1
散気装置（ばっ気沈砂槽）	1
破砕機	1
細目スクリーン	1
角落しA	1
角落しB	2
水中攪拌ポンプ	2
流量調整ポンプ	2
自動微細目スクリーン	2
スクリーン槽	1
し渣脱水機	1
汚水計量槽	1
ばっ気攪拌装置	2
上澄水排出装置	2
汚泥引抜ポンプ	2
センターウェル	1
濃縮汚泥引抜ポンプ	1
散気装置（汚泥貯留槽）	4
ばっ気沈砂槽ブロワー	1
エアリフト用ブロワー	1
汚泥貯留槽ブロワー	1
回分槽ブロワー（常用）	2
回分槽ブロワー（予備）	1
メカセラ装置	1
塩素装置	1
散水ポンプ	1
消毒器	1
迂流板	5
循環水ポンプ	1
放流ポンプ	2
汚水切替弁（φ125）	2
脱離液流出弁（φ150）	1

回分槽ブロー一切替弁（65A）	2
大曲 7 号中継ポンプ	2
電磁流量計（100A）	1
電磁流量計（40A）	1
動力制御盤	一式
計装盤	一式
水位計	一式
界面計	一式
D0 計	一式
非常通報装置	一式
現場盤	2 面
関連ケーブル、配管及びプルボックス	一式
※埋込配管残置	
ステンレス鋼管（15A）	一式
ステンレス鋼管（20A）	一式
ステンレス鋼管（32A）	一式
ステンレス鋼管（40A）	一式
ステンレス鋼管（50A）	一式
ステンレス鋼管（65A）	一式
ステンレス鋼管（80A）	一式
ステンレス鋼管（100A）	一式
ステンレス鋼管（150A）	一式
塩化ビニル管（50A）	一式
塩化ビニル管（75A）	一式
塩化ビニル管（100A）	一式
塩化ビニル管（125A）	一式
塩化ビニル管（150A）	一式
配管貫通部	一式

また、配管等撤去後の処置としてスクリーン蓋、フランジ、キャップ、モルタル等により配管貫通部の処置を行うこと。

スクラップ控除については数量計算書の通り部材毎に係数案分し計上しているが、施工に際しては部材毎に解体し、適切な有価物処理を行うこと。
実施内容についての詳報を監督員へ書面で報告すること。

－ 特 記 仕 様 書 －

施 工 条 件 明 示 書

工事番号	第4号	工事名	大曲準幹線築造工事(その6)		事務所名	建設部下水道課											
項 目		条 件	内 容		施 工 方 法		備 考										
1 共通仕様書の適用		本工事は、宮城県土木部制定「共通仕様書」を適用するほか、本特記仕様書により施工するものとする。 仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。															
2 主任技術者及び監理技術者(以下、配置技術者という。)の配置																	
(1) 現場施工に着手する日の指定 (配置技術者の配置要件の特例) ※平成25年4月1日以降適用「現場施工の着手日を指定した工事における配置技術者の配置要件の特例について」		○	契約工期初日以降、90日以内に着手 (手持ち工事が完了した場合や、制約条件がない場合等は、期日以前の着手も可能)														
(2) 請負者が着手日を選択出来る工事(フレックス工事)		○	契約工期初日以降、○日以内に着手 土木工事共通特記仕様書第1編1-1-4によること。														
(3) 上記以外		●	請負者は、現場施工に着手する日の指定がない限り、原則として、契約工期初日以降、30日以内に現場施工に着手														
		上記現場施工に着手する日の前日までの期間において、工事準備等を含め工事現場が不移動であることが明確な場合は、配置技術者の工事現場への専任は要しない。 出納局契約課ホームページ参照のこと、 http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/kk50.html															
3 特例監理技術者の配置																	
		○対象	●対象外	建設業法第26条第3項ただし書の規程の適用を受ける監理技術者(特例監理技術者)の配置。 特例監理技術者を対象とする場合は下記によるものとする													
1 特例監理技術者を配置する場合は以下の(ア)～(サ)の要件を全て満たさなければならない。 (ア)本工事の現場施工に着手する日までに、建設業法第26条第3項ただし書による監理技術者の職務を補佐する者(以下、「監理技術者補佐」という。)を専任で配置すること。 (イ)監理技術者補佐は、一般施工管理技士補(令和3年4月1日施行予定)又は一般施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有するものであること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目は、特例監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。 (ウ)監理技術者補佐は入札参加者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。 (エ)同一の特例監理技術者が配置できる工事は、本工事を含め同時に2件までとする。 (ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるもの(当初の請負契約以外の請負契約が随意契約により締結される場合に限る。))については、これら複数の工事を一つの工事とみなす。) (オ)特例監理技術者が兼務できる工事は、本工事を所管する土木事務所(地域事務所)管内及び隣接土木事務所(地域事務所)管内の宮城県内で施行される工事でなければならない。 (カ)特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。 (キ)特例監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。 (ク)監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。 (ケ)専任補助者を配置しない工事であること。 (コ)維持管理業務同士は兼務できない。 ※24時間体制で応急処理工や緊急巡回等が必要な業務等 (サ)配置技術者の追加専任を必要としないもの。 2 本工事の監理技術者が特例監理技術者として兼務する場合、配置技術者届出書及び特例監理技術者の配置を予定している場合の確認事項を提出すること。 3 本工事において、特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は適切にコリンズ(CORIINS)への登録を行うこと。																	
4 積算基準及び設計単価の適用期日																	
(1) 積算基準及び設計単価の適用について		●ある	○ない	積算基準及び設計単価は、令和 7年4月 の基準及び単価としている。													
(2) 工事請負契約締結後における設計単価の変更		●ある	○ない	本工事は、当初工事請負契約締結後において、契約日を基準日として設計単価の設計変更を行うこととする。 なお、設計変更の対象は、資材単価・労務単価及び機械単価等の全ての設計単価とする。 ただし、災害に伴う応急仮工事など緊急を要す工事において、積算月と契約月が同月となる場合など、工事請負契約締結後における設計単価の変更が必要ないと判断される場合においては、適用「なし」を選択することも可能とし、その場合は下欄にその理由を記載する。													
				適用「なし」の理由													
5 工程関係																	
(1) 関連工事による施工時期の調整		●ある	○ない														
(2) 施工時期による制限		●ある	○ない														
(3) 関係機関等との協議の未成立		●ある	○ない	道路法第95条													
(4) 関係機関等との協議結果、特定条件の付加		●ある	○ない														
6 公害対策関係																	
(1) 施工方法、機械施設、作業時間等の制限		●ある	○ない	各関係法令、条例による													
7 安全対策関係																	
(1) 交通安全施設等の指定		●ある	○ない	保安施設設置計画書による													
(2) 占用埋設物との近接工事による 施工方法、作業時間の制限		●ある	○ない														
8 排水工関係																	
(1) 濁水、湧水処理のための特別な対策の必要性		●ある	○ない														
9 建設副産物対策関係(建設発生土)																	
(1) 建設発生土の処理・処分について		本工事の残土は、下記に運搬するものとする。なお、下記により難い場合が生じたときは、協議を行うこととする。 <table> <tr> <th rowspan="2">名称</th><th colspan="2">処理・処分する場所</th><th rowspan="2">処理・処分方法</th><th rowspan="2">距 離</th><th rowspan="2">制 限 時 間</th><th rowspan="2">備 考</th></tr> <tr> <th>所在地</th><th></th></tr> </table>							名称	処理・処分する場所		処理・処分方法	距 離	制 限 時 間	備 考	所在地	
名称	処理・処分する場所		処理・処分方法	距 離	制 限 時 間	備 考											
	所在地																
(2) 建設発生土	処理・処分	●ある	○ない				km										

10 建設副産物対策関係(建設発生土以外の建設副産物)										
(1) 建設発生土以外の建設副産物の処理・処分について			下記の処理・処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、下記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理・処分に先立ち処分場等の受入れの可否を確認すること。なお、廃棄物の処理に当たっては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守すること(環境省または循環型社会推進課のHPを参照)。							
			処理・処分する場所	処理・処分方法		距離	制限時間			
			工事現場内及び工事現場間で再利用する場合は、施工管理及び契約方法等について、施工計画打合せ時に監督職員と協議すること。							
(2) 建設発生土以外の建設副産物	処理・処分	コンクリート塊(有筋)	☒	☒				km	時分～分	
		コンクリート塊(無筋)	☒	☒				km	時分～分	
		アスファルト塊	☒	☒	弗若生技建がれき類プラント工場			3.1 km	時分～分	
		汚泥	☒	☒	ジャワ外勝仙田支店仙台エゴランド			17.7 km	時分～分	
		その他	☒	☒				km	時分～分	
(3) 再生材の利用			☒	☒	種類・数量		RC-40			
11 現場環境改善			☒	☒	内容 現場環境改善の具体的な実施内容、実施期間については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。					
12 品質証明										
(1) 品質証明書および施工プロセス品質確認チェックリストの対象			☒	☒	請負工事費が、1億5千万円以上の工事および発注者が必要と認める工事。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。					
(2) 施工プロセス品質確認チェックリストの対象			☒	☒	上記に該当せず、請負工事費が1億円以上の工事。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。					
13 標準的な設計図書による発注方式			☒	☒	土木工事共通特記仕様書第3編1-1-14によること。					
14 資材関係										
(1) 生コンクリート			生コンクリートの使用に当たっては、「宮城県生コンクリート品質管理監査会議」が交付する「品質管理監査合格証」を有する工場の製品、又は同等以上の品質管理を行っていることが認められる工場の製品を使用すること。							
(2) 購入土			購入土を使用する場合は、材料承諾時に「採石法第33条による採取計画認可書の写し」、又は「砂利採取法第16条の採取計画認可書の写し」を提出すること。							
(3) 宮城県グリーン製品の利用			必須		1. 植生基盤材等、視線誘導標、型枠用合板は、原則として宮城県グリーン製品を用いること。					
「宮城県グリーン製品」利用推進指針によると、「宮城県グリーン製品」を使用した場合は、請負者は循環型社会推進課HPより「チェックリスト」をダウンロードし、使用材料や数量等を入力後、工事完了後に監督職員に提出(電子メール)すること。			☒	☒	2. 盛土材、埋め戻し材					
			☒	☒	3. その他()					
(4) 県内産製品の使用			☒	☒	本工事は、「県土木部発注工事における県内産製品優先使用の試行要領」の対象工事である。 工事の施工にあたっては、試行要領に基づき適切に実施すること。 事業管理課ホームページ参照 http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/kensanzai.html					
(5) 現場吹付法枠工			吹付モルタルにおける圧縮強度の規格値は、18N/mm2以上とする。							
15 設計変更の手続き										
(1) 設計変更の手続きについて			設計変更については、工事請負契約書第19条～第26条及び共通仕様書第1編1-1-1-14～1-1-1-16に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「工事請負契約における設計変更ガイドライン」(宮城県土木部)によることとする。							
			詳細については、以下のホームページ「設計変更ガイドライン【土木工事,建設関連業務】」を参考とすること。 https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/henkou-guideline.html トップページ>しごと・産業>土木・建築・不動産業>建設業>設計変更ガイドライン【土木工事,建設関連業務】							
16 その他										
(1) 舗装の下請制限について			☒	☒	土木工事共通特記仕様書第1編1-1-3によること。					
(2) 「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象の有無			☒	☒	本工事は「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象工事であり、請負者は、調査票等に必要事項を正確に記入し発注者に提出する他、ダンプ土砂運搬等下請負契約に関する関係書類を提出すること。 請負者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負者は、当該工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む)も同様の義務を負う旨を周知すること。					
(3) 三者会議の対象の有無			☒	☒	本工事は、工事着手前等に当該工事の発注者、施工者、詳細設計等を担当した設計者が参加して、設計図書と現場の整合性の確認及び設計意図の伝達等を行う「三者会議」を設置する対象工事である。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-5によること。					
(4) 貸与資料の有無			☒	☒	本仕様書によるもののほか工事施工に関して必要な資料として工事契約後下記の資料を貸与する。 貸与資料(設計計算書、設計測量成果等の成果品、用地測量の成果品については、必要に応じて貸与する。)					
(5) 発注者支援(工事監督支援業務)対象の有無			☒	☒	工事監督支援業務の受注者が現場監督支援する場合、工事請負者対し「工事打合せ簿」により担当技術者(所属会社等名・氏名)の通知を行うこと。					
(6) 法定外の労災保険の付保について			本工事では、法定外の労災保険加入にかかる保険料を予定価格に反映しているため、本工事において受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。なお、加入後受注者は、工事請負契約書第62条に基づき、証券又はこれに代わるものを直ちに発注者に提示すること。							
(7) 熱中症対策に資する現場管理費補正の試行の有無			☒	☒	本工事は熱中症対策に資する現場管理費率の補正の試行対象工事である。本運用による設計変更を希望する場合は、別途定める「熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領」に基づき、発注者に協議すること。					

働き方改革・生産性向上に関する事項

項 目	条 件		内 容
17 総合評価落札方式における「ICT施工・3次元化等の活用提案」の適用の有無			
(1) 「ICT施工・3次元化等の活用提案」の適用工事	☒	☒	1. 対象工事の場合、活用する技術については、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に基づき選択すること。 2. ICT施工・3次元化等の活用提案の適用の有無に係わらず、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に記載の技術は、施工計画・技術提案等(いわゆる作文)の評価対象外とする。「簡易型(施工計画型)」、「標準型」、 「高度型」の場合 なお、「ICT施工・3次元化等の活用提案」の対象外工事の場合も、同様の取扱いとする。
(2) 実施された技術についての費用計上(設計変更)	☒	☒	設計変更の積算手法については、総合評価落札方式の手引きのとおりとする。なお、(1)が対象外の場合は、当該項目も対象外となる。
18 業務効率化			
(1) 工事情報共有システムの活用	☒	☒	本工事は工事情報共有システムの活用対象工事であり、請負者は工事着手時に別途定める「工事情報共有システム事前協議チェックシート」により、必要事項について監督職員と協議を行うこと。実施にあたっては「土木工事における工事情報共有システムの実施要領」及び「土木工事における工事情報共有システムの活用ガイドライン」に基づき行うこと。
(2) 工事書類の簡素化の試行について	☒	☒	本工事は、工事書類の簡素化を目的とした試行対象工事である。実施にあたっては「宮城県土木部における工事書類簡素化の試行要領」に基づき行うこと。
(3) ウィークリースタンス等の推進	本工事は、受発注者協力のもと、建設業の魅力創出を図ることを目的にウィークリースタンス等の推進を図ることとし、「ウィークリースタンス等実施要領」に基づき、取組内容を受発注者間で協議及び共有し、工事を進めていくこととする。 詳細については、宮城県土木部事業管理課のホームページを参照すること。(http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/weekly.html)		

19 週休2日モデル工事の適用の有無				
(1) 週休2日モデル工事	☒ 対象	☐ 対象外	1. 週休2日モデル工事の対象工事の場合は、名取市「週休2日モデル工事」実施要領に基づき行うこととする。 なお、週休2日モデル工事の型式については、下記(2)のとおりとする。 2. 改正労働基準法(平成30年6月成立)による罰則付きの時間外労働規制が令和6年4月から建設業に適用されることを踏まえ、令和6年4月には、維持工事等も含めて、週休2日の確保を目指すことから、「週休2日モデル工事」での発注を原則とする。ただし、災害復旧工事など工事期間が限定されるなど確保が難しい場合は、例外的に週休2日対象工事としないことも可能とする。その場合は「実施困難工事」として、下欄にその理由を記載する。	
(2) 週休2日モデル工事の型式	☒ 発注者指定型	☐ 受注者希望型	1. 発注者指定型の場合は、当初積算時に4週8休以上を確保した場合の経費の補正を行うこととし、設計変更時に達成状況に応じた補正の見直しを行うこととする。 2. 受注者希望型の場合は、設計変更時に達成状況に応じた経費の補正を行うこととする。 なお、(1)が実施困難工事の場合は、当該項目も対象外となる。	
(3) 週休2日モデル工事の種別	☒ 現場閉	☐ 交替制	現場閉所型:巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて、1日を通して現場や現場事務所を閉鎖する。 交 替 制 :現場閉鎖を行うことが困難な工事について、技術者及び技能労働者が交替しながら休日確保の取組を行う。	
(4) 週休2日モデル工事の区分	週休2日モデル工事の区分は「通期の週休2日」と「月単位の週休2日」に区分する。 当初発注においては「月単位の週休2日」を指定、積算している。 「通期の週休2日」:対象期間全体で、4週8休相当以上の休日を取得したと認められる状態。 「月単位の週休2日」:対象期間の全ての月において、4週8休以上の休日を取得したと認められる状態。			
20 女性活躍推進モデル工事の適用の有無				
(1) 女性活躍推進モデル工事	☐ 対象	☒ 対象外	実施に当たっては、宮城県土木部「女性活躍推進モデル工事」実施要領に基づき行うものとする。 実施要領は、宮城県ホームページ(https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/)で確認のこと。	
21 下請承認事務簡素化モデル工事の適用の有無				
(1) 下請承認事務簡素化モデル工事	☐ 対象	☒ 対象外	実施に当たっては、発注者から工事打合せ簿により、「下請承認事務簡素化モデル工事」である旨を別途指示するものとする。	
22 建設現場の遠隔臨場に関する工事の適用の有無				
(1) 建設現場の遠隔臨場に関する試行工事	☐ 対象	☒ 対象外	「建設現場の遠隔臨場に関する試行工事(以下、「本試行工事」という。)」は、受注者における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者(監督員)における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」等を目指し、動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)とWeb会議システム等を使用して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものである。なお、本試行工事は、『建設現場の遠隔臨場に関する試行要領(案)』の内容に従い実施する。(事業管理課ホームページ https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/enkakurinjou.html) 本試行工事を対象とする場合は下記によるものとする。 1) 段階確認・材料確認、立会での確認 ① 受注者が動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)により撮影した映像と音声スマートフォン向けのTV電話やWeb会議システムを利用しながら確認するものである。試行内容については、受注者との協議により実施するものとする。 ② 確認実施者が監督補助員の場合は、監督補助員は使用するPCにて遠隔臨場の映像(実施状況)を画面キャプチャ等で記録し、情報共有システム(ASP)等に登録して保管する。(従来の立会資料の管理同様とする。) 2) 機器の準備 本試行工事に要する動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)やWeb会議システム等は受注者が手配、設置するものとし、発注者側にて準備している動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)や既に使用しているWeb会議システム等を含め詳細については、監督職員と協議し決定するものとする。 3) 効果の検証 本試行工事を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。 4) 費用 遠隔臨場に必要機器・通信費は標準積算基準の率計上に含まれる。	

東日本大震災に伴う特例制度

項 目	条 件	内 容	施 行 方 法	備 考
23 被災地以外からの労働者確保に要する間接費の設計変更の運用				
(1) 労働者確保に関する積算方法の試行工事	☒	☒	1 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」という。))について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の工事」である。 営繕費:労働者送迎費、宿泊費、借上費 労務管理費:募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用 2 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(宮城県土木部においては、土木工事標準積算基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費の割合は次のとおりである。 1) 共通仮設費(率分)に占める実績変更対象間接費(労働者送迎費、宿泊費、借上費)の割合: 9.45% 2) 現場管理費に占める実績変更対象間接費(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用)の割合: 1.22% 3 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書のないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。 4 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。 5 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。 6 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。 7 受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。	
(2) 労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事	☒	☒	本工事は、「労働者宿舍設置に関する試行要領」(以下試行要領)の対象工事である。 労働者宿舍の設置を希望する場合については、「試行要領」に基づき監督職員と事前に協議すること。	
24 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更				
(1) 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更	☒	☒	下記の建設資材は、通常地域内から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。また、購入費及び輸送費に要した費用については、証明書類(契約書及び納品書等)を添付するものとする。なお、添付する証明書類(契約書及び納品書等)は原本を提示(写しの提出)とし、受注者名、納品者名、使用資材名、規格・形状、使用(納品)日、使用(納品)数量等が記載されている物を監督員に提出し、その費用について設計変更することとする。 購入費の対象は、生コンクリート・アスファルト合材・石材等(山砂、碎石、捨石、被覆石等)とする。 輸送費の対象は、仮設材(鋼矢板等)とする。	受注者は、購入費及び輸送費を変更したい場合は、「工事打合せ簿」に次の事項を記載し発注者に提出し協議するものとする。 1 地域内及び基地に、建設資材がないことを証明する資料(打合せメモ等) 2 遠隔地から購入及び輸送する建設資材の名称・規格及び製造・生産工場の名称(使用材料の建設資材名及び規格・形状等の証明資料「品質証明」) 3 遠隔地から建設資材を購入及び輸送する理由 4 製造・生産工場を選定した理由 5 見積もり書 6 その他、必要と思われる事項
25 施工箇所が点在する工事の間接費の積算				
(1) 施工箇所が点在する工事積算方法の試行の対象工事	☒	☒	本工事は、施工箇所が点在する工事であり、共通仮設費及び現場管理費について標準積算と施工実態に乖離が考えられるため、「○○地区(施工箇所○○、○○)、△△地区(施工箇所○○)、□□地区(施工箇所○○)(以下、対象地区という)」ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事積算方法の試行」の対象工事である。	本工事における共通仮設費の金額は、対象地区毎に算出した共通仮設費を合計した金額とする。また、現場管理費の金額も同様に、対象地区毎に算出した現場管理費を合計した金額とする。なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正(大都市、施工地域等)については、対象地区毎に設定する。
26 その他				
(1) 土砂等建設資材を供給元で引取する場合の積算の取扱い	☒	☒	・本工事の施工において、調達(購入)する予定の○○の設計単価は、現場持込価格(単価)としている。ただし、契約後、施工計画に基づき、○○の調達条件について異なる場合は、監督職員と協議すること。 ・資材搬入において、標準作業以外の作業(現場外の仮置き等)が生じる場合は、監督職員と協議すること。	
(2) 東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行について	☒	☒	間接工事費(共通仮設費及び現場管理費)について、工事量の増大による資材やダンプトラック等の不足による作業効率の低下等により現場の実支出が増大し、積算基準による積算と乖離が生じていることが確認されたため、積算基準書等により各工種区分に従って対象額ごとに求めた共通仮設費率及び現場管理費率に、それぞれ以下の補正係数を乗じている。 補正係数 共通仮設費:1.3 現場管理費:1.1	

特記事項

1 工事一般			
(1) 工事区間における対応	・公道通行時の法定速度の遵守、右左折時の安全確認の徹底に努める。 ・付近の環境に配慮し、粉塵対策として、工事区間内及び公道の清掃に努めるものとする。		
(2) 住民への配慮	・工事実施に先立ち、関係住民への事前説明(チラシ等の配布)の周知徹底すること。	監督職員と協議を行った上で、事前説明方法を検討し、工事中のトラブル発生の防止を図ること。	
(3) 現場内の管理	・現場内の管理を徹底し、事故を未然に防止すること。	諸法令を熟知し、現場に即した措置を講じること。	
(4) 交通誘導員	・本工事においては、舗装工に係る作業について起終点部に各1名計2名の配置を想定している。		
2 建設副産物の処理			
(1) 建設副産物処理の報告	・本工事で発生した建設副産物等の処理については、設計計上されていないものに関しても「建設廃棄物処理計画書」を作成すること。	建設廃棄物等を処理した場合は「建設廃棄物等処理結果報告書」、「マニユフェスト」、「処理状況写真」を提出のこと。	
(2) 建設副産物の取り扱い	・本工事において発生する建設副産物等の処理については、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進書を作成し施工計画書に含めなければならない。	共通仕様書1-1-4に基づき施工計画書に明記すること。	
(3) 有価物処理について	・本工事において発生する有価物の処理については、各部材毎に解体し適切に処理しなければならない。結果について監督員へ書面で報告すること		
3 社会的貢献及び安全管理			
(1) 社会的貢献	下記の社会的貢献面で実施した場合は監督員へ報告すること。 1. 道路、河川、海岸等の環境保全を実施した。 2. 県立公園等及びその周辺の環境保全を実施し、動植物の保護等に取り組んだ。 3. 現場事務所、作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、周辺地域との調和を図った。 4. 道路掃除等のボランティア活動に積極的に参加した。 5. 災害時に地域への援助・救援活動に積極的に参加した。 6. その他(例えば、毎年地域のために貢献していること)	・施工計画時点で実施を検討しているものについては、施工計画書へ記載すること。	
(2) 安全管理の創意工夫等	下記の安全管理面で実施した場合は監督員へ報告すること。 1. 安全管理に関する技術開発や、創意工夫に取り組んでいる。 2. 安全職場実現への取り組みが、工事関係者以外(労基署、警察署、住民)から評価されている。 3. 安全衛生管理活動を適宜実施した。 4. 供用道路上、海上航路上での事故防止、一般交通確保等のための工夫 5. ゴミの減量化、分別収集の工夫等	・施工計画時点で実施を検討しているものについては、施工計画書へ記載すること。	
4 一般施工			
(1) 段階確認	段階確認を受ける工種及び施工段階は、共通仕様書に記載のある事項と他請負者の判断で必要があると判断される事項を、事前に書面にて監督職員に提出すること。		
5 現場代理人の緩和措置			
(1) 現場代理人の緩和措置	この工事は、「東日本大震災に伴う復旧・復興工事等における現場代理人の常駐義務の緩和措置について」該当工事である。		
6 その他			
(1) 契約終了後の提出物	下記のとおりとする。 1) 施工計画書 2) 設計照査結果 これらについて、契約終了後速やかに提出を行うこと。	監督職員と協議の上提出すること。	
(2) 事前測量	契約後、早急に事前測量を実施し、成果を提出すること。 1) 施工に先立ち事前測量を実施し監督職員の確認を得ること。なお、設計内容と異なる場合は、速やかに監督職員と協議すること。 2) 事前測量の結果を、横断図にして提出のこと。紙ベース(仕様書と同じ計画線も入れる)による提出、及びCD-R等にSFC形式で保存したものを各1部提出すること。		
(3) 設計図書と現地の相違点	着手前調査において、本設計図書との相違点が確認された場合は、直ちに監督職員に報告するとともに、対応を検討し書面で協議すること。		
(4) 詳細図・施工図	構造物等の変更・追加による図面は監督職員と協議のうえ請負業者が作成すること。変更設計に使用できる図面で数量も計上すること。なお、これに伴う費用は受注者の負担とする。		
(5) 竣工時提出資料	竣工時工事成果については、宮城県共通仕様書等に記載されているところであるが、下記のものについては紙面および電子データで提出すること。 ・出来形図(設計最終図面の設計数値に出来形数値を赤書きしたもの) ・設計最終図面(最終設計変更の数値を記載した図面) ・設計最終数量計算書		
(6) その他	1) 工事関係者(作業員含む)は、工事目的を十分に理解することに努め、監督員や現場責任者または設計図書のみならず、常に疑問をもって工事の施工に取りかかることとし、各自が疑問点を解決しやすい職場環境を形成するとともに臨機応変の対応ができるよう現場教育を徹底すること。 2) 本工事は標準積算基準により積算している。現場条件等により標準積算基準での施工が困難な場合は、監督職員と協議すること。 3) その他、疑義のある場合は、事前に監督職員と協議すること。本設計仕様等で疑義が生じた場合は直ちに監督職員と協議するものとし、打合せ・協議・承諾・指示等の内容は全て工事打合せ簿等の書面で行うこと。		
(7) 共通仕様書、マニュアルについて	下記の内容について必ず確認すること。 1) 共通仕様書 : 令和 6年10月 1日以降適用 2) 土木設計マニュアル : 平成21年 7月 1日以降適用		

設計書・設計内訳書

令和 7 年度 大曲準幹線築造工事（その 6）

大曲準幹線築造工事（その6）設計総括表

工 種 ・ 種 別 ・ 細 別	金 額	内 訳			備 考
		下水道	機械・電気		
		管 路	機 械 設 備	電 気 設 備	
直接工事費	-				
共通仮設	-				
共通仮設費	-				
運搬費	-				
共通仮設費（率計上）	-				
純工事費	-				
現場管理費	-				
設計技術費	-				
工事原価	-				
一般管理費等	-				
工事価格	-				
消費税及び地方消費税額	-				
工事費計	-				

設計内訳書（本01）

工事名	大曲その6（舗装・汚泥処理）				事業区分 工事区分	下水道 管路	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
管路							
		式	1				
付帯工							
		式	1				
アスファルト舗装復旧工							
		式	1				
舗装版切所	舗装版種別：アスファルト舗装版、舗装厚：100mm以下、立坑部						単 1号 立坑部
		m	19				
舗装版切所	舗装版種別：アスファルト舗装版、舗装厚：100mm以下						単 2号 開削部
		m	4				
舗装版破砕	舗装版種別：アスファルト舗装版、舗装厚：30mm						単 3号
		m2	141				
舗装版破砕	舗装版種別：アスファルト舗装版、舗装厚：50mm						単 4号
		m2	480				
不陸整正	有り、29mm以上34mm未満、再生フラッシュン RC-10、すべての費用						単 5号
		m2	622				
表層（車・路）	材料種類：各種（2.30以上2.40t/m3未満）、材料規格：再生密粒度AS20F、舗装厚：50mm、平均幅員：3.0m超						単 6号
		m2	622				
殻運搬	殻種別：アスファルト殻						単 7号
		m3	28				
殻処分	殻種別：アスファルト殻						単 8号
		m3	28				
汚泥処理工							
		式	1				
汚泥運搬処分工							内 1号
		式	1				

設計内訳書（本01）

工事名	大曲その6（舗装・汚泥処理）				事業区分 工事区分	下水道 管路	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
仮設工							
		式	1				
交通管理工							
		式	1				
交通誘導警備員							単 9号
		人日					
直接工事費							
		式	1				
共通仮設							
		式	1				
共通仮設費（率計上）							
		式	1				
純工事費							
		式	1				
現場管理費							
		式	1				
工事原価							
		式	1				
一般管理費等							
		式	1				
工事価格							
		式	1				
消費税額及び地方消費税額							
		式	1				
工事費計							
		式	1				

一式当り内訳書

一式当り内訳書							単価使用年月		2025. 04		
							歩掛適用年月		2025. 04		
							労務調整係数		1. 000-00000 0. 0 0		
内 1号		汚泥運搬処分工									
名 称 ・ 規 格			条 件		単 位	数 量	単 価	金 額	数 量 ・ 金 額 増 減		摘 要
汚泥運搬費工											単 11号
					m3	150					
汚泥処理費											単 12号
					m3	150					
合 計											

1 次単価表

1 次単価表							単価使用年月		2025. 04	
							歩掛適用年月		2025. 04	
							労務調整係数		1. 000-00000 0. 0 0	
単 1号	舗装版切断		舗装版種別：アスファルト舗装版, 舗装厚：100mm以下, 立坑部		単位	m	単位数量	1	単価	
名 称 ・ 規 格			条 件		単位	数量	単価	金額	摘 要	
舗装版切断			アスファルト舗装版, 15cm以下, 全ての費用							
					m	1				
合 計										
単 価									円/㎡	

1 次単価表

1 次単価表							単価使用年月		2025. 04	
							歩掛適用年月		2025. 04	
							労務調整係数		1. 000-00000 0. 0 0	
単 2号	舗装版切断		舗装版種別：アスファルト舗装版, 舗装厚：100mm以下		単位	m	単位数量	1	単価	
名 称 ・ 規 格			条 件		単位	数量	単価	金額	摘 要	
舗装版切断			アスファルト舗装版, 15cm以下, 全ての費用							
					m	1				
									円／m	
合 計										
単 価										

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月	2025. 04		
						歩掛適用年月	2025. 04		
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0		
単 3号	舗装版破碎	舗装版種別：アスファルト舗装版, 舗装厚：30mm	単位	m2	単位数量	1	単価		
名 称 ・ 規 格		条 件	単位	数量	単価	金額	摘 要		
舗装版破碎		アスファルト舗装版, 無し, 不要, 15cm以下, 有り, 全ての費用							
			m2	1					
合 計							円/m2		
単 価									

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月		2025. 04	
						歩掛適用年月		2025. 04	
						労務調整係数		1.000-00000 0.0 0	
単 4号	舗装版破碎	舗装版種別：アスファルト舗装版, 舗装厚：50mm	単位	m2	単位数量	1	単価		
名 称 ・ 規 格		条 件	単位	数量	単価	金額	摘 要		
舗装版破碎		アスファルト舗装版, 無し, 不要, 15cm以下, 有り, 全ての費用							
			m2	1					
合 計									
単 価							円/m2		

- 5 -

宮城県

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月	2025. 04		
						歩掛適用年月	2025. 04		
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0		
単 5号	不陸整正	有り, 29mm以上34mm未満, 再生クラッシュン RC-40, すべての費用	単位	m2	単位数量	1	単価		
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要		
不陸整正		有り, 29mm以上34mm未満, 再生クラッシュン RC-40, 全ての費用							
			m2	1					
合計									
単価							円/m2		

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月	2025. 04		
						歩掛適用年月	2025. 04		
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0		
単 6号	表層(車・路)	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満), 材料規格:再生密粒度AS20F, 舗装厚:50mm, 平均幅員:3.0m超	単位	m2	単位数量	1	単価		
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要		
表層(車道・路肩部)		3.0m超, 50mm, 各種(2.30以上2.40t/m3未満), プライムコート PK-3, 全ての費用							
			m2	1					
合計									
単価							円/m2		

- 6 -

宮城県

1 次単価表

						単価使用年月	2025. 04
						歩掛適用年月	2025. 04
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0
単 7号	殻運搬	殻種別：アスファルト殻	単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬		舗装版破碎, 機械(騒音対策不要, 厚15cm以下), 無し, 3. 5km以下, 全ての費用	m3	1			
合計							
単価							円/m3

1 次単価表

						単価使用年月	2025. 04
						歩掛適用年月	2025. 04
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0
単 8号	処分	殻種別：アスファルト殻	単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費(m3)		無	m3	1			単 10号
合計							
単価							円/m3

1 次単価表

						単価使用年月	2025. 04
						歩掛適用年月	2025. 04
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0
単 9号	交通誘導警備員		単位	人日	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B			人日				単 13号
合計							
単価							円/人日

2次単価表

						単価使用年月	2025. 04	
						歩掛適用年月	2025. 04	
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0	
単 10号	処分費(m3)	無	単位	m3	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 穀処分			m3	100				
合計								
単価							円/m3	

2次単価表

						単価使用年月	2025. 04	
						歩掛適用年月	2025. 04	
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0	
単 11号	汚泥運搬費工		単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
揚泥車運転費 4 t			時間				単 14号	
合計								
単価							円/m3	

2次単価表

						単価使用年月	2025. 04	
						歩掛適用年月	2025. 04	
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0	
単 12号	汚泥処理費		単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費(m3)		無	m3	1			単 15号	
合計								
単価							円/m3	

2次単価表

						単価使用年月	2025. 04	
						歩掛適用年月	2025. 04	
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0	
単 13号	交通誘導警備員B		単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B			人					
諸雑費(まるめ)			式	1				
合計								
単価							円/人日	

單僱使用年月	2025. 04
步掛適用年月	2025. 04
勞務調整係數	1. 000-00000 0. 0 0

– 11 –

宮城県

單價使用年月	2025.04
步掛適用年月	2025.04
勞務調整係數	1.000-00000 0.0 0

– 12 –

宮城県

※算出根拠は、白本P43～、119～を参照

項目	細別	当初		合計	備 考
		機械設備	電気設備		
機器費					
直接工事費					
輸送費					
直接材料費	直接材料費				
補助材料費	直接材料費×4%(補助材料費率)				
一般労務費					週休二日補正 (月単位) CF=1.02
機械設備据付労務費					
技術労務費					
複合工費					
機械経費	労務費×2%(機械-機械経費率)、1%(電気-機械経費率)				(電気) 組合せ試験人工 (技術者) の直人単価を除外
仮設費					
	仮設費対象額 (X) (円)				
	仮設費率 (Y) (%)				
共通仮設費					週休二日補正 (月単位) CF=1.01
	共通仮設費対象額 (X) (円)				
	共通仮設費率 (Y) (%)				
純工事費					
現場管理費					週休二日補正 (月単位) CF=1.02
	現場管理費対象額 (X) (円)				
	現場管理費率 (Y) (%)				
据付間接費					
	据付間接費対象額 (X) (円)				(機械) 直工中の機械設備据付労務費を対象
	据付間接費率 (Y) (%)				
据付 (技術者) 間接費					
	据付 (技術者) 間接費対象額 (X) (円)				(電気) 直工中の技術労務費を対象
	据付 (技術者) 間接費率 (Y) (%)				
据付 (機器) 間接費					
	据付 (機器) 間接費対象額 (X) (円)				
	据付 (機器) 間接費率 (Y) (%)				
間接工事費					
据付工事原価					
設計技術費					
	設計技術費対象額 (X) (円)				
	設計技術費率 (Y) (%)				
工事原価					
一般管理費等					
	一般管理費等対象額 (X) (円)				
	一般管理費等率 (Y) (%)				
	標準一般管理費等率				
	前払金支出割合補正係数				
	機器費補正係数				
	工事原価に占める機器費の割合				
	契約保証に係る補正率 (%)				金銭的保証
一般管理費等改め					
工事価格					
消費税等相当額					
工事費					

本工事費内訳書（本01）

工事名	大曲準幹線築造工事（その6）機械撤去更新					事業区分	下水道	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
処理場・ポンプ場								
			式	1		0		
機械設備								
			式	1		0		
機械設備撤去更新工								
			式	1		0		
材料費								内 1号
			式	1		0		
労務費								内 2号
			式	1		0		
複合工								内 3号
			式	1		0		
直接経費								内 4号
			式	1		0		
仮設費								内 5号
			式	1		0		
直接工事費								
			式	1		0		
共通仮設								
			式	1		0		
共通仮設費（率計上）								
			式	1		0		
純工事費								
			式	1		0		
現場管理費								
			式	1		0		
工事原価								
			式	1		0		
一般管理費等								
			式	1		0		
工事価格								
			式	1		0		
消費税額及び地方消費税額								
			式	1		0		
工事費計								
			式	1		0		

一式当り内訳書

単価使用年月	2025. 04
歩掛適用年月	2025. 04
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 1号	材料費						
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
ステンレス鋼管 SUS304TP 20A		m	0.3				
ステンレス鋼管 SUS304TP 32A		m	0.3				
ステンレス鋼管 SUS304TP 40A		m	0.5				
ステンレス鋼管 SUS304TP 50A		m	0.7				
ステンレス鋼管 SUS304TP 65A		m	0.9				
ステンレス鋼管 SUS304TP 80A		m	0.2				
ステンレス鋼管 SUS304TP 100A		m	0.2				
等辺山形鋼 L 50×50×6		kg	19				
しま鋼板 chPL 4.5		kg	27				
溶融亜鉛めっき		kg	46				
補助材料費 4.0%		式	1				
合計							

一式当り内訳書

単価使用年月	2025. 04
歩掛適用年月	2025. 04
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 2号	労務費						
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
配管工		人					
普通作業員		人					
設備機械工		人					
配管工		人					
設備機械工		人					
合計							

一式当り内訳書

単価使用年月	2025. 04
歩掛適用年月	2025. 04
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 3号	複合工						
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
モルタル注入(既設)		m3	0.1				単 1号
モルタル上塗り マンホールの用	配合比1:3, 20mm, 普通	m2	1.8				単 2号
構造物とりこわし工		m3	0.1				
型枠	一般型枠, 鉄筋・無筋構造物	m2	1.7				
モルタル注入(既設)		m3	0.1				単 1号
モルタル上塗り マンホールの用	配合比1:3, 20mm, 普通	m2	0.5				単 3号
型枠	一般型枠, 鉄筋・無筋構造物	m2	0.5				
スクラップ 控除 (放銃A)		t	4.2				
スクラップ 控除 (ステンレスくず)		t	1.7				
スクラップ (産廃: 廃プラスチック)		t	1.2				
合計							

一式当り内訳書

単価使用年月	2025. 04
歩掛適用年月	2025. 04
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 4号	直接経費						
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
機械経費 労務費×2% (機械経費率)		式	1				
合計							

一式当り内訳書

単価使用年月	2025. 04
歩掛適用年月	2025. 04
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 5号	仮設費						
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
仮設費 仮設費対象額×3.16% (仮設費率)		式	1				
合計							

2 次单価表

單僑使用年月	2025. 04
步掛適用年月	2025. 04
勞務調整係數	1. 000-00000 0. 0 0

単 1号	モルタル注入(既設)		単位	m3	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
レディミクストモルタル 1:03								
			m3	13				
クレーンポンプ 発動発電機使用 37～100L/min							単 4号	
			日					
発動発電機(排出ガス対策型) 45kVA	陸上						単 5号	
			日					
潜水世話役								
			人					
潜水士								
			人					
潜水送気員								
			人					
潜水連絡員								
			人					
特殊作業員								
			人					
普通作業員								
			人					
クレーン付トラック 4t積 2.9t吊							単 6号	
			日					
雑材料 全体の%								
			式	1				
合計								

2 次单価表

單僱使用年月	2025. 04
步掛適用年月	2025. 04
勞務調整係數	1. 000-00000 0. 0 0

[illegible]

單僱使用年月	2025. 04
步掛適用年月	2025. 04
勞務調整係數	1. 000-00000 0. 0 0

- 7 -

宮城県

单価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

- 8 -

宮城県

單僱使用年月	2025. 04
步掛適用年月	2025. 04
勞務調整係數	1. 000-00000 0. 0 0

[illegible]

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 5号	発動発電機 (排出ガス対策型) 45kVA	陸上	単位	日	単位数量	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
軽油								
			1.	31				
発動発電機 (排出ガス対策型) 45kVA			日					
合計								
単価							円/日	

3 次単価表

単価使用年月	2025. 04
歩掛適用年月	2025. 04
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 6号	クレーン付トラック 4t積 2.9t吊		単位	日	単位数量	l	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
軽油			L	31				
運転手(特殊)			人					
トラック[クレーン装置付] ベーストラック4～4.5t積 吊能力2.9t		機械条件:運転時間当り損料	時間					
トラック[クレーン装置付] ベーストラック4～4.5t積 吊能力2.9t		機械条件:供用日当り損料	日					
合計								
単価							円/日	

本工事費内訳書（本01）

工事名	大曲準幹線築造工事（その6）電気設備撤去					事業区分	下水道	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
処理場・ポンプ場								
			式	1		0		
電気設備								
			式	1		0		
電気設備撤去工								
			式	1		0		
労務費								内 1号
			式	1		0		
複合工								内 2号
			式	1		0		
直接経費								内 3号
			式	1		0		
仮設費								内 4号
			式	1		0		
直接工事費								
			式	1		0		
共通仮設								
			式	1		0		
共通仮設費（率計上）								
			式	1		0		
純工事費								
			式	1		0		
現場管理費								
			式	1		0		
工事原価								
			式	1		0		
一般管理費等								
			式	1		0		
工事価格								
			式	1		0		
消費税額及び地方消費税額								
			式	1		0		
工事費計								
			式	1		0		

一式当り内訳書

単価使用年月	2025. 04
歩掛適用年月	2025. 04
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 1号	労務費						
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減
電工			人				
	合計						

一式当り内訳書

単価使用年月	2025. 04
歩掛適用年月	2025. 04
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 2号	複合工						
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減
スラップ 控除（2号銅線）			t	0.1			
スラップ 控除（ヘビーH2）			t	1.7			
スラップ（産廃：廃プラスチック）			t	0.5			
	合計						

一式当り内訳書

単価使用年月	2025. 04
歩掛適用年月	2025. 04
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 3号	直接経費						
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減
機械経費 労務費×1%（機械経费率）			式	1			
	合計						

一式当り内訳書

単価使用年月	2025. 04
歩掛適用年月	2025. 04
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 4号	仮設費						
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減
仮設費 仮設費対象額×12.72%（仮設费率）			式	1			
	合計						

数量計算書

数量総括表

工事名	令和7年度 大曲準幹線築造工事（その6）				事業区分 工事区分	下水道
工種・種別・細別	規格	単位	設計値	計上値	摘要	
処理場・ポンプ場		式				
機械設備		式				
機械設備撤去工更新工		式	1	1	別紙 数量表（機械設備工）参照	
材料費		式	1	1	〃	
労務費		式	1	1	〃	
複合工		式	1	1	〃	
直接経費		式	1	1	〃	
仮設費		式	1	1	〃	
電気設備		式				
電気設備撤去工		式	1	1	別紙 数量表（電気設備工）参照	
労務費		式	1	1	〃	
複合工		式	1	1	〃	
直接経費		式	1	1	〃	
仮設費		式	1	1	〃	
管路		式				
付帯工		式	1	1		
アスファルト舗装復旧工		式	1	1	別紙 数量表（路面復旧工（本復旧）参照	
舗装版切断	立坑部	m	19.6	19	〃	
舗装版切断	開削部	m	4.7	4	〃	
舗装版破碎	t=30mm	m2	141.5	141	〃	
舗装版破碎	t=50mm	m2	480.5	480	〃	
不陸整正		m2	622.1	622	〃	
表層（車・路）		m2	622.1	622	〃	
殻運搬		m	28.3	28	〃	
殻処分		m	28.3	28	〃	
汚泥処理工		式	1	1	別紙 数量表（汚泥処理工）参照	
汚泥運搬処理工		式	1	1		
仮設工		式				
交通管理工		式	1	1.0		
交通誘導警備員		人日				

数 量 計 算 書(機械・電気)

当初設計

工種	種別	細別・規格	単位	数 量	数 量	摘 要
				(計算値)	(計上値)	
【 機械設備工 】						
第1号 材料費						
	ステンレス鋼管	SUS304TP 20A	m	0.3	0.3	
	ステンレス鋼管	SUS304TP 32A	m	0.3	0.3	
	ステンレス鋼管	SUS304TP 40A	m	0.5	0.5	
	ステンレス鋼管	SUS304TP 50A	m	0.7	0.7	
	ステンレス鋼管	SUS304TP 65A	m	0.9	0.9	
	ステンレス鋼管	SUS304TP 80A	m	0.2	0.2	
	ステンレス鋼管	SUS304TP 100A	m	0.2	0.2	
	等辺山形鋼	L 50×50×6	kg	19.1	19.1	
	しま鋼板	chPL 4.5	kg	27.7	27.7	
	溶融亜鉛めっき	HDZT77	kg	46.8	46.8	
	補助材料費	上記合計の4%	式	1.0	1.0	
第2号 労務費						
配管工		人				撤去
普通作業員		人				撤去
機械設備工		人				撤去
配管工		人				更新
機械設備工		人				更新
第3号 複合工費						
モルタル充填工		m3	0.1	0.1		撤去
モルタル仕上工	モルタル配合1:3, t=20mm	m2	1.8	1.8		撤去
はつり工		m3	0.1	0.1		撤去
型枠工		m2	1.7	1.7		撤去
モルタル充填工		m3	0.1	0.1		更新
モルタル仕上工	モルタル配合1:3, t=20mm	m2	0.5	0.5		更新
型枠工		m2	0.5	0.5		更新
スクラップ控除	(故鉄A)	t	4.2	4.2		撤去
スクラップ控除	(ステンレスくず)	t	1.7	1.7		撤去
スクラップ	(産廃)	t	1.2	1.2		撤去
第4号 直接経費						
機械経費	労務費の2%	式	1.0	1.0		
第5号 仮設費						
仮設費		式	1.0	1.0		
第6号 共通仮設費						
共通仮設費		式	1.0	1.0		

【 電気設備工 】					
第7号 労務費					
電工		人			
第8号 複合工費					
スクラップ控除	(2 号銅線)	t	0.1	0.1	
スクラップ控除	(ヘビーH2)	t	1.7	1.7	
スクラップ	(産廃)	t	0.5	0.5	
第9号 直接経費					
機械経費	労務費の1%	式	1.0	1.0	
第10号 仮設費					
仮設費		式	1.0	1.0	
第11号 共通仮設費					
機械経費	労務費の1%	式	1.0	1.0	

路面復旧工(本復旧)集計表

工 区	路 線 番 号	区 間	断 面	延 長 (m)	掘削幅 (本復旧) (m)	舗装種別	表層厚		本復旧 面 積	仮復旧 面 積	舗装切断工		舗装版破碎工		ガラ処分工	不陸整正	本復旧 (㎡)		備 考		
							現 道 舗 装	仮 復 旧			10cm以下		アスコン		アスコン	現 況	市道簡易1(アスコン)				
																	表 層				
											(mm)		(㎡)		(㎡)		(m3)			再生As密粒As20F	路盤工
											③	④	⑤=①×②	⑥	立坑部 (①+②)×4	開削部 ①×2	3cm ⑦=⑥	5cm ⑧=⑤-⑥		⑦×④+⑧ ×③	⑨=⑤
				①	②																
	2	No2-9		5.10	4.70	市道簡易1	5	3	23.97	4.41	19.60		4.41	19.56	1.11	23.97	23.97				
	開 削 部																				
2		No2-9～No2-9+141.85	φ 150PE	127.25	4.70	市道簡易1	5	3	598.08	137.13		4.70	137.13	460.95	27.16	598.08	598.08				
				132.35					622.05	141.54	19.60	4.70	141.54	480.51	28.27	622.05	622.05				

※No2-21、No2-22、No2-23及びNo2-23～No.2-24の復旧面積と切断長はCAD計測値。※延長及び掘削幅の数値は仮復旧図参照。

No.

・ ・

令和7年度 大曲準幹線築造工事（その6） 汚泥処理工集計表

種 別	略 図 計 算 式	数 量
汚泥処理運搬工 汚泥運搬工	$V = 200.73\text{m}^3 \times 0.75$	150.5 m ³
汚泥処理費	$V = 200.73\text{m}^3 \times 0.75$	150.5 m ³

小 配 管 据 付 工 (撤去)

(工事名) 機械設備工事 (撤去)

屋 内 配 管							屋 外 配 管							埋 設 配 管						
	口 径	設 計 数 量	配 管 工			口 径		口 径	設 計 数 量	配 管 工			口 径		口 径	設 計 数 量	配 管 工			口 径
	mm		m	歩掛 (人/m)	補正率					人員 (人)	mm	m					歩掛 (人/m)	補正率	人員 (人)	
ステンレス鋼管	15	0.15		×1.3×0.4		15		15		0.13	×0.4		15		15		0.07	×0.4		15
	20	73.5		×1.3×0.4		20		20		0.16	×0.4		20		20		0.09	×0.4		20
	25			×1.3×0.4		25		25		0.19	×0.4		25		25		0.11	×0.4		25
	32	56.7		×1.3×0.4		32		32		0.23	×0.4		32		32		0.12	×0.4		32
	40	59.4		×1.3×0.4		40		40		0.28	×0.4		40		40		0.15	×0.4		40
	50	60.1		×1.3×0.4		50		50		0.33	×0.4		50		50		0.19	×0.4		50
	65	84.4		×1.3×0.4		65		65		0.42	×0.4		65		65		0.21	×0.4		65
	80	25.7		×1.3×0.4		80		80		0.5	×0.4		80		80		0.24	×0.4		80
	100	11.8		×1.3×0.4		100		100		0.62	×0.4		100		100		0.35	×0.4		100
	125			×1.3×0.4		125		125		0.76	×0.4		125		125		0.45	×0.4		125
	150	0.15		×1.3×0.4		150		150		0.91	×0.4		150		150		0.54	×0.4		150
	200			×1.3×0.4		200		200		1.2	×0.4		200		200		0.75	×0.4		200
	250			×1.3×0.4		250		250		1.48	×0.4		250		250		1	×0.4		250
	300			×1.3×0.4		300		300		1.77	×0.4		300		300		1.27	×0.4		300
350			×1.3×0.4		350		350		2.2	×0.4		350		350		1.5	×0.4		350	
小計							小計													
塩化ビニル管（給水用）																				
	13			×1.3×0.4		13		13		0.06	×0.4		13		13					13
	20			×1.3×0.4		20		20		0.07	×0.4		20		20					20
	25			×1.3×0.4		25		25		0.08	×0.4		25		25					25
	30			×1.3×0.4		30		30		0.1	×0.4		30		30					30
	40			×1.3×0.4		40		40		0.12	×0.4		40		40		0.11	×1.3×0.4		40
	50	0.65		×1.3×0.4		50		50		0.14	×0.4		50		50		0.15	×1.3×0.4		50
	65			×1.3×0.4		65		65		0.17	×0.4		65		65		0.19	×1.3×0.4		65
	75	6		×1.3×0.4		75		75		0.2	×0.4		75		75		0.22	×1.3×0.4		75
	100	9		×1.3×0.4		100		100		0.25	×0.4		100		100		0.28	×1.3×0.4		100
	125	14.75		×1.3×0.4		125		125		0.31	×0.4		125		125		0.34	×1.3×0.4		125
	150	6.93		×1.3×0.4		150		150		0.36	×0.4		150		150		0.41	×1.3×0.4		150
	200			×1.3×0.4		200		200					200		200		0.53	×1.3×0.4		200
	250					250		250					250		250		0.66	×1.3×0.4		250
300					300		300					300		300		0.79	×1.3×0.4		300	
小計							小計													
						計	配 管 工	+ + + + + +						人						
							合計							人						

小配管材料・据付集計表（撤去）

(工事名) 機械設備工事 (撤去)

[illegible]

小配管材料・据付集計表 (撤去)

(工事名) 機械設備工事 (撤去)

[illegible]

小 配 管 材 料 ・ 据 付 集 計 表 (撤去)

管口 種 径	No.	スカルド付属材料率														小計	実 数 量 計	設計数量	単位重量 (kg/m)	スクラップ 重量 (kg)
		128	131																	
SUS304TP Sch20s 15A	材 料																			
	据 付	屋 内		0.15											0.15	0.15	0.15	1.2	0.18	
屋 外																				
埋 設																				
SUS304TP Sch20s 20A	材 料																			
	据 付	屋 内														73.5	73.5	1.54	113.19	
屋 外																				
埋 設																				
SUS304TP Sch20s 32A	材 料																			
	据 付	屋 内														56.65	56.7	2.97	168.4	
屋 外																				
埋 設																				
SUS304TP Sch20s 40A	材 料																			
	据 付	屋 内														59.35	59.4	3.41	202.55	
屋 外																				
埋 設																				
SUS304TP Sch20s 50A	材 料																			
	据 付	屋 内	7.4												7.4	60.1	60.1	4.97	298.7	
屋 外																				
埋 設																				

小配管材料・据付集計表 (撤去)

(工事名) 機械設備工事 (撤去)

管口	種 径	No.														実 数 量 計	設計数量	単位重量 (kg/m)	スクラップ 重量 (kg)	
		付属材料率	101	102	104	105	114	121	125	126	127	135								
SUS304TP Sch20s 65A	材 料																			
	据 付	屋 内			13.7			17.75	7.27	23.8	21.9					84.42	84.4	6.35	535.94	
		屋 外 埋 設																		
SUS304TP Sch20s 80A	材 料																			
	据 付	屋 内		2.45	5.01		9.6				8.6					25.66	25.7	8.48	217.94	
		屋 外 埋 設																		
SUS304TP Sch20s 100A	材 料																			
	据 付	屋 内	5.9				1.8		2.9		1.15					11.75	11.8	11	129.8	
		屋 外 埋 設																		
SUS304TP Sch20s 150A	材 料																			
	据 付	屋 内				0.15										0.15	0.15	20	3	
		屋 外 埋 設																		
	材 料																			
	据 付	屋 内																		
		屋 外 埋 設																		
																			合計	1669.7

一般労務員・工場派遣労務員集計表（撤去）

(工事名) 機械設備工事 (撤去)

[illegible]

機 器 等 据 付 工（撤去）（1/2）

類別歩掛り表 X：1台当り質量(t)
X'：1槽当り必要空気量(m³/min)

(工事名) 機械設備工事（撤去）

機 器 名	数量	単位 重量 (TON)	類別	歩 掛		据付工		その他据付工			スクラップ材			備 考
				歩 掛 人/台	補正率 %	第1～ 第6類	第7類 (直材)	電工 (人)	技術者 (人)	普通作業員 (人)	故銑 A (TON)	鉄くず H2 (TON)	産業廃棄物 (TON)	
自動荒目スクリーン	1	0.63	2								0.504		0.126	
スクリーンカバー	1	0.4	7								0.32		0.08	
沈砂排出ポンプ	1	0.078	2								0.0624		0.0156	
散気装置（ばっ気沈砂槽）	1	0.157	5								0.1256		0.0314	
破碎機	1	0.145	1								0.116		0.029	
細目スクリーン	1	0.0489	2								0.0391		0.0098	
角落しA	1	0.005	7								0.004		0.001	
角落しB	2	0.006	7								0.0048		0.0012	
水中攪拌ポンプ	2	0.064	2								0.0512		0.0128	
流量調整ポンプ	2	0.036	2								0.0288		0.0072	
自動微細目スクリーン	2	0.022	2								0.0176		0.0044	
スクリーン槽	1	0.4	7								0.32		0.08	
し渣脱水機	1	0.07	2								0.056		0.014	
汚水計量槽	1	0.23	7								0.184		0.046	
ばっ気攪拌装置	2	0.305	2								0.244		0.061	
上澄水排出装置	2	1.36	6								1.088		0.272	
汚泥引抜ポンプ	2	0.045	2								0.036		0.009	
センターウェル	1	0.137	7								0.1096		0.0274	
濃縮汚泥引抜ポンプ	1	0.036	2								0.0288		0.0072	
散気装置（汚泥貯留槽）	4	0.015	5								0.012		0.003	
ばっ気沈砂槽ブロワー	1	0.029	1								0.0232		0.0058	
エアリフト用ブロワー	1	0.029	1								0.0232		0.0058	
小 計											3.3983		0.850	
機械設備据付工														
普通作業員 ×0.1														
設備機械工 ×0.9														
電工														
技術者														

スクラップ材の有価物量と産業廃棄物量については、分量が不明であるため単位重量の80%を有価物、20%を産業廃棄物として計上した。

機 器 等 据 付 工（撤去）（2/2）

類別歩掛り表 X：1台当り質量(t)
X'：1槽当り必要空気量(m³/min)

(工事名) 機械設備工事（撤去）

機 器 名	数量	単位 重量 (TON)	類別	歩 掛		据付工		その他据付工			スクラップ材			備 考	類別	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類
				歩 掛 人/台	補正率 %	第1～ 第6類	第7類 (直材)	電工 (人)	技術者 (人)	普通作業員 (人)	故銑 A (TON)	鉄くず H2 (TON)	産業廃棄物 (TON)		算出式	12.2X ^{0.711}	4.8X ^{0.766}	14.2X ^{0.676}	4.8X	3.5X	7.5X	4.9X
汚泥貯留槽ブロワー	1	0.167	1								0.1336		0.033		係数1	12.2	4.8	14.2	4.8	3.5	7.5	4.9
回分槽ブロワー（常用）	2	0.111	1								0.0888		0.022		係数2	0.71	0.78	0.68				
回分槽ブロワー（予備）	1	0.111	1								0.0888		0.022									
メカセラ装置	1	0.152	4								0.1216		0.030									
塩素装置	1	0.008	2								0.0064		0.002									
散水ポンプ	1	0.066	4								0.0528		0.013									
消毒器	1	0.012	2								0.0096		0.002									
迂流板	5	0.015	7								0.012		0.003	直材								
循環水ポンプ	1	0.017	2								0.0136		0.003									
放流ポンプ	2	0.066	2								0.0528		0.013									
污水切替弁（φ125）	2	0.076	2								0.0608		0.015									
脱離液流出弁（φ150）	1	0.112	2								0.0896		0.022									
回分槽ブロワー切替弁（65A）	2	0.028	2								0.0224		0.006									
大曲7号中継ポンプ	2	0.091	2								0.0728		0.018									
電磁流量計（100A）	1	0.008	2								0.0064		0.002									
電磁流量計（40A）	1	0.014	2								0.0112		0.003									
小 計											0.8432		0.211									
合 計											4.2415		1.0604									
機械設備据付工																						
普通作業員 ×0.1																						
設備機械工 ×0.9																						
電工																						
技術者																						

スクラップ材の有価物量と産業廃棄物量については、分量が不明であるため単位重量の80%を有価物、20%を産業廃棄物として計上した。

スクラップ材・産業廃棄物集計表

(撤去)

(工事名) 機械設備工事 (撤去)

[illegible]

複 合 工 及 仮 設 集 計 表 (撤去)

(工事名) 機械設備工事 (撤去)

No.	コンクリート工				モルタル工				鉄筋工 SD : 30 kg	掘削工 m ³	埋戻工 m ³	残土処理 m ³	栗石工 m ³	捨コン m ²	芝生撤去工 m ²	防食塗装 B種 m ²	はつり工 m ³	型枠工 m ²	ガラ処分 m ³
	鉄筋コンクリート工		無筋コンクリート工		仕上工			充填工 m ³											
	σ =240 m ³		σ =180 m ³		厚さ20mm 1：2 m ²	厚さ20mm 1：3 m ²	防水厚20mm 1：3 m ²												
1						1.823		0.096									0.079	1.656	0.079
計						1.823		0.096									0.079	1.656	0.079
設計 数量						1.82		0.1									0.08	1.66	0.08

No.1 配管貫通部計算書

(工事名) 機械設備工事(撤去)

番号	名 称	数量	口 径 (mm φ)	箱抜径 (mm φ)	壁厚 (mm)	床・天井厚 (mm)	はつり工 (m³)	ガラ処分 (m³)	モルタル		型枠工	
									充填工 (m³)	仕上げ (㎡)	壁 (㎡)	床・天井 (㎡)
3		1	100	250	200		0.008	0.008	0.01	0.098	0.098	
6		1	125	300		250	0.015	0.015	0.018	0.141		0.071
7		1	125	300		250				0.141	0.141	
7		2	125	300	300		0.035	0.035	0.042	0.283	0.283	
9		2	100	250	300					0.196		0.098
9		1	100	250	200					0.098		0.049
11		1	150	300	300					0.141		0.071
11		1	150	300	200		0.011	0.011	0.014	0.141	0.141	
29		1	150	300		250				0.141	0.141	
30		1	50	200		250				0.063	0.063	
32		1	150	300		250				0.141	0.141	
33		1	100	250		250	0.01	0.01	0.012	0.098	0.098	0.049
34		1	150	300	300					0.141	0.141	0.071
					小計		(0.079)	(0.079)	(0.096)	(1.823)	(1.247)	(0.409)
					計		0.079	0.079	0.096	1.823	1.656	

小配管弁類材料数量計算書（撤去）

（工事名） 機械設備工事（撤去）

スケルトンNo.	管 種	類 別							実 数 量		弁 類	
	口 径	屋内	屋外	埋設	サポ-ト 要 不要	塗 装 要 不要	計 算 式		付属材料率	実 数 量 (m)	形 式	数 量
101	SUS304TP	○					0.25+0.65+2.3-0.35+0.95+2.1			5.9		
	sch20S											
	100A											
102	SUS304TP	○					2.45			2.45		
	sch20S											
	80A											
103	VP	○					0.2+0.65+0.2			1.05		
	φ100											
104	SUS304TP	○					1.05+1.5+1.5+0.95+0.01			5.01		
	sch20S											
	80A											
	SUS304TP	○					(0.8+0.35+5.7)*2			13.7		
	sch20S											
	65A											
105	SUS304TP	○					0.15			0.15		
	sch20S											
	150A											

小 配 管 弁 類 材 料 数 量 計 算 書 (撤去)

(工事名) 機械設備工事 (撤去)

[illegible]

小 配 管 弁 類 材 料 数 量 計 算 書 (撤去)

(工事名) 機械設備工事 (撤去)

[illegible]

小 配 管 弁 類 材 料 数 量 計 算 書 (撤去)

(工事名) 機械設備工事 (撤去)

スケルトンNo.	管 種	類 別							実 数 量		弁 類	
	口 径	屋内	屋外	埋設	サポ一ト 要 不要	塗 装 要 不要	計 算 式		付属材料率	実 数 量 (m)	形 式	数 量
116	SUS304TP	○					1.6+1.7			3.3		
	sch20S											
	32A											
	SUS304TP	○					0.3+1.5+1.2+1+0.2+1.2+0.2			5.6		
	sch20S											
	20A											
117	SUS304TP	○					0.4+2.55+5.4+0.2+0.2			8.75		
	sch20S											
	32A											
118	SUS304TP	○					0.45+4.95+0.75+0.1+0.05+3+3.4+0.8+0.4+0.05+2.1			18.9		
	sch20S						+0.45+2.2+0.2					
	20A											
119	SUS304TP	○					0.45+4.95+0.75+0.1+0.05+3+3.4+0.8+0.4+2.1+0.65			18.95		
	sch20S						+0.1+2.2					
	20A											
120	SUS304TP	○					1.95+0.5+0.6+0.05+1.1+2.6+1.35+0.1+0.25			8.5		
	sch20S											
	20A											

小 配 管 弁 類 材 料 数 量 計 算 書 (撤去)

(工事名) 機械設備工事 (撤去)

スケルトンNo.	管 種	類 別							実 数 量		弁 類	
	口 径	屋内	屋外	埋設	サポ一ト 要 不要	塗 装 要 不要	計 算 式		付属材料率	実 数 量 (m)	形 式	数 量
121	SUS304TP	○					0.4+1.45+2.8+3.85+0.1+0.5+0.65+1.3+2.75+0.8+0.8			17.75		
	sch20S						+2.35					
	65A											
	SUS304TP	○					(0.5+5.4+0.8+0.1+0.1)*4+0.25+0.5+1.85			30.2		
	sch20S											
	32A											
122	SUS304TP	○					0.85+0.45+1.6+1.05+1.6+0.45+1.8			7.8		
	sch20S											
	32A											
	SUS304TP	○					0.4+1.6+1.1+1.1+0.4			4.6		
	sch20S											
	20A											
123	SUS304TP	○					0.2+0.6+5.4+0.2+0.2			6.6		
	sch20S											
	32A											
124	SUS304TP	○					4.85+0.2+2.6+1.9+1.7+0.35+5.15+0.2			16.95		
	sch20S											
	20A											

小 配 管 弁 類 材 料 数 量 計 算 書 (撤去)

(工事名) 機械設備工事 (撤去)

[illegible]

小 配 管 弁 類 材 料 数 量 計 算 書 (撤去)

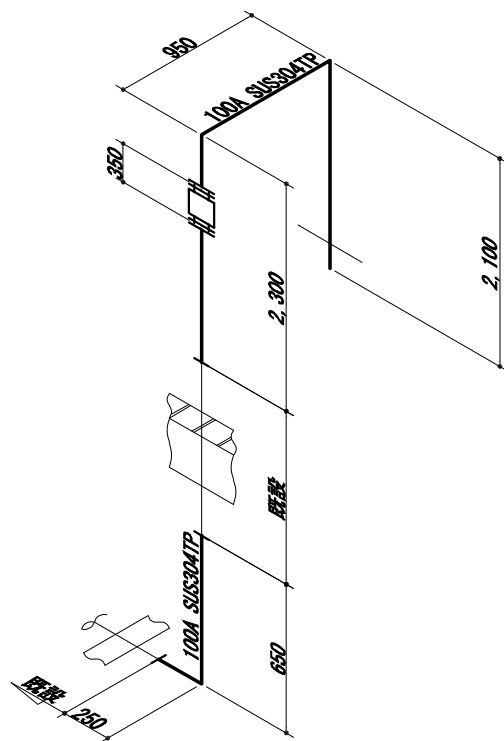
(工事名) 機械設備工事 (撤去)

スケルトンNo.	管 種	類 別								実 数 量		弁 類	
	口 径	屋内	屋外	埋設	サポ-ト 要 不要	塗 装 要 不要	計 算 式			付属材料率	実 数 量 (m)	形 式	数 量
129	VP	○					0.65				0.65		
	φ 150												
130	VP	○					0.65				0.65		
	φ 50												
131	SUS304TP	○					0.15				0.15		
	sch20S												
	15A												
132	VP	○					1.05				1.05		
	φ 150												
133	VP	○					0.6				0.6		
	φ 100												

小 配 管 弁 類 材 料 数 量 計 算 書 (撤去)

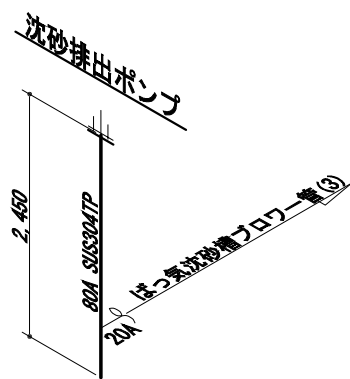
(工事名) 機械設備工事 (撤去)

[illegible]



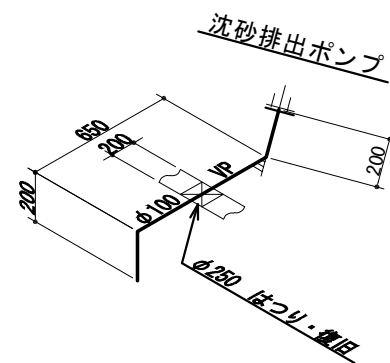
屋内

流入管（撤去）
スケルトン No. 101



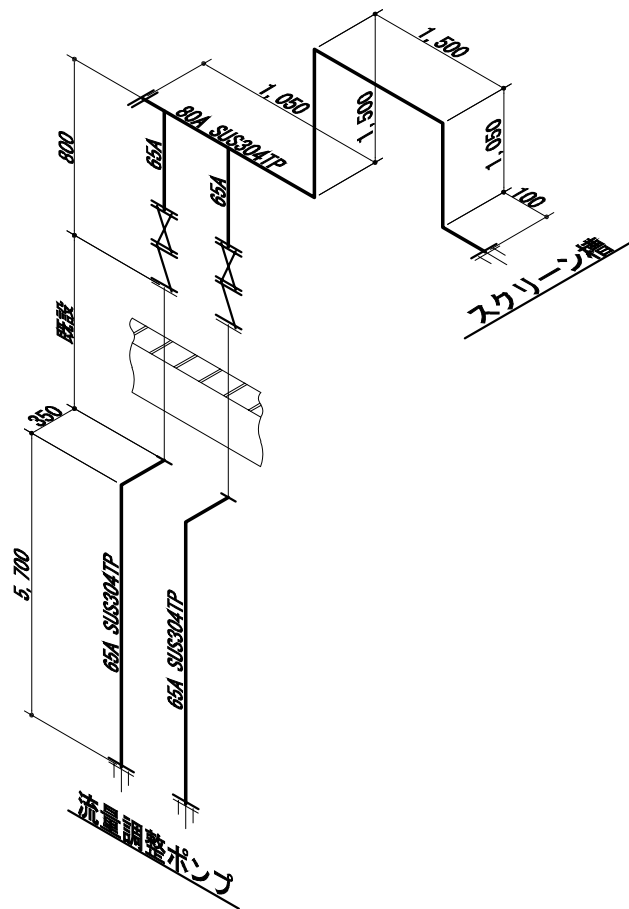
屋内

沈砂排出引抜管（撤去）
スケルトン No. 102



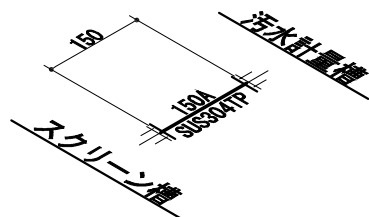
屋内

沈砂排出管（撤去）
スケルトン No. 103



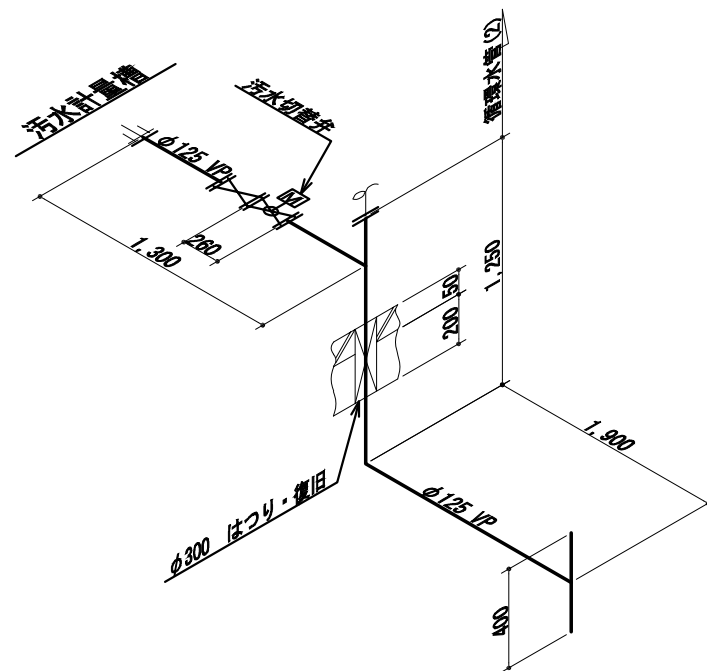
屋内

流量調整管（撤去）
スケルトン No. 104



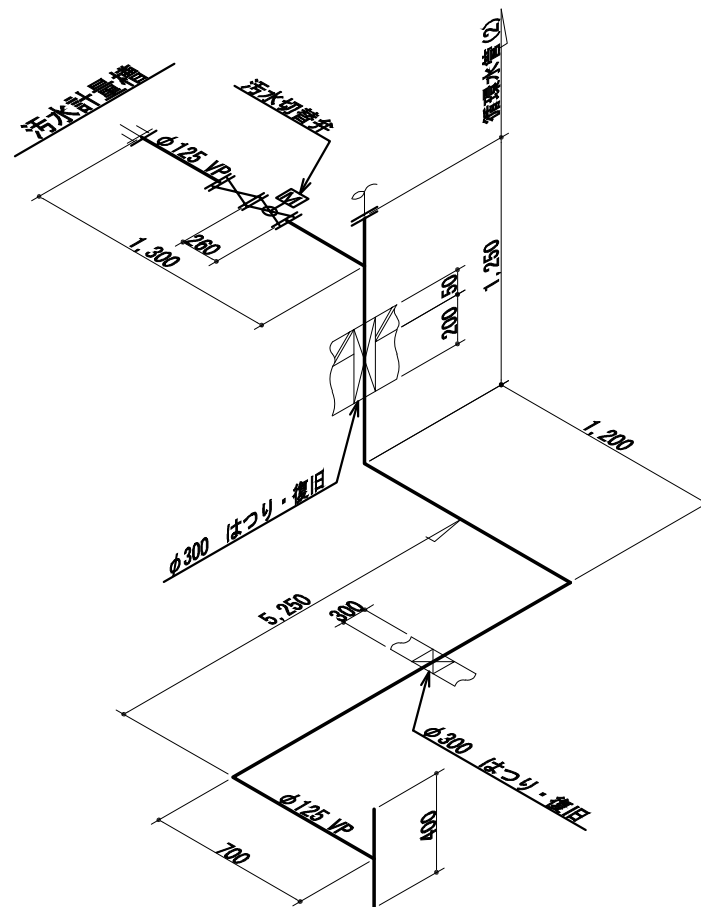
屋内

汚水管（撤去）
スケルトン No. 105



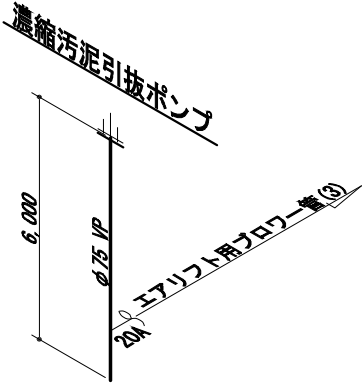
屋内

汚水配管 (1) (撤去)
スケルトン No. 106



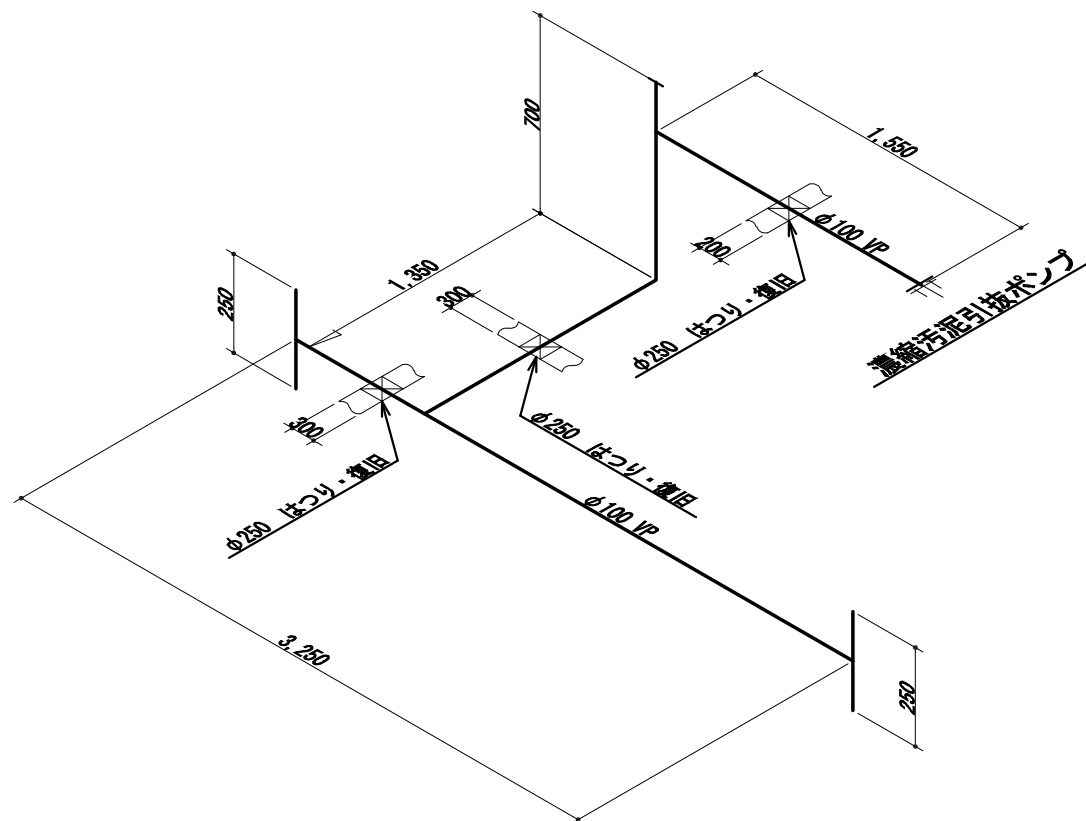
屋内

汚水配管(2)(撤去)
スケルトン No. 107



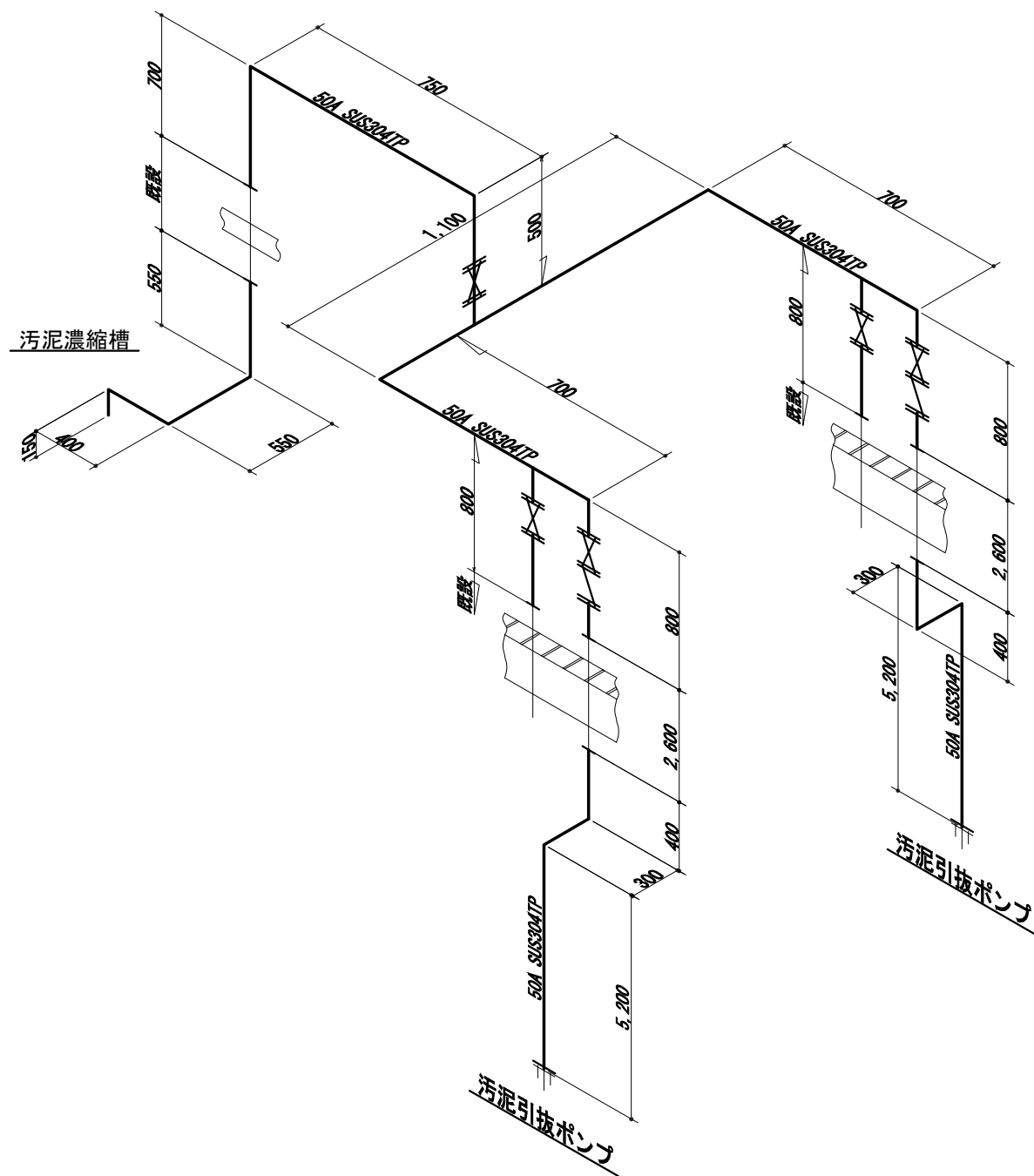
屋内

濃縮汚泥引抜管（撤去）
スケルトン No. 108



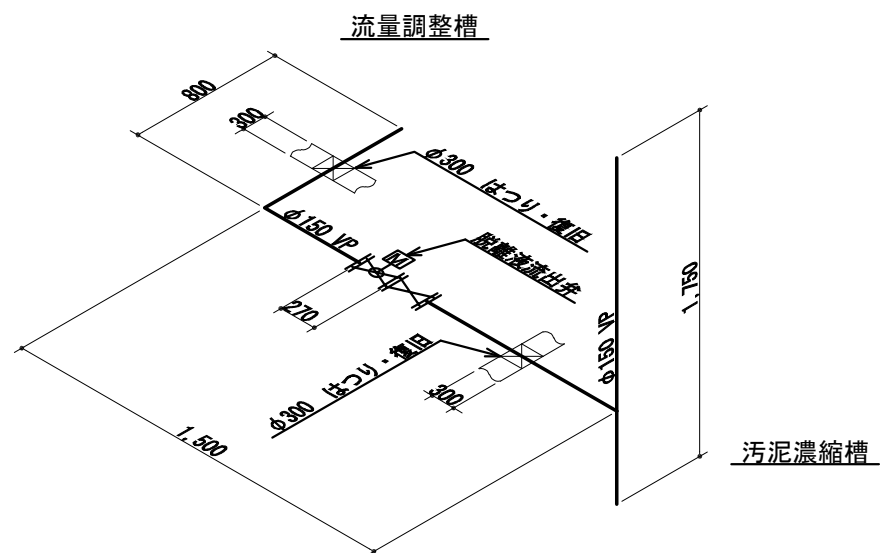
屋内

濃縮汚泥管（撤去）
スケルトン No. 109



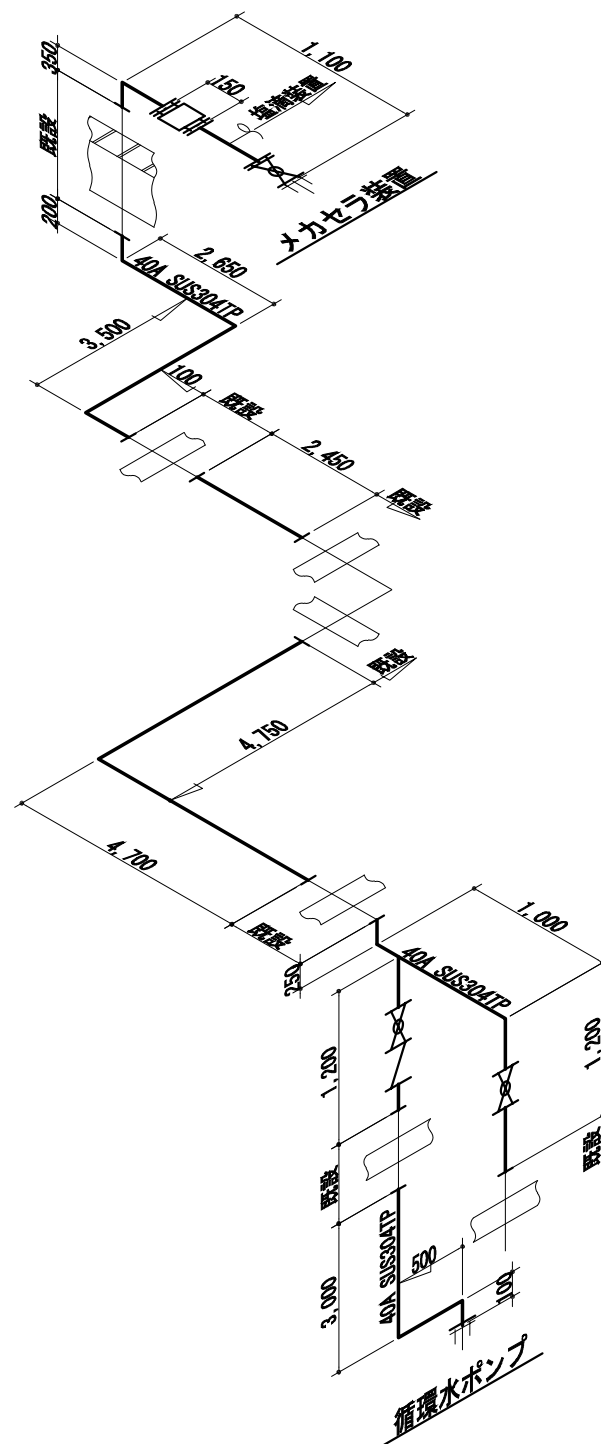
屋内

污水管（撤去）
スケルトン No. 110



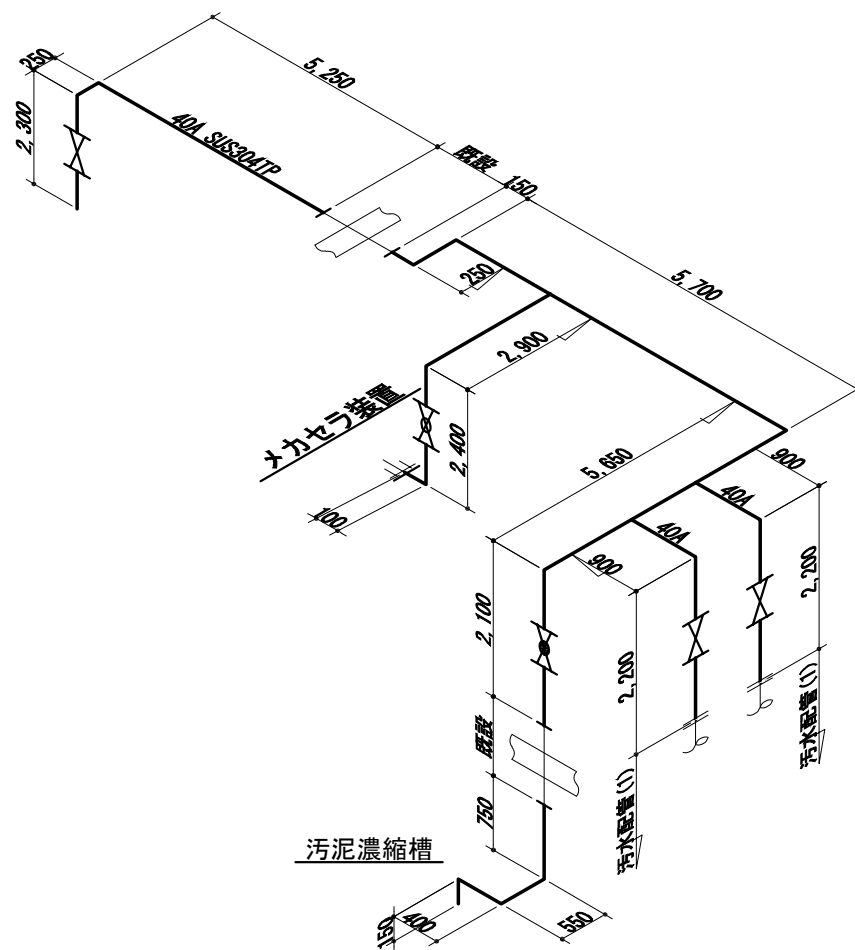
屋内

脱離液管（撤去）
スケルトン No. 1 1 1



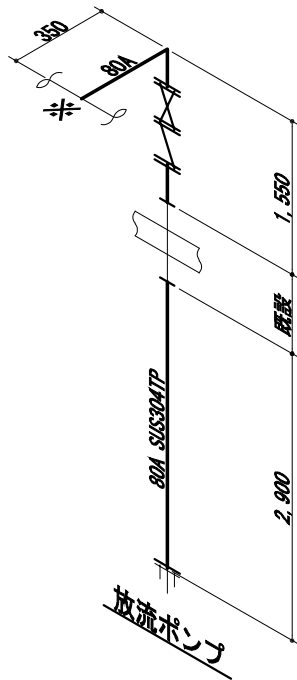
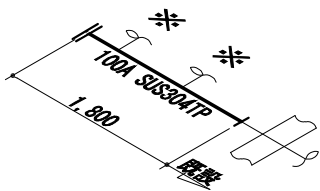
屋内

循環水管 (1) (撤去)
スケルトン No. 112



屋内

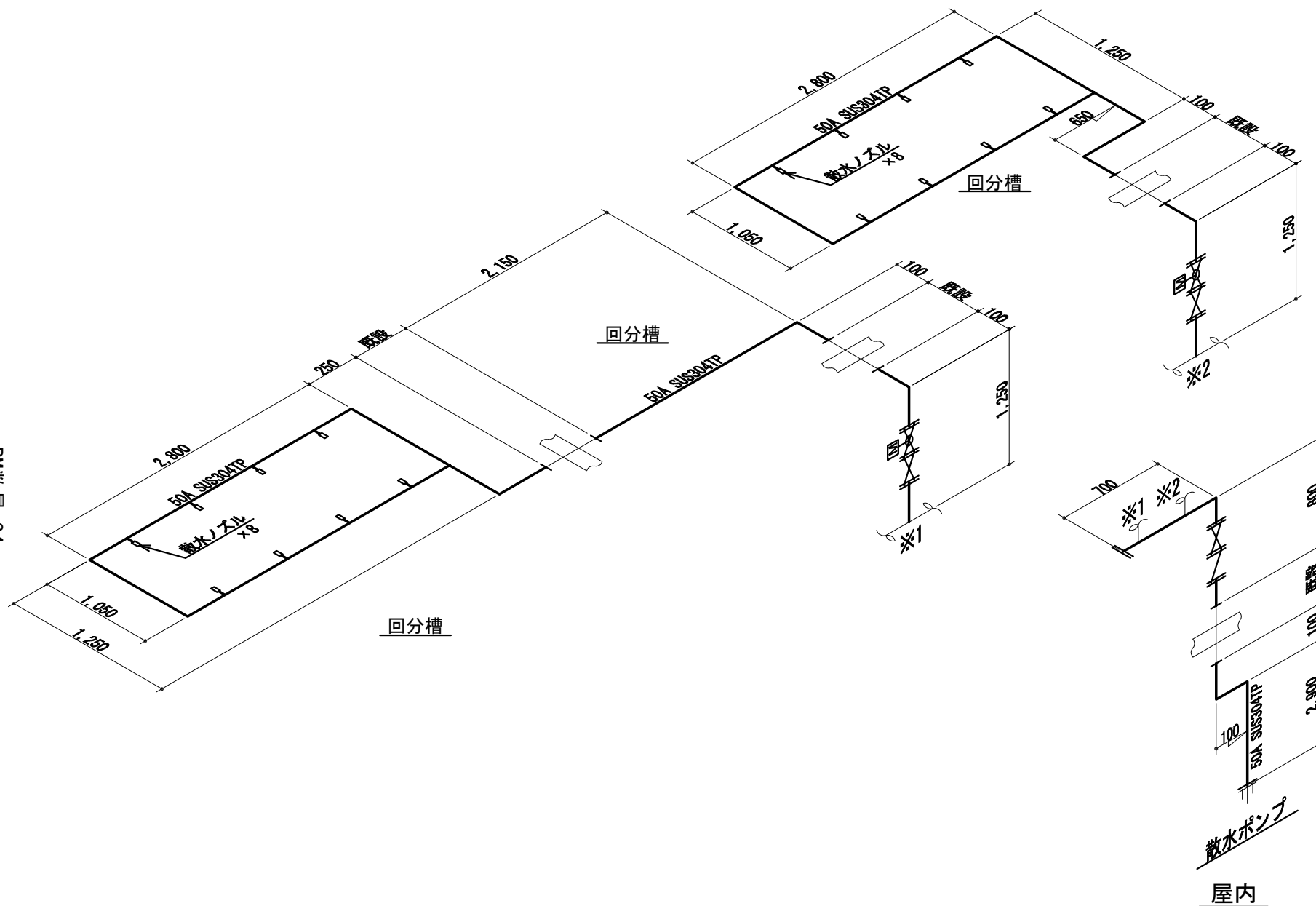
循環水管(2)(撤去)
スケルトン No. 113

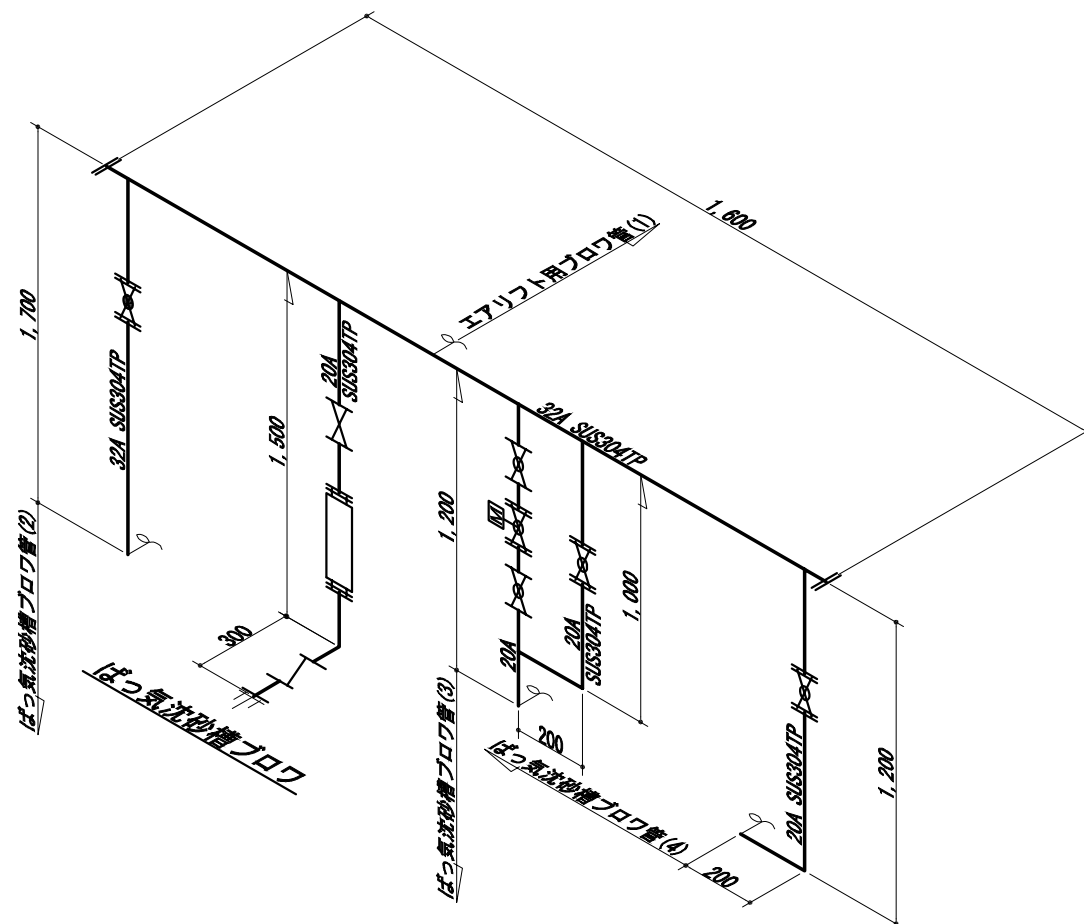


× 2組

屋内

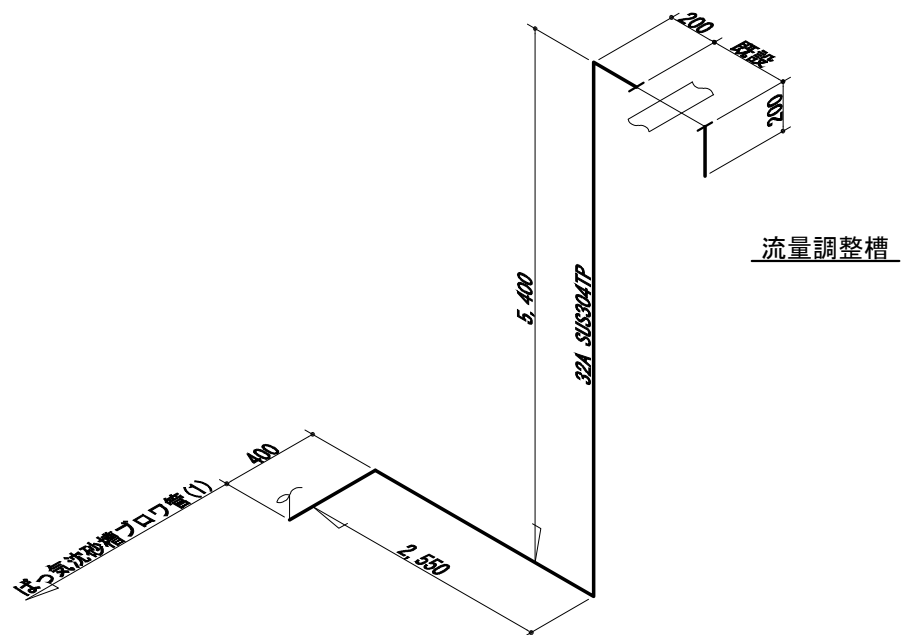
放流管（撤去）
スケルトン No. 1 1 4





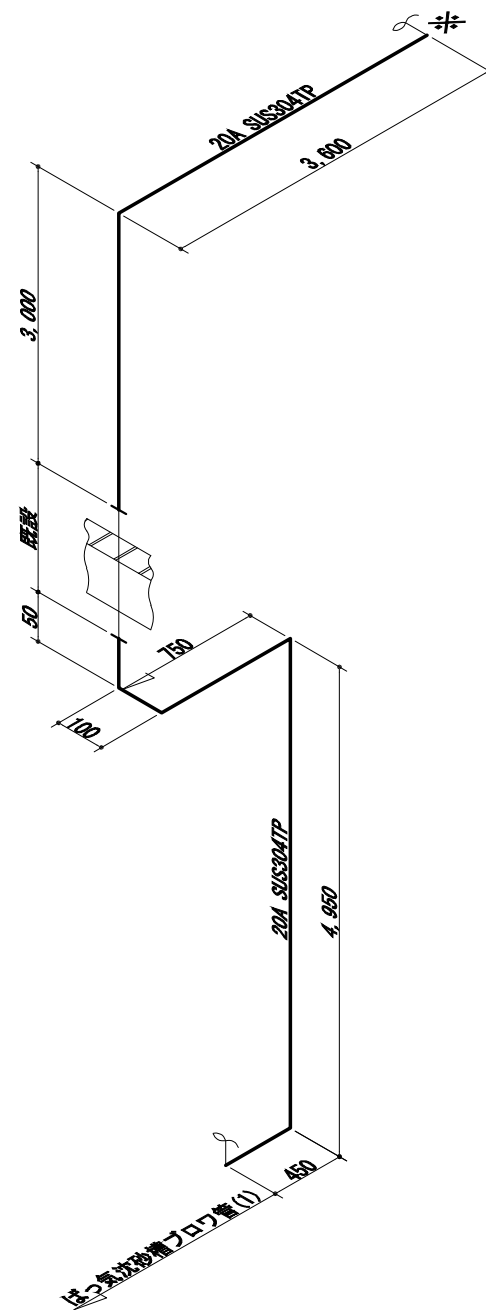
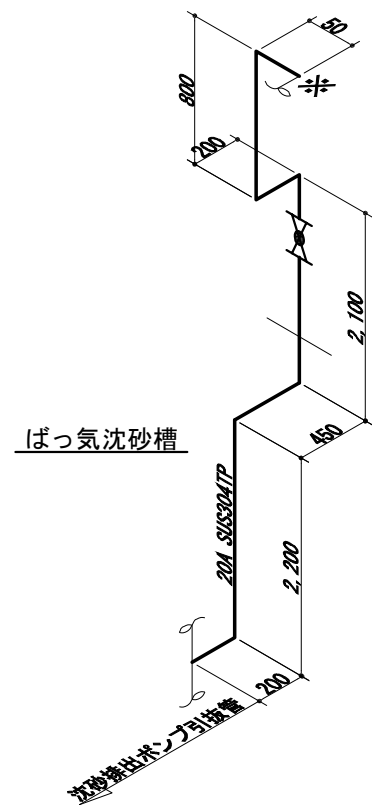
屋内

ばっ気沈砂槽ブロワ管(1) (撤去)
スケルトン No. 116



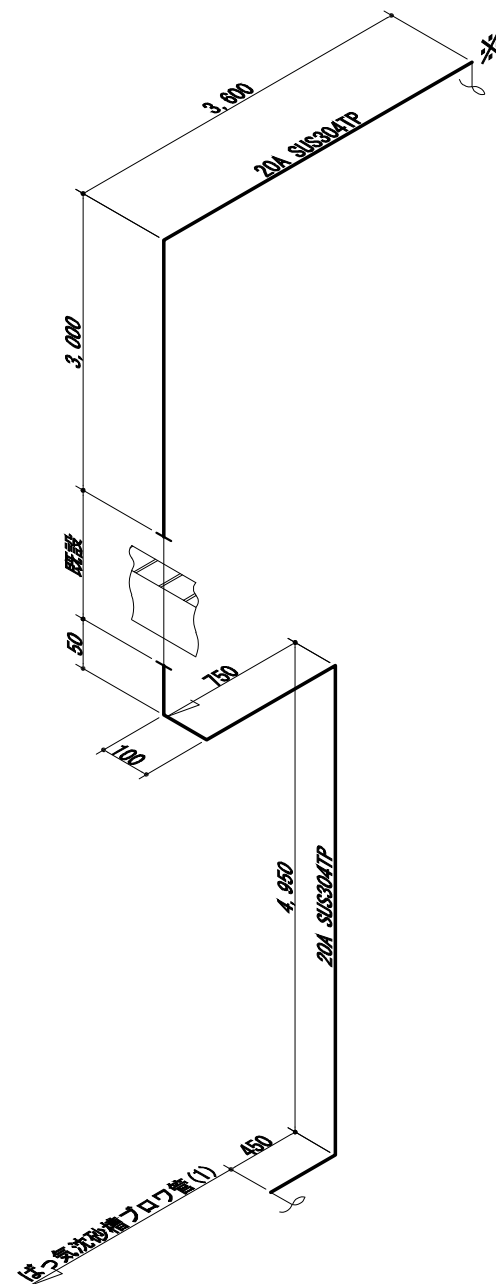
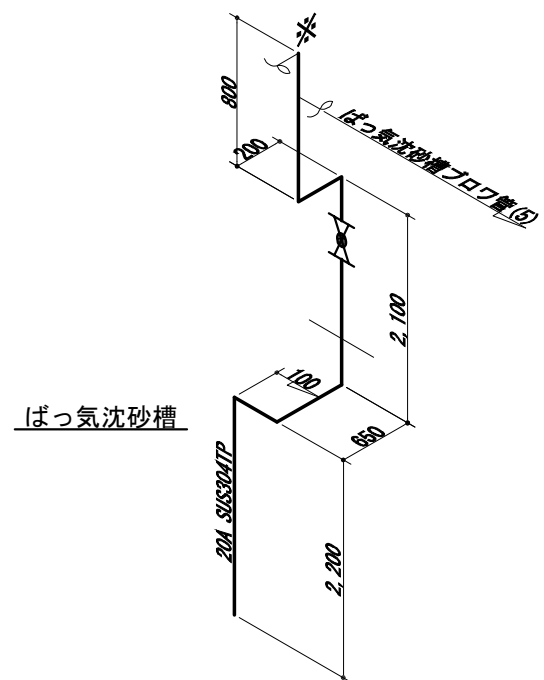
屋内

ばっ気沈砂槽ブロワ管(2)(撤去)
スケルトン No. 117



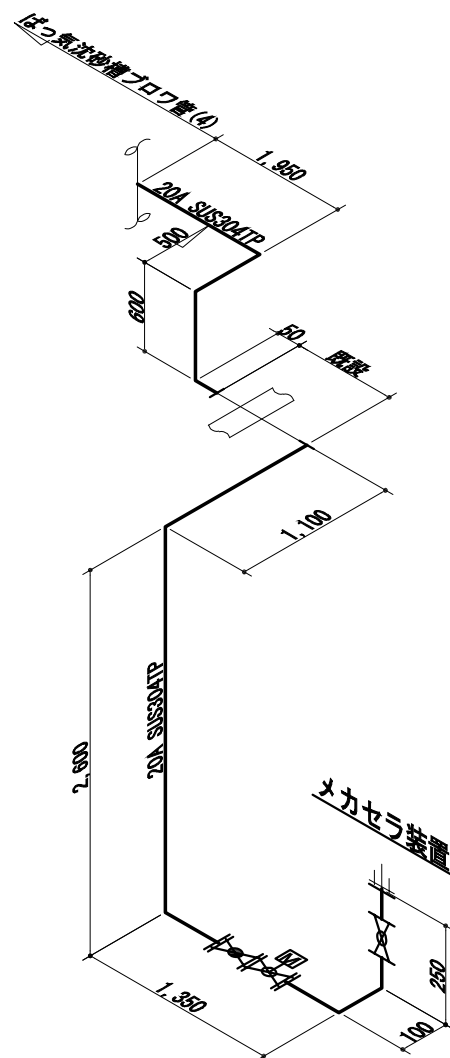
屋内

ばっ気沈砂槽ブロワ管 (3) (撤去)
スケルトン No. 118



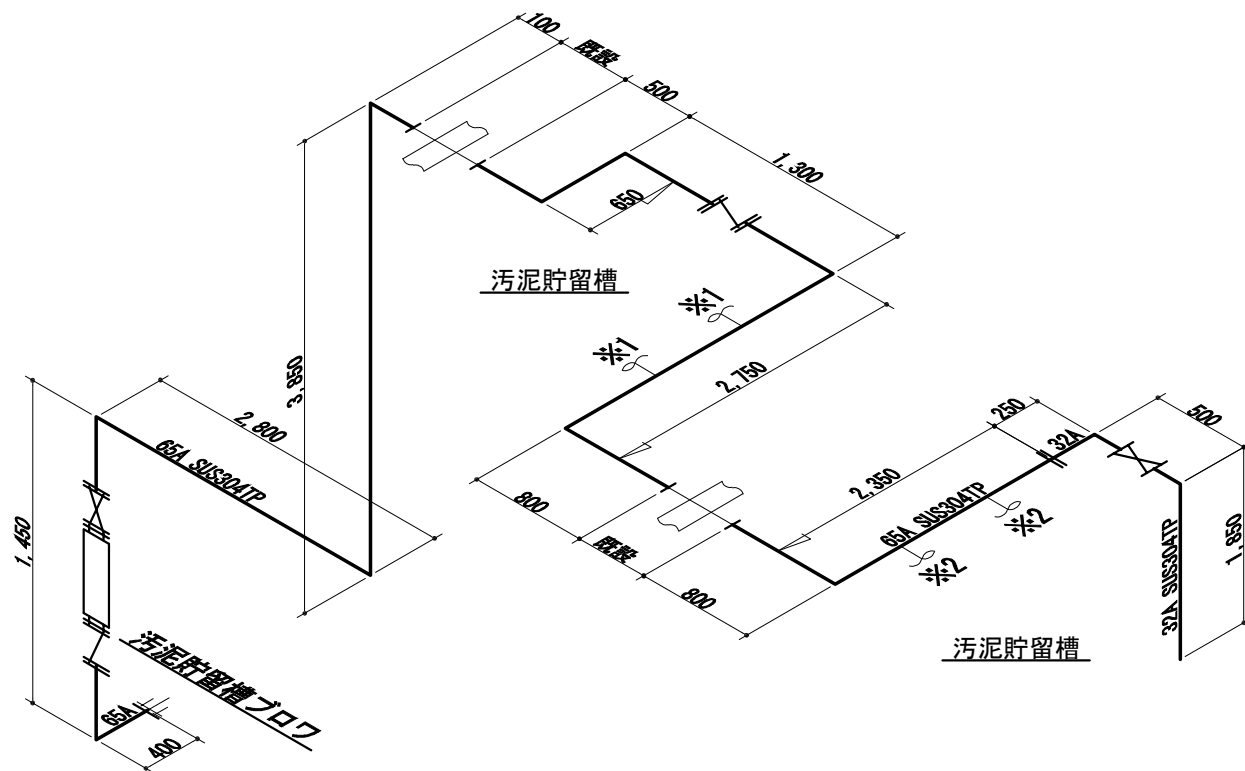
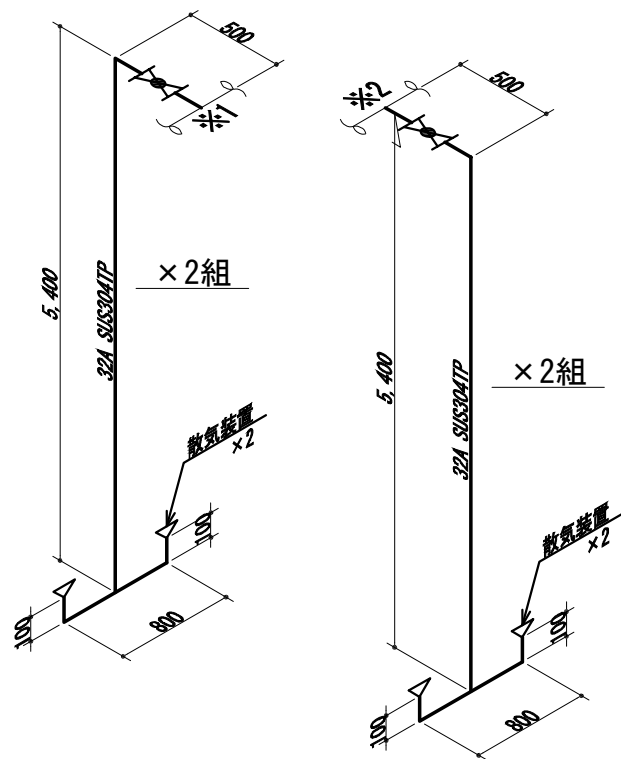
屋内

ばっ気沈砂槽ブロワ管(4) (撤去)
スケルトン No. 119



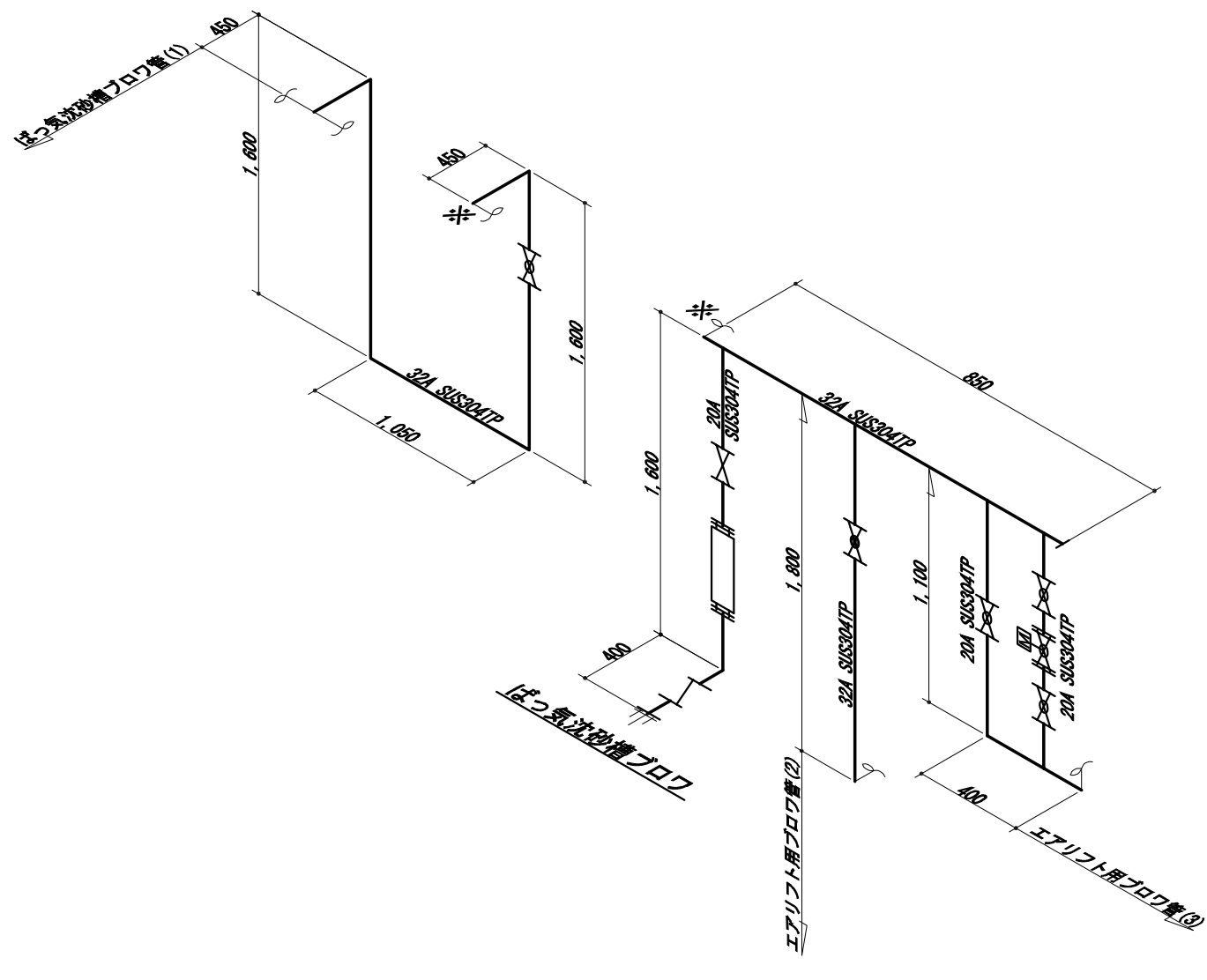
屋内

ばっ気沈砂槽ブロワ管(5) (撤去)
スケルトン No. 120



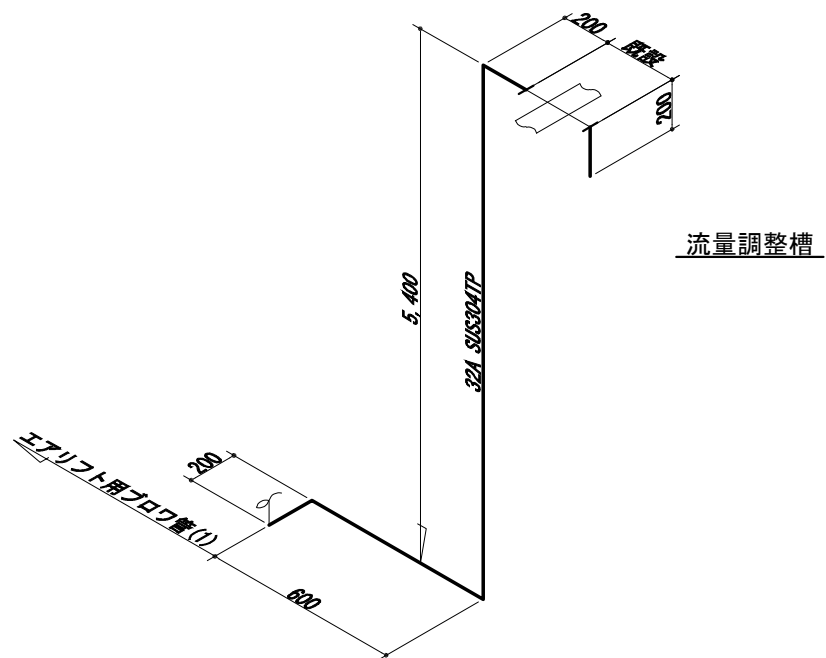
屋内

汚泥貯留槽ブロワ管（撤去）
スケルトン No. 1 2 1



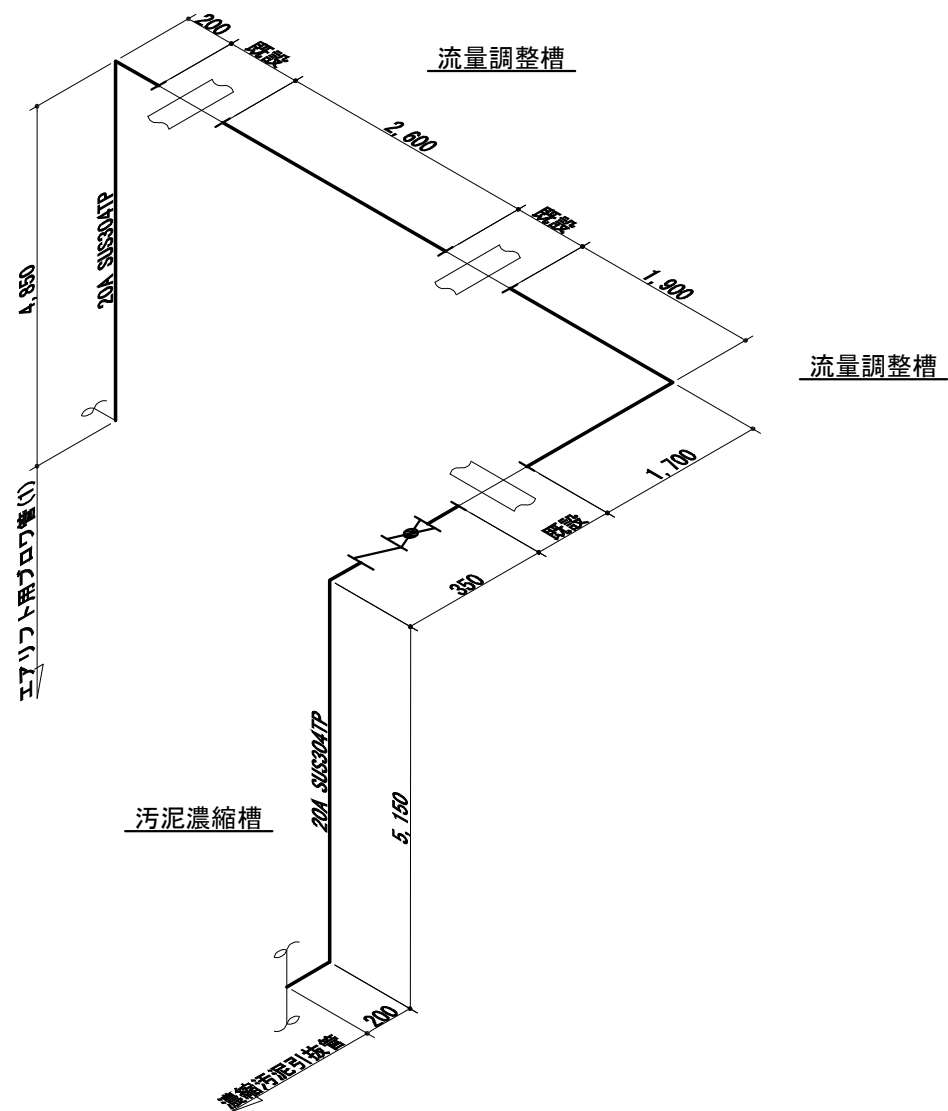
屋内

エアリフト用ブロワ管 (1) (撤去)
スケルトン No. 1 2 2



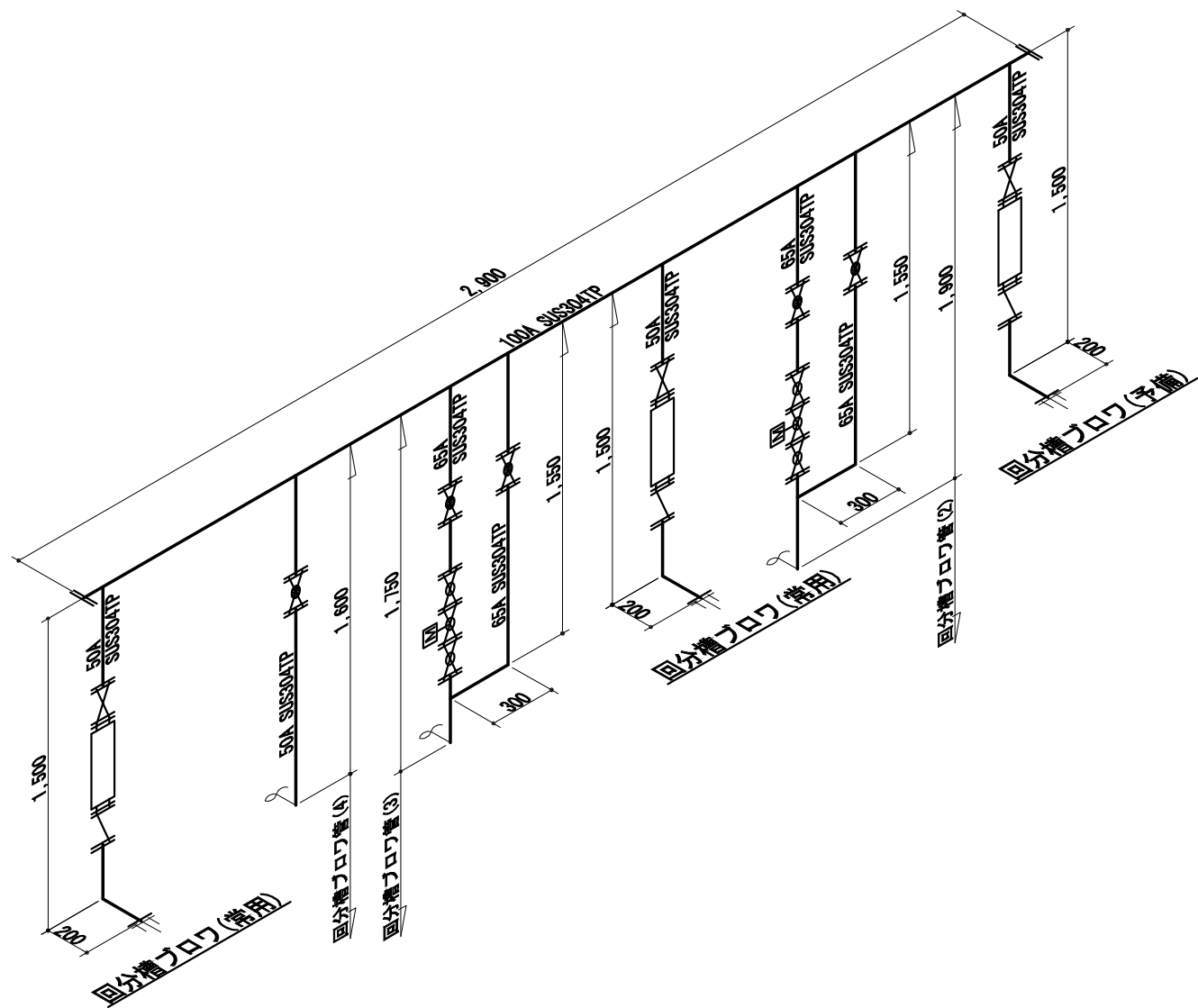
屋内

エアリフト用ブロワ管(2) (撤去)
スケルトン No. 1 2 3



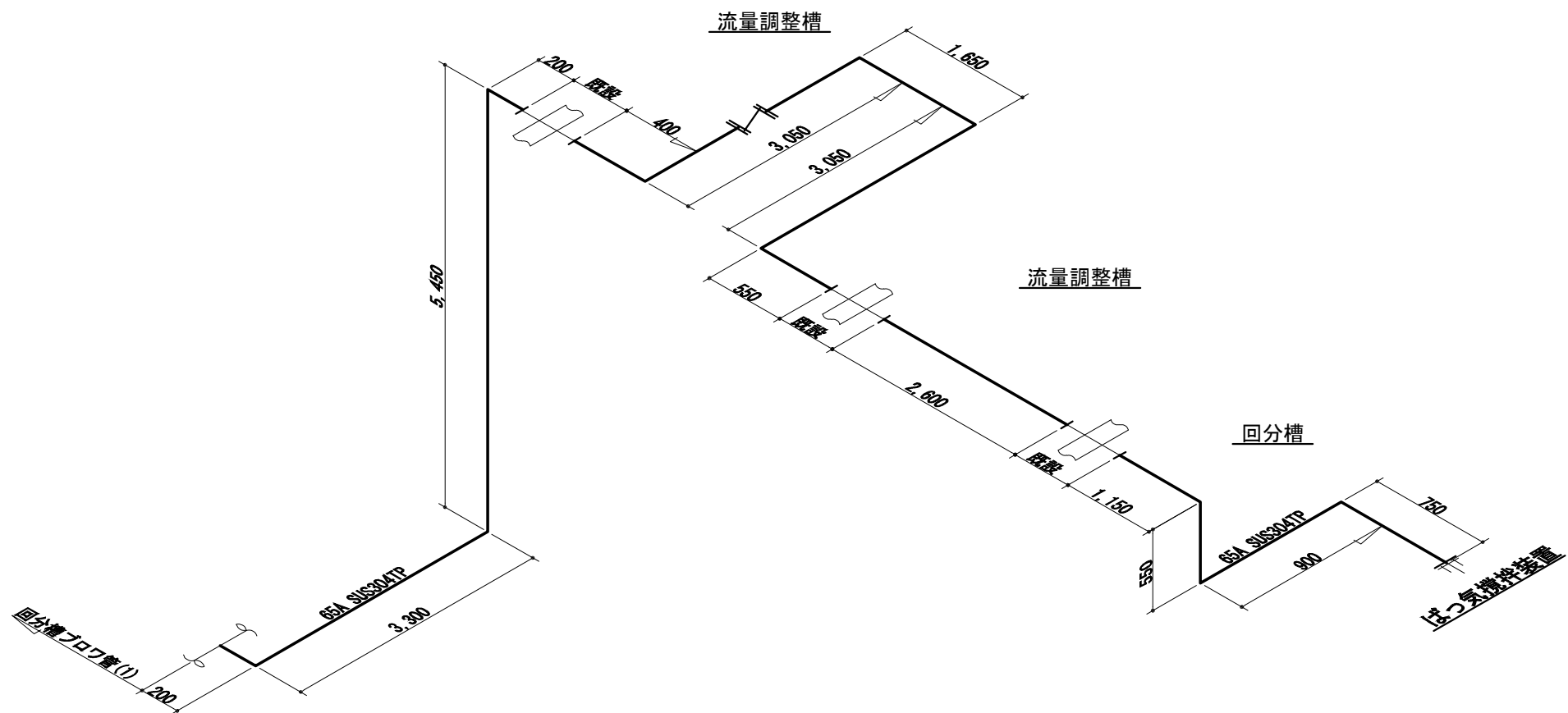
屋内

エアリフト用ブロワ管 (3) (撤去)
スケルトン No. 124



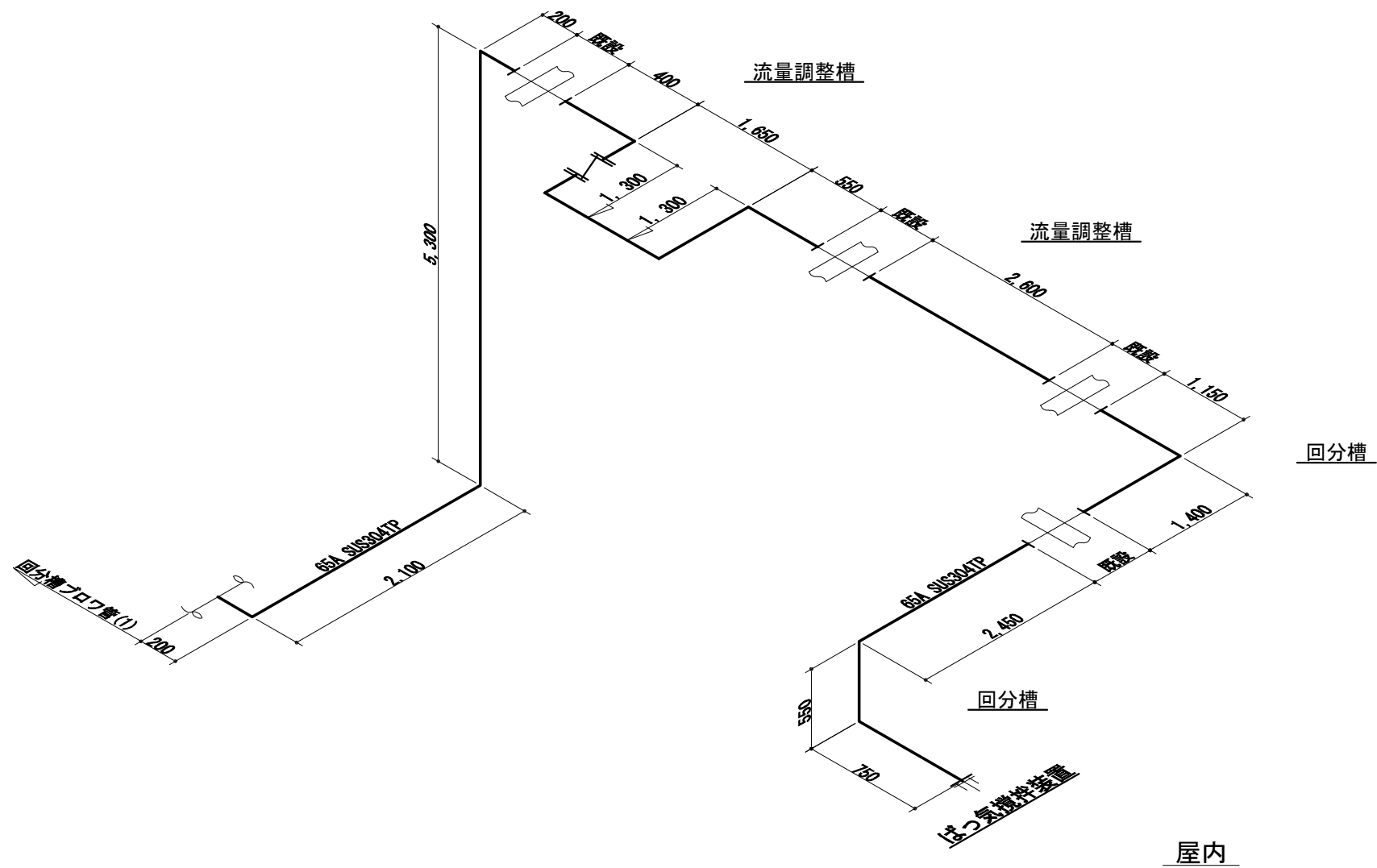
屋内

回分槽ブロウ管(1)(撤去)
スケルトン No. 125

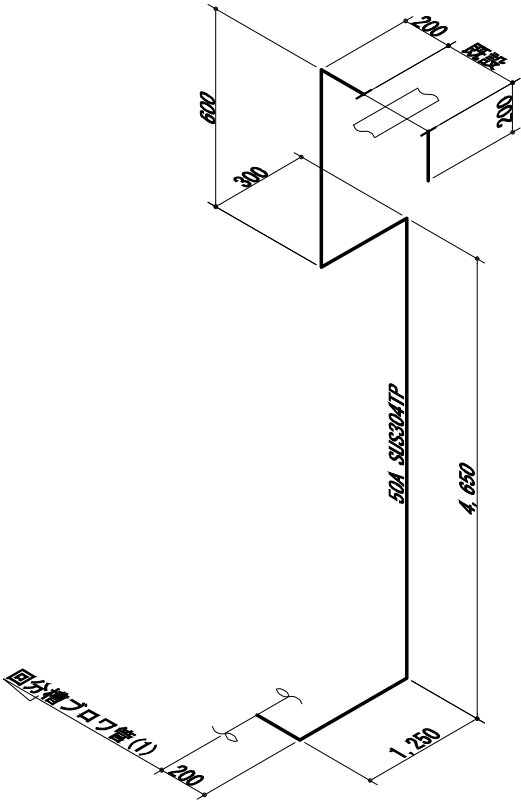


屋内

回分槽ブロワ管(2)(撤去)
スケルトン No. 1 2 6



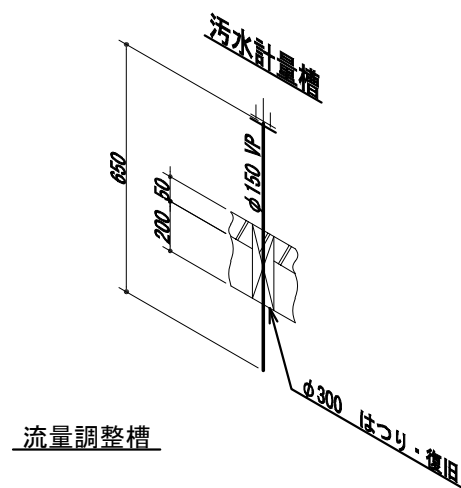
回分槽ブロワ管 (3) (撤去)
スケルトン No. 1 2 7



流量調整槽

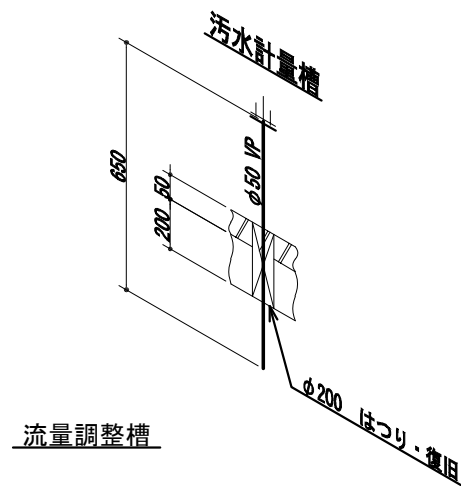
屋内

回分槽ブロワ管(4)(撤去)
スケルトン No. 1 2 8



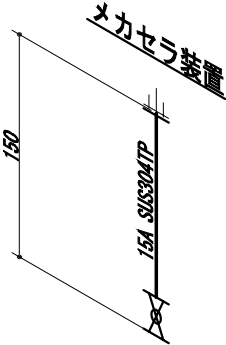
屋内

汚水計量槽オーバーフロー管（撤去）
スケルトン No. 1 2 9



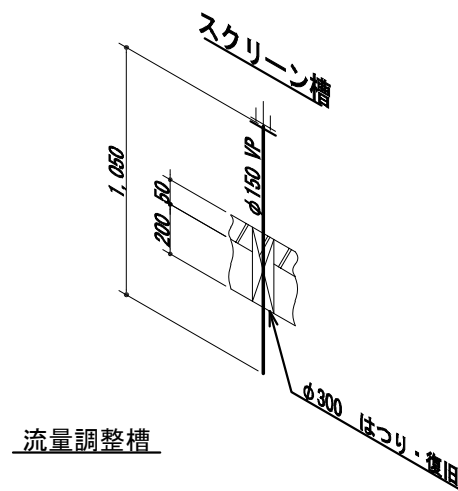
屋内

汚水計量槽ドレン管（撤去）
スケルトン No. 130



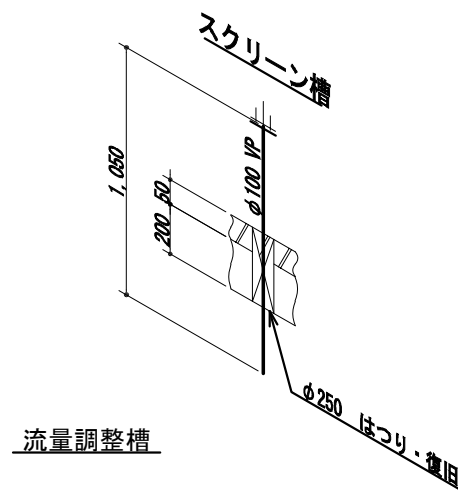
屋内

メカセラ装置ドレン管（撤去）
スケルトン No. 1 3 1



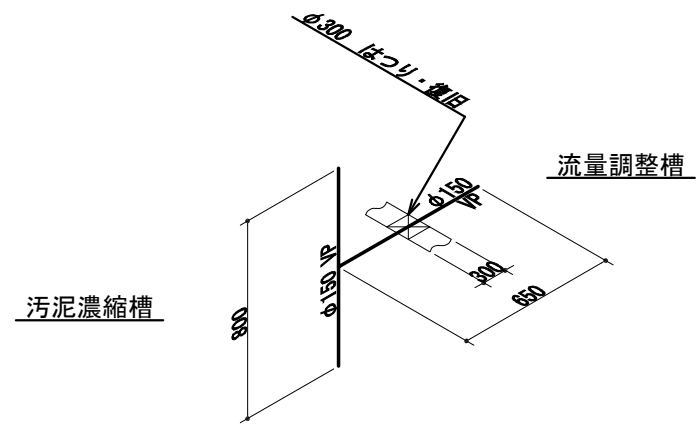
屋内

スクリーン槽オーバーフロー管（撤去）
スケルトン No. 1 3 2



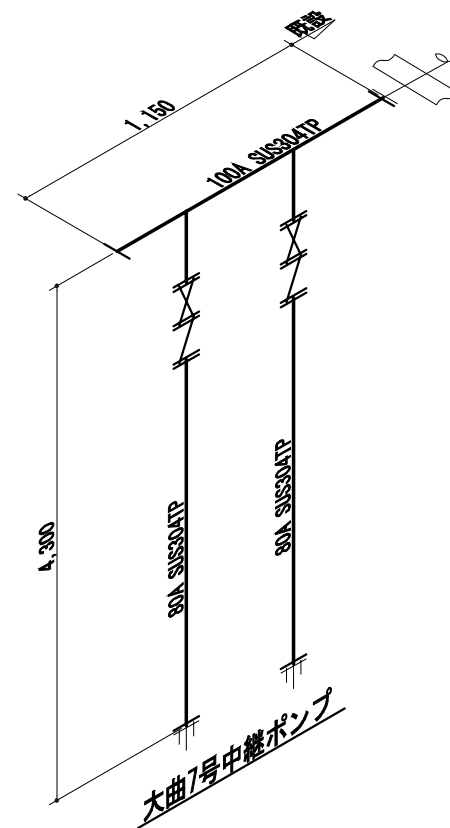
屋内

スクリーン槽ドレン管（撤去）
スケルトン No. 1 3 3



屋内

汚泥濃縮槽オーバーフロー管（撤去）
スケルトン No. 1 3 4



屋内

吐出管（撤去）
スケルトン No. 135

一般労務員・機械設備据付労務員集計表

(設備名)

	普通作業員 (人)	配管工 (人)	設備機械工 (人)	溶接工 (人)	はつり工 (人)	電工 (人)	技術者 (人)	機械設備据付工 (人)	備考
機器等据付工									
鋳鉄管据付工									
鋼管据付工									
小配管据付工									
複合工									
試運転費									
計									
設計数量	人	人	人	人	人	人	人	人	

設計数量の端数整理は、有効数字3桁とし、小数点以下は切捨てとする。

[illegible]

鋼 製 架 台 集 計 表									
架台	鋼製	架台	鋼製	架台	鋼製	架台	鋼製	架台	鋼製
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100

(設備名)

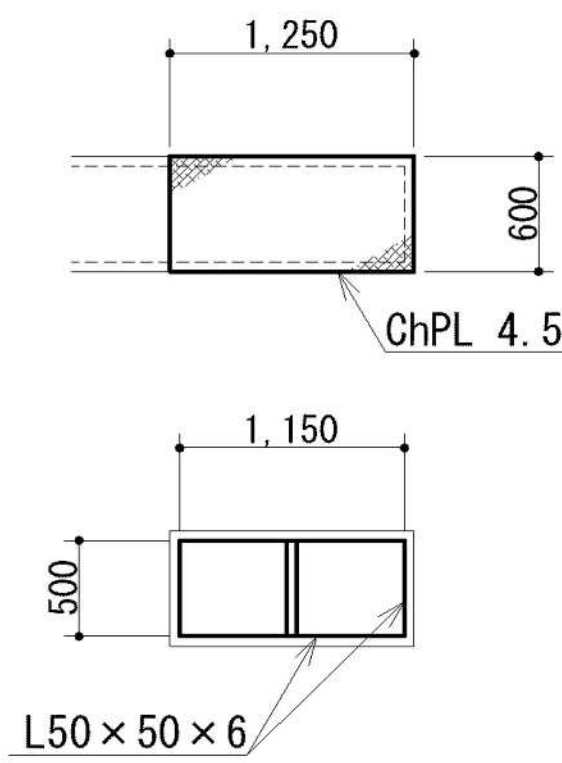
[illegible]

設計数量は、有効数字3桁、小数点以下2桁までとし、次の位四捨五入とする。

鋼製架台計算書 (/)

()

(設備名)

名 称	数 量	略 図	算 出 式	単 位 数 量	小 計	加 工 度	
スクリーン蓋 (K-1)	1		L 50×50×6	19.05kg	19.05kg		
			1.15*2+0.5*4*4.43kg/m=19.05kg				
			chPL 4.5	27.74kg	27.74kg		
			1.25*0.6*36.99kg/m=27.74kg				
				計	46.79 kg	(Znメッキ)	

端数整理は、小数点以下2桁までとし、次の位四捨五入とする。

複合工及仮設工集計表(/)

(設備名)

No.	コンクリート工					モルタル仕上工								はつり工		型枠工			
	鉄筋コンクリート工		無筋コンクリート工			モルタル仕上工			充 填										
						厚さ20mm 配合1:2 m ²	厚さ20mm 配合1:3 m ²	防水厚さ20mm 配合1:3 m ²	配合1:2 m ³										
1							0.18		0.030							0.18			
2							0.30		0.045							0.30			

設計数量の単位

コンクリート	m ³	0.1位 (次の位四捨五入)	土工	m ³	1位但し100m ³ 以上10位 (次の位四捨五入)
モルタル仕上	m ²	1位 (")	型枠工	m ²	1位 (")
モルタル充填	m ³	0.1位 (")	足場工	m ²	1位 (")
鉄筋	kg	1位但し1,000kg以上10位 (")			

複 合 工 及 仮 設 計 算 書 (/)

(設備名)

No. 1	名称	無筋コンクリート(1)	数量	3						
					コン クリ ー ト 工		鉄 筋 無 筋 $\sigma_{28} = \frac{\text{N/mm}^2}{\text{kg/cm}^2}$		$100^{\square} \times 100^{\text{H}}$ $100^{\square} \times 150^{\text{H}}$ ヶ 所	
					モ ル タ ル 仕 上	$\pi/4 \times 0.2^2 \times 2 = 0.06$	厚さ 20 m/m	型 枠 工	$\pi/4 \times 0.2^2 \times 2 = 0.06$	(I)
						0.6*3=18	配合 1 : 3		0.6*3=18	
							0.18 m ²		0.18 m ²	
					モ ル タ ル 充 填	$\pi/4 \times 0.45^2 \times 0.3 = 0.01$				
						0.1*3=0.03				
							0.03 m ³			m ³
							SD-345			
		(D-)								
		kg								
No. 2	名称	無筋コンクリート(2)	数量	1						
							鉄 筋 無 筋 $\sigma_{28} = \frac{\text{N/mm}^2}{\text{kg/cm}^2}$		$100^{\square} \times 100^{\text{H}}$ $100^{\square} \times 150^{\text{H}}$ ヶ 所	
					モ ル タ ル 仕 上	0.5*0.3*2=0.3	厚さ 20 m/m	型 枠 工	0.5*0.3*2=0.3	(I)
							配合 1 : 3			
							0.30 m ²		0.30 m ²	
					モ ル タ ル 充 填	0.5*0.3*0.3=0.045				
							0.045 m ³			m ³
							SD-345			
		(D-)								
		kg								

端数整理は、「機器及び材料の積算」による。

(SUS)

小 配 管 ・ 塩 ビ 管 据 付 工 (/)

(設備名)

屋 内 配 管							
	口 径 mm	設 計 数 量 m	配 管 工		普 通 作 業 員		口 径 (mm)
			歩 掛 (人/m)	人 員 (人)	歩 掛 (人/m)	人 員 (人)	
鋼 管 ・ 小 配 管 (V L P ・ S U S 含 む)	15						15
	20	0.26					20
	25						25
	32	0.25					32
	40	0.5					40
	50	0.67					50
	65	0.88					65
	80	0.2					80
	100	0.16					100
	125						125
	150						150
	200						200
	250						250
	300						300
	350						350
	小 計			0.00			
硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管	13						13
	20						20
	25						25
	30						30
	40						40
	50						50
	65						65
	75						75
	100						100
	125						125
	150						150
	200						200
	小 計						

屋 外 配 管							
	口 径 mm	設 計 数 量 m	配 管 工		普 通 作 業 員		口 径 (mm)
			歩 掛 (人/m)	人 員 (人)	歩 掛 (人/m)	人 員 (人)	
鋼 管 ・ 小 配 管 (V L P ・ S U S 含 む)	15						15
	20						20
	25						25
	32						32
	40						40
	50						50
	65						65
	80						80
	100						100
	125						125
	150						150
	200						200
	250						250
	300						300
	350						350
	小 計						
硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管	13						13
	20						20
	25						25
	30						30
	40						40
	50						50
	65						65
	75						75
	100						100
	125						125
	150						150
	200						200
	小 計						

合 計	配 管 工	0.00	0.00 人
	普 通 作 業 員		人

少数点以下1桁とし、次の位切捨てとする。
計算過程においては、少数点以下2桁までとし、次の位切捨てとす

小 配 管 材 料 ・ 据 付 集 計 表 (/)

(設備名)

管 種 口 径	スケルトンNo. 付属材料率														実 数 量	設計数量	付属材料
		1	2	3	4	5	7								計	×1.1有効3桁	×付属材料率
SUS304TP 20A (Sch20s)	材 料	1.25	0.24												0.24	0.26	0.3
	据 付	屋 内	0.24												0.24	0.26	
		屋 外															
SUS304TP 32A (Sch20s)	材 料	1.25		0.228											0.2	0.25	0.31
																0.25	0.31
	据 付	屋 内		0.228											0.2	0.25	
		屋 外															
SUS304TP 40A (Sch20s)	材 料	1.25			0.456										0.456	0.5	0.6
																0.5	0.6
	据 付	屋 内			0.456										0.456	0.5	
		屋 外															
SUS304TP 50A (Sch20s)	材 料	1.25				0.608									0.608	0.67	0.84
																0.67	0.84
	据 付	屋 内				0.608									0.608	0.67	
		屋 外															
SUS304TP 65A (Sch20s)	材 料	1.25					0.76	0.036							0.796	0.88	1.1
																0.88	1.1
	据 付	屋 内					0.76	0.036							0.796	0.88	
		屋 外															

設計数量は、少数点以下切捨、有効3桁次の位四捨五入、付属材料は、有効3桁次の位四捨五入。

小 配 管 材 料 ・ 据 付 集 計 表 (/)

(設備名)

管 種 口 径	スケルトンNo. 付属材料率														実 数 量	設計数量	付属材料
		6	8												計	×1.1有効3桁	×付属材料率
SUS304TP 80A (Sch20s)	材	1.25	0.204												0.204	0.2	0.25
	据付	屋 内	0.204												0.204	0.2	
		屋 外															
SUS304TP 100A (Sch20s)	材	1.25		0.144											0.144	0.16	0.2
	据付	屋 内		0.144											0.144	0.2	
		屋 外															
	材																
	据付	屋 内															
		屋 外															
	材																
	据付	屋 内															
		屋 外															
	材																
	据付	屋 内															
		屋 外															

設計数量は、少数点以下切捨、有効3桁次の位四捨五入、付属材料は、有効3桁次の位四捨五入。

小配管弁類材料数量計算書 (/)

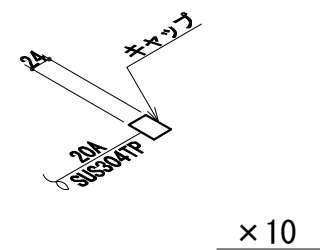
(設備名)

[illegible]

小配管弁類材料数量計算書 (/)

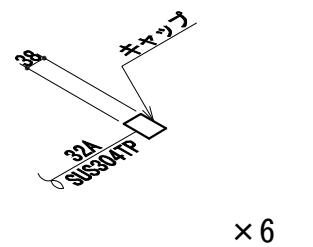
(設備名)

[illegible]



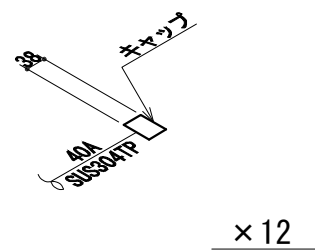
屋内

20A キャップ
スケルトン No. 1



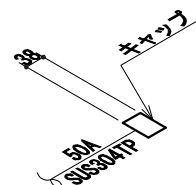
屋内

32A キャップ
スケルトン No. 2



屋内

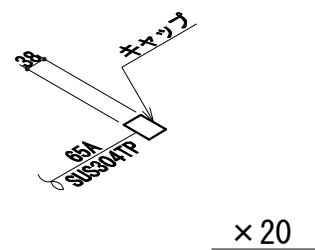
40A キャップ
スケルトン No. 3



× 16

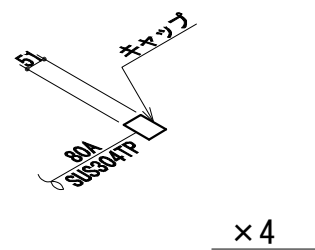
屋内

50A キャップ
スケルトン No. 4



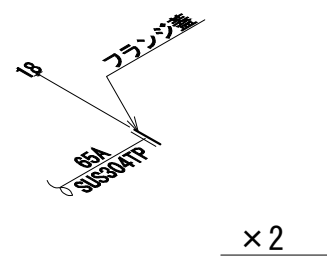
屋内

65A キャップ
スケルトン No. 5



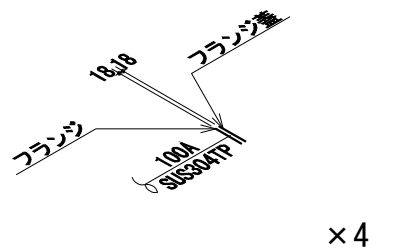
屋内

80A キャップ
スケルトン No. 6



屋内

65A フランジ蓋
スケルトン No. 7



屋内

100A フランジ・フランジ蓋
スケルトン No. 8

目 次
電気撤去

1. 人工集計表-----	1-1
---------------	-----

[撤去工事]

2. 据付工集計表-----	2-1-1
3. 材料集計表-----	3-1
4. 材料内訳表-----	4-1-1
5. 拾い出し根拠表-----	5-1-1

材 料 数 量 (※) 印は工量無 [電気撤去]

(*) 印は工量無 [電気撤去]

[電気撤去]

(1)	一般勞務費	電 工 (据付)	人

電 工 (据付) 人

[illegible]

[illegible]

人工集計表

[電気撤去]

[illegible]

電気設備(撤去) (1/ 1)

(撤 去)据 付 工 集 計 表

[電気撤去]

機 器 名 称	形 状	単位	数量	技術者		電 工		技術者単体調整				歩 掛 ページ	機器重量(t)		備 考
				単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量		単位重量	重量	
動力制御盤 1	W800*H2300*D600	面	1											0.4	動力制御盤 1 W800*H2300*D600
動力制御盤 2	W800*H2300*D600	面	1											0.4	動力制御盤 1 W800*H2300*D600
動力制御盤 3	W800*H2300*D600	面	1											0.4	動力制御盤 1 W800*H2300*D600
計装盤 1	W800*H2300*D600	面	1											0.4	計装盤1 W800*H2300*D600
計装盤 2	W800*H2300*D600	面	1											0.4	計装盤1 W800*H2300*D600
汚水流入流量計	電磁流量計 200φ 発信器＋変換器	台	1											0.07	電磁流量計 200φ 発信器＋変換器
流量調整槽水位計	投込式水位計	組	1											0.025	計装設備 検出端等 発信器類
汚泥界面計	汚泥界面計	組	2										0.15	0.3	計装設備 検出端等 発信器類
回分槽水位計	投込式水位計	組	2										0.025	0.05	計装設備 検出端等 発信器類
D O計	D O計 (流通形)	台	2										0.02	0.04	計装設備 検出端等 発信器類
非常通報装置	非常通報装置	個	1												
メカセラ装置制御盤	屋内壁掛形 W500*H600*D300	面	1											0.030	現場操作盤6 壁掛形 W500*H600
上澄水排出装置現場盤	屋内ｽｸﾗﾝﾄﾞ形 W500*H600*D300	面	1											0.055	現場操作盤6 ｽｸﾗﾝﾄﾞ形 W500*H600
計 (S-101)				#	---								2.570		

#印は再使用しない撤去なので技術者を電 工に読み替える

[電気撤去]

電工量小計=

(電気設備(撤去))

(撤 去) 材 料 内 訳 表

NO	配線区間 自 至		600V CV				600V CV				600V CV				CVV				CVV			
			3.5 sq				2 sq				2 sq				2 sq				2 sq			
			4 c				4 c				3 c				10 c				7 c			
			P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP
R 1001	汚水処理制御	M1					1.3		3.0													
R 1002	汚水処理制御	M2					1.3		3.4													
R 1003	汚水処理制御	M3					4.6	1.7	5.5													
R 1004	汚水処理制御	M4					4.6	1.7	5.5													
R 1005	汚水処理制御	M5	4.6	1.7	5.5																	
R 1006	汚水処理制御	M6	4.6	9.1	3.7																	
R 1007	汚水処理制御	M7					4.6	3.6	7.3													
R 1008	汚水処理制御	M8					4.6	3.6	7.3													
R 1009	汚水処理制御	M9	4.6	12.3	4.9																	
R 1010	汚水処理制御	M10	4.6	13.9	4.9																	
R 1011	汚水処理制御	M11					4.6	12.3	7.3													
R 1013	汚水処理制御	M11													4.6	12.3	7.3					
R 1014	汚水処理制御	M12					4.6	13.9	7.1													
R 1016	汚水処理制御	M12													4.6	13.9	7.1					
R 1017	汚水処理制御	M13					4.6	15.1	4.1													
R 1018	汚水処理制御	M14					4.6	13.9	6.9													
R 1019	汚水処理制御	M15					27.4	15.1	7.6													
R 1020	汚水処理制御	M16	2.5	4.7	9.0																	
R 1021	汚水処理制御	M17	2.5	4.7	8.0																	
R 1022	汚水処理制御	M18	2.5	4.7	8.9																	
R 1023	汚水処理制御	M19					4.6	19.5	7.7													
R 1024	汚水処理制御	M20					4.6	19.5	7.7													
R 1025	汚水処理制御	M21	1.5	5.6	7.8																	
R 1026	汚水処理制御	M22					2.3	4.0	7.0													
R 1027	汚水処理制御	M23					2.3	4.0	5.3													
R 1028	汚水処理制御	M24					4.6	2.6	3.2													
R 1029	汚水処理制御	M25					2.3	2.9	1.4													
R 1030	汚水処理制御	M26					2.3	5.6	2.6													
R 1031	汚水処理制御	M27					4.6	3.4	4.2													
R 1032	汚水処理制御	M28					4.6	5.3	0.6													
R 1033	汚水処理制御	M29					4.6	7.7	0.6													
R 1034	汚水処理制御	M30					4.6	10.3	0.6													
R 1035	汚水処理制御	M31					4.6	13.8	0.6													
R 1036	汚水処理制御	M32					4.6	16.0	0.6													
R 1037	汚水処理制御	MV1																	4.6	10.6	6.2	
R 1038	汚水処理制御	MV2																	4.6	10.6	6.9	
R 1039	汚水処理制御	MV3																	2.3	4.0	4.8	
R 1040	汚水処理制御	MV4																	2.3	4.0	6.1	
R 1041	汚水処理制御	MV5																	2.3	4.0	7.0	
R 1042	汚水処理制御	MV6																	2.3	4.0	5.5	
(1/2) 続<																						

(撤 去) 材 料 内 訳 表 (続 き 1)

4-1-2

電気設備(撤去)

(撤 去) 材 料 内 訳 表

NO	配線区間 自 至		CVV				CVV				CVV-S				VE				VE			
			2 sq				2 sq				2 sq				22 mm				16 mm			
			4 c				3 c				2 c											
			P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	露出	埋込			露出	埋込		
R 1003	污水处理制御	M3																	2.8			
R 1004	污水处理制御	M4																	2.8			
R 1005	污水处理制御	M5																	2.8			
R 1006	污水处理制御	M6																	2.8			
R 1007	污水处理制御	M7																	2.8			
R 1008	污水处理制御	M8																	2.8			
R 1009	污水处理制御	M9																	2.8			
R 1010	污水处理制御	M10																	2.8			
R 1011	污水处理制御	M11																	2.8			
R 1012	污水处理制御	M11	4.6	12.3	7.3														2.8			
R 1013	污水处理制御	M11																	2.8			
R 1014	污水处理制御	M12																	2.8			
R 1015	污水处理制御	M12	4.6	13.9	7.1														2.8			
R 1016	污水处理制御	M12																	2.8			
R 1017	污水处理制御	M13																	2.8			
R 1018	污水处理制御	M14																	2.8			
R 1019	污水处理制御	M15																	4.8			
R 1020	污水处理制御	M16																	4.0			
R 1021	污水处理制御	M17																	4.0			
R 1022	污水处理制御	M18																	4.0			
R 1023	污水处理制御	M19																	6.0			
R 1024	污水处理制御	M20																	6.0			
R 1025	污水处理制御	M21																	4.0			
R 1026	污水处理制御	M22																	4.0			
R 1027	污水处理制御	M23																	4.0			
R 1029	污水处理制御	M25																	1.0			
R 1030	污水处理制御	M26																	2.6			
R 1031	污水处理制御	M27																	4.2			
R 1032	污水处理制御	M28																	0.6			
R 1033	污水处理制御	M29																	0.6			
R 1034	污水处理制御	M30																	0.6			
R 1035	污水处理制御	M31																	0.6			
R 1036	污水处理制御	M32																	0.6			
R 1037	污水处理制御	MV1																	2.8			
R 1038	污水处理制御	MV2																	2.8			
R 1039	污水处理制御	MV3																	4.0			
R 1040	污水处理制御	MV4																	4.0			
R 1041	污水处理制御	MV5																	4.0			
R 1042	污水处理制御	MV6																	4.0			
R 1043	污水处理制御	MV7																	4.8			
(2/2) 続<																						

(撤 去)材 料 内 訳 表 (続 き 1)

4-1-4

(撤 去) 材 料 内 訳 表

4-1-5

電気設備(撤去) (1/ 13)

拾い出し根拠表

[電気撤去]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
R 1001	汚水処理制御盤	M1 自動粗目スクリーン	600V CV 2 sq - 4 c	P&D	1.3	0.2 + 1.1
				RACK		
				CP	3.0	0.3 + 2.5 + 0.2
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
R 1002	汚水処理制御盤	M2 破砕機	600V CV 2 sq - 4 c	P&D	1.3	0.2 + 1.1
				RACK		
				CP	3.4	2.7 + 0.6 + 0.1
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
R 1003	汚水処理制御盤	M3 NO.1流量調整ポンプ	600V CV 2 sq - 4 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	1.7	1.3 + 0.4
				CP	5.5	(2.8)+ 0.2 + 1.4 + 1.1
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	2.8	(2.8)
				埋込		
R 1004	汚水処理制御盤	M4 NO.2流量調整ポンプ	600V CV 2 sq - 4 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	1.7	1.3 + 0.4
				CP	5.5	(2.8)+ 0.2 + 1.4 + 1.1
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	2.8	(2.8)
				埋込		
R 1005	汚水処理制御盤	M5 No.1水中攪拌ポンプ	600V CV 3.5 sq - 4 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	1.7	1.3 + 0.4
				CP	5.5	(2.8)+ 0.2 + 1.4 + 1.1
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	2.8	(2.8)
				埋込		

電気設備(撤去) (2/ 13)

拾い出し根拠表

[電気撤去]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
R 1006	汚水処理制御盤	M6 No. 2水中攪拌ポンプ	600V CV 3.5 sq - 4 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	9.1	2.9 + 1.1 + 1.3 + 2.4 + 0.9 + 0.5
				CP	3.7	(2.8)+ 0.2 + 0.7
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	2.8	(2.8)
				埋込		
R 1007	汚水処理制御盤	M7 No. 1自動微細目スクリーン	600V CV 2 sq - 4 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	3.6	2.9 + 0.2 + 0.3 + 0.2
				CP	7.3	(2.8)+ 1.1 + 1.9 + 1.5
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	2.8	(2.8)
				埋込		
R 1008	汚水処理制御盤	M8 No. 2自動微細目スクリーン	600V CV 2 sq - 4 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	3.6	2.9 + 0.2 + 0.3 + 0.2
				CP	7.3	(2.8)+ 1.1 + 1.9 + 1.5
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	2.8	(2.8)
				埋込		
R 1009	汚水処理制御盤	M9 No. 1ばっ気攪拌装置	600V CV 3.5 sq - 4 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	12.3	2.9 + 1.1 + 1.3 + 2.4 + 0.9 + 0.9 + 1.0 + 0.6 + 0.6 + 0.4 + 0.2
				CP	4.9	(2.8)+ 1.4 + 0.3 + 0.4
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	2.8	(2.8)
				埋込		
R 1010	汚水処理制御盤	M10 No. 2ばっ気攪拌装置	600V CV 3.5 sq - 4 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	13.9	2.0 + 3.9 + 7.5 + 0.1 + 0.4
				CP	4.9	(2.8)+ 1.4 + 0.3 + 0.4
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	2.8	(2.8)
				埋込		

電気設備(撤去) (3/ 13)

拾い出し根拠表

[電気撤去]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
R 1011	污水处理制御盤	M11 No.1上澄排出装置	600V CV 2 sq - 4 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	12.3	2.9 + 1.1 + 1.3 + 2.4 + 0.9 + 0.9 + 1.0 + 0.6 + 0.6 + 0.4 + 0.2
				CP	7.3	(2.8)+ 3.7 + 0.8
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	2.8	(2.8)
				埋込		
R 1012	污水处理制御盤	M11 No.1上澄排出装置	CVV 2 sq - 4 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	12.3	2.9 + 1.1 + 1.3 + 2.4 + 0.9 + 0.9 + 1.0 + 0.6 + 0.6 + 0.4 + 0.2
				CP	7.3	(2.8)+ 3.7 + 0.8
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	2.8	(2.8)
				埋込		
R 1013	污水处理制御盤	M11 No.1上澄排出装置	CVV 2 sq - 10 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	12.3	2.9 + 1.1 + 1.3 + 2.4 + 0.9 + 0.9 + 1.0 + 0.6 + 0.6 + 0.4 + 0.2
				CP	7.3	(2.8)+ 3.7 + 0.8
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	2.8	(2.8)
				埋込		
R 1014	污水处理制御盤	M12 No.2上澄排出装置	600V CV 2 sq - 4 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	13.9	2.0 + 3.9 + 7.5 + 0.1 + 0.4
				CP	7.1	(2.8)+ 3.6 + 0.7
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	2.8	(2.8)
				埋込		
R 1015	污水处理制御盤	M12 No.2上澄排出装置	CVV 2 sq - 4 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	13.9	2.0 + 3.9 + 7.5 + 0.1 + 0.4
				CP	7.1	(2.8)+ 3.6 + 0.7
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	2.8	(2.8)
				埋込		

電気設備(撤去) (4/ 13)

拾い出し根拠表

[電気撤去]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
R 1016	污水处理制御盤	M12 No. 2上澄排出装置	CVV 2 sq - 10 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	13.9	2.0 + 3.9 + 7.5 + 0.1 + 0.4
				CP	7.1	(2.8)+ 3.6 + 0.7
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	2.8	(2.8)
				埋込		
R 1017	污水处理制御盤	M13 No. 1汚泥引抜ポンプ	600V CV 2 sq - 4 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	15.1	2.9 + 1.1 + 1.3 + 2.4 + 0.9 + 0.9 + 1.0 + 0.6 + 0.6 + 0.4 + 0.2 + 2.8
				CP	4.1	(2.8)+ 0.7 + 0.6
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	2.8	(2.8)
				埋込		
R 1018	污水处理制御盤	M14 No. 2汚泥引抜ポンプ	600V CV 2 sq - 4 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	13.9	2.0 + 3.9 + 7.5 + 0.1 + 0.4
				CP	6.9	(2.8)+ 2.6 + 0.8 + 0.7
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	2.8	(2.8)
				埋込		
R 1019	污水处理制御盤	M15 散水ポンプ	600V CV 2 sq - 4 c	P&D	27.4	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2 + 2.9 + 1.1 + 1.3 + 2.4 + 0.9 + 0.9 + 1.0 + 0.6 + 0.6 + 0.8 + 0.3 + 0.7 + 1.0 + 0.2 + 0.5 + (2.8)+ 1.6 + 1.1 + (2.0)+ 0.1
				RACK	15.1	2.9 + 1.1 + 1.3 + 2.4 + 0.9 + 0.8 + 1.0 + 0.6 + 0.6 + 0.8 + 0.3 + 0.7 + 1.0 + 0.2 + 0.5
				CP	7.6	(2.8)+ 1.6 + 1.1 + (2.0)+ 0.1
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	4.8	(2.8)+ (2.0)
				埋込		
R 1020	污水处理制御盤	M16 No. 1回分槽プロワ	600V CV 3.5 sq - 4 c	P&D	2.5	0.4 + 1.1 + (1.0)
				RACK	4.7	0.1 + 1.3 + 1.5 + 0.5 + 0.1 + 0.8 + 0.4
				CP	9.0	(4.0)+ 0.7 + 2.8 + 1.2 + 0.2 + 0.1
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	4.0	(4.0)
				埋込		

電気設備(撤去) (5/ 13)

拾い出し根拠表

[電気撤去]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
R 1021	污水处理制御盤	M17 No.2回分槽ブ ロワ	600V CV 3.5 sq - 4 c	P&D	2.5	0.4 + 1.1 + (1.0)
				RACK	4.7	0.1 + 1.3 + 1.5 + 0.5 + 0.1 + 0.8 + 0.4
				CP	8.0	(4.0)+ 0.7 + 3.1 + 0.1 + 0.1
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	4.0	(4.0)
				埋込		
R 1022	污水处理制御盤	M18 No.3回分槽ブ ロワ	600V CV 3.5 sq - 4 c	P&D	2.5	0.4 + 1.1 + (1.0)
				RACK	4.7	0.1 + 1.3 + 1.5 + 0.5 + 0.1 + 0.8 + 0.4
				CP	8.9	(4.0)+ 0.7 + 3.1 + 1.0 + 0.1
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	4.0	(4.0)
				埋込		
R 1023	污水处理制御盤	M19 No.1放流ポン プ	600V CV 2 sq - 4 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	19.5	2.0 + 3.9 + 7.5 + 1.0 + 0.3 + 0.3 + 1.9 + 2.5 + 0.1
				CP	7.7	(4.8)+ 1.0 + 0.2 + 1.2 + 0.5
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	6.0	(4.8)+ 0.2 + 1.0
				埋込		
R 1024	污水处理制御盤	M20 No.2放流ポン プ	600V CV 2 sq - 4 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	19.5	2.0 + 3.9 + 7.5 + 1.0 + 0.3 + 0.3 + 1.9 + 2.5 + 0.1
				CP	7.7	(4.8)+ 1.0 + 0.2 + 1.2 + 0.5
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	6.0	(4.8)+ 0.2 + 1.0
				埋込		
R 1025	污水处理制御盤	M21 汚泥貯留槽ブ ロワ	600V CV 3.5 sq - 4 c	P&D	1.5	0.4 + 1.1
				RACK	5.6	(1.0)+ 0.1 + 1.3 + 1.5 + 0.5 + 0.8 + 0.4
				CP	7.8	(4.0)+ 0.7 + 1.9 + 1.2
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	4.0	(4.0)
				埋込		

電気設備(撤去) (6/ 13)

拾い出し根拠表

[電気撤去]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
R 1026	污水处理制御盤	ばっ気沈砂槽 ブロワ	600V CV 2 sq - 4 c	P&D	2.3	0.2 + 1.1 + (1.0)
				RACK	4.0	0.1 + 3.4 + 0.2 + 0.3
				CP	7.0	(4.0)+ 2.6 + 0.3 + 0.1
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	4.0	(4.0)
				埋込		
R 1027	污水处理制御盤	エアリフト用 ブロワ	600V CV 2 sq - 4 c	P&D	2.3	0.2 + 1.1 + (1.0)
				RACK	4.0	0.1 + 3.4 + 0.2 + 0.3
				CP	5.3	(4.0)+ 1.0 + 0.2 + 0.1
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	4.0	(4.0)
				埋込		
R 1028	污水处理制御盤	流入室排気フ ァン	600V CV 2 sq - 4 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	2.6	2.0 + 0.4 + 0.2
				CP	3.2	(2.8)+ 0.4
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出		
				埋込		
R 1029	污水处理制御盤	ブロワ室排気 ファン	600V CV 2 sq - 4 c	P&D	2.3	0.2 + 1.1 + (1.0)
				RACK	2.9	0.1 + 1.3 + 1.5
				CP	1.4	(1.0)+ 0.4
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	1.0	(1.0)
				埋込		
R 1030	污水处理制御盤	ブロワ室給気 ファン	600V CV 2 sq - 4 c	P&D	2.3	0.2 + 1.1 + (1.0)
				RACK	5.6	0.1 + 1.3 + 1.5 + 0.5 + 1.8 + 0.3 + 0.1
				CP	2.6	2.4 + 0.2
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	2.6	2.4 + 0.2
				埋込		

電気設備(撤去) (7/ 13)

拾い出し根拠表

[電気撤去]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
R 1031	污水处理制御盤	脱臭装置	600V CV 2 sq - 4 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	3.4	2.9 + 0.2 + 0.3
				CP	4.2	(2.8)+ 1.4
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	4.2	(2.8)+ 1.4
				埋込		
R 1032	污水处理制御盤	No.1処理室換気扇	600V CV 2 sq - 4 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	5.3	2.9 + 1.1 + 1.3
				CP	0.6	0.2 + 0.4
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	0.6	0.2 + 0.4
				埋込		
R 1033	污水处理制御盤	No.2処理室換気扇	600V CV 2 sq - 4 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	7.7	2.9 + 1.1 + 1.3 + 2.4
				CP	0.6	0.2 + 0.4
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	0.6	0.2 + 0.4
				埋込		
R 1034	污水处理制御盤	No.3処理室換気扇	600V CV 2 sq - 4 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	10.3	2.9 + 1.1 + 1.3 + 2.4 + 0.8 + 0.8 + 1.0
				CP	0.6	0.2 + 0.4
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	0.6	0.2 + 0.4
				埋込		
R 1035	污水处理制御盤	No.4処理室換気扇	600V CV 2 sq - 4 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	13.8	2.9 + 1.1 + 1.3 + 2.4 + 0.9 + 0.9 + 1.0 + 0.6 + 0.6 + 0.8 + 0.3 + 0.3 + 0.7
				CP	0.6	0.2 + 0.4
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	0.6	0.2 + 0.4
				埋込		

電気設備(撤去) (8/ 13)

拾い出し根拠表

[電気撤去]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
R 1036	污水处理制御盤	M32 No.5処理室換気扇	600V CV 2 sq - 4 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	16.0	2.9 + 1.1 + 1.3 + 2.4 + 0.9 + 0.9 + 1.0 + 0.6 + 0.6 + 0.8 + 0.3 + 0.3 + 0.7 + 1.0 + 1.2
				CP	0.6	0.2 + 0.4
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	0.6	0.2 + 0.4
				埋込		
R 1037	污水处理制御盤	MV1 No.1污水切替弁	CVV 2 sq - 7 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	10.6	2.9 + 1.3 + 2.4 + 0.9 + 0.9 + 1.0 + 0.6 + 0.4 + 0.2
				CP	6.2	(2.8)+ 2.2 + 1.2
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	2.8	(2.8)
				埋込		
R 1038	污水处理制御盤	MV2 No.2污水切替弁	CVV 2 sq - 7 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	10.6	2.9 + 1.3 + 2.4 + 0.9 + 0.9 + 1.0 + 0.6 + 0.4 + 0.2
				CP	6.9	(2.8)+ 2.8 + 1.3
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	2.8	(2.8)
				埋込		
R 1039	污水处理制御盤	MV3 No.1回分槽ばっ気電動弁	CVV 2 sq - 7 c	P&D	2.3	0.2 + 1.1 + (1.0)
				RACK	4.0	0.1 + 3.4 + 0.2 + 0.3
				CP	4.8	(4.0)+ 0.3 + 0.5
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	4.0	(4.0)
				埋込		
R 1040	污水处理制御盤	MV4 No.2回分槽ばっ気電動弁	CVV 2 sq - 7 c	P&D	2.3	0.2 + 1.1 + (1.0)
				RACK	4.0	0.1 + 3.4 + 0.2 + 0.3
				CP	6.1	(4.0)+ 0.3 + 1.5 + 0.3
				FEP		
			VE 16 mm	CP		
				露出	4.0	(4.0)
				埋込		

電気設備(撤去) (9/ 13)

拾い出し根拠表

[電気撤去]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
R 1041	污水处理制御盤	MV5 沈砂排出ポンプ電動弁	CVV 2 sq - 7 c	P&D	2.3	0.2 + 1.1 + (1.0)
				RACK	4.0	0.1 + 3.4 + 0.2 + 0.3
				CP	7.0	(4.0)+ 1.7 + 1.3
				FEP		
				CP		
			VE 16 mm	露出	4.0	(4.0)
R 1042	污水处理制御盤	MV6 濃縮汚泥引抜ポンプ電動弁	CVV 2 sq - 7 c	P&D	2.3	0.2 + 1.1 + (1.0)
				RACK	4.0	0.1 + 3.4 + 0.2 + 0.3
				CP	5.5	(4.0)+ 0.3 + 1.2
				FEP		
				CP		
			VE 16 mm	露出	4.0	(4.0)
R 1043	污水处理制御盤	MV7 No. 1回分槽散水電動弁	CVV 2 sq - 7 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	15.5	2.9 + 1.1 + 1.3 + 2.4 + 0.9 + 0.9 + 1.0 + 0.6 + 0.6 + 0.8 + 0.3 + 0.3 + 0.7 + 1.0 + 0.2 + 0.5
				CP	9.8	(2.8)+ 1.6 + 1.5 + 1.0 + (2.0)+ 0.1 + 0.6 + 0.2
				FEP		
				CP		
			VE 16 mm	露出	4.8	(2.8)+ (2.0)
R 1044	污水处理制御盤	MV8 No. 2回分槽散水電動弁	CVV 2 sq - 7 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	15.5	2.9 + 1.1 + 1.3 + 2.4 + 0.9 + 0.9 + 1.0 + 0.6 + 0.6 + 0.8 + 0.3 + 0.3 + 0.7 + 1.0 + 0.2 + 0.5
				CP	10.3	(2.8)+ 1.6 + 1.5 + 1.0 + (2.0)+ 0.1 + 0.6 + 0.5 + 0.2
				FEP		
				CP		
			VE 16 mm	露出	4.8	(2.8)+ (2.0)
R 1045	污水处理制御盤	MV9 脱離液電動弁	CVV 2 sq - 7 c	P&D	4.6	0.2 + 1.1 + 1.1 + 2.2
				RACK	1.9	1.3 + 0.4 + 0.2
				CP	6.0	(2.8)+ 2.9 + 0.2 + 0.1
				FEP		
				CP		
			VE 16 mm	露出		
	埋込					

電気設備(撤去) (10/ 13)

拾い出し根拠表

[電気撤去]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
R 2001	計器盤	FIQR 流入電磁流量計	CVV-S 2 sq - 2 c	P&D	3.5	0.2 + 1.1 + 2.2
				RACK	4.2	2.9 + 1.1 + 0.2
				CP	5.6	0.9 + 0.5 + 4.2
				FEP		
			VE 22 mm	CP		
				露出		
				埋込		
R 2002	計器盤	LIC1 流量調整槽水位計	CVV-S 2 sq - 2 c	P&D	3.5	0.2 + 1.1 + 2.2
				RACK	10.3	2.9 + 1.1 + 1.3 + 2.4 + 0.9 + 0.9 + 0.2 + 0.5 + 0.1
				CP	2.8	(2.8)
				FEP		
				CP		
			VE 22 mm	露出	2.8	(2.8)
				埋込		
R 2003	計器盤	LIC1 流量調整槽水位計	600V CV 2 sq - 3 c x 3	P&D	3.5	0.2 + 1.1 + 2.2
				RACK	10.3	2.9 + 1.1 + 1.3 + 2.4 + 0.9 + 0.9 + 0.2 + 0.5 + 0.1
				CP	2.8	(2.8)
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
R 2004	計器盤	LIC2 No. 1回分槽水位計	CVV-S 2 sq - 2 c	P&D	3.5	0.2 + 1.1 + 2.2
				RACK	13.5	2.9 + 1.1 + 1.3 + 2.4 + 0.9 + 0.9 + 1.0 + 0.6 + 0.8 + 0.8 + 0.2 + 0.5 + 0.1
				CP	2.8	(2.8)
				FEP		
				CP		
			VE 22 mm	露出	2.8	(2.8)
				埋込		
R 2005	計器盤	LIC2 No. 1回分槽水位計	600V CV 2 sq - 3 c	P&D	3.5	0.2 + 1.1 + 2.2
				RACK	13.5	2.9 + 1.1 + 1.3 + 2.4 + 0.9 + 0.9 + 1.0 + 0.6 + 0.8 + 0.8 + 0.2 + 0.5 + 0.1
				CP	2.8	(2.8)
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		

電気設備(撤去) (11/ 13)

拾い出し根拠表

[電気撤去]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
R 2006	計器盤	LIC3	CVV-S 2 sq - 2 c	P&D	3.5	0.2 + 1.1 + 2.2
		No. 2回分槽水位計		RACK	15.1	2.0 + 3.9 + 7.5 + 1.0 + 0.1 + 0.5 + 0.1
				CP	2.8	(2.8)
				FEP		
				CP		
			VE 22 mm	露出	2.8	(2.8)
				埋込		
R 2007	計器盤	LIC3	600V CV 2 sq - 3 c	P&D	3.5	0.2 + 1.1 + 2.2
		No. 2回分槽水位計		RACK	15.1	2.0 + 3.9 + 7.5 + 1.0 + 0.1 + 0.5 + 0.1
				CP	2.8	(2.8)
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
R 2008	計器盤	D01	CVV-S 2 sq - 2 c	P&D	3.5	0.2 + 1.1 + 2.2
		No. 1回分槽D0計		RACK	13.6	2.9 + 1.1 + 1.3 + 2.4 + 0.9 + 0.9 + 1.0 + 0.6 + 0.6 + 0.8 + 0.3 + 0.2 + 0.5 + 0.1
				CP	2.8	(2.8)
				FEP		
				CP		
			VE 22 mm	露出	2.8	(2.8)
				埋込		
R 2009	計器盤	D01	600V CV 2 sq - 3 c	P&D	3.5	0.2 + 1.1 + 2.2
		No. 1回分槽D0計		RACK	13.6	2.9 + 1.1 + 1.3 + 2.4 + 0.9 + 0.9 + 1.0 + 0.6 + 0.6 + 0.8 + 0.3 + 0.2 + 0.5 + 0.1
				CP	2.8	(2.8)
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
R 2010	計器盤	D02	CVV-S 2 sq - 2 c	P&D	3.5	0.2 + 1.1 + 2.2
		No. 2回分槽D0計		RACK	15.4	2.0 + 3.9 + 7.5 + 1.0 + 0.3 + 0.1 + 0.5 + 0.1
				CP	2.8	(2.8)
				FEP		
				CP		
			VE 22 mm	露出	2.8	(2.8)
				埋込		

電気設備(撤去) (12/ 13)

拾い出し根拠表

[電気撤去]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
R 2011	計器盤	D02 No. 2回分槽D0計	600V CV 2 sq - 3 c	P&D	3.5	0.2 + 1.1 + 2.2
				RACK	15.4	2.0 + 3.9 + 7.5 + 1.0 + 0.3 + 0.1 + 0.5 + 0.1
				CP	2.8	(2.8)
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
R 2012	計器盤	SL11 No. 1回分槽汚泥界面計	600V CV 2 sq - 3 c	P&D	3.5	0.2 + 1.1 + 2.2
				RACK	13.9	2.9 + 1.1 + 1.3 + 2.4 + 0.9 + 0.9 + 1.0 + 0.6 + 0.6 + 0.8 + 0.3 + 0.3 + 0.2 + 0.5 + 0.1
				CP	2.8	(2.8)
				FEP		
			VE 22 mm	CP		
				露出	2.8	(2.8)
				埋込		
R 2013	計器盤	SL11 No. 1回分槽汚泥界面計	CVV 2 sq - 3 c	P&D	3.5	0.2 + 1.1 + 2.2
				RACK	13.9	2.9 + 1.1 + 1.3 + 2.4 + 0.9 + 0.9 + 1.0 + 0.6 + 0.6 + 0.8 + 0.3 + 0.3 + 0.2 + 0.5 + 0.1
				CP	2.8	(2.8)
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
R 2014	計器盤	SL11 No. 1回分槽汚泥界面計	CVV-S 2 sq - 2 c	P&D	3.5	0.2 + 1.1 + 2.2
				RACK	13.9	2.9 + 1.1 + 1.3 + 2.4 + 0.9 + 0.9 + 1.0 + 0.6 + 0.6 + 0.8 + 0.3 + 0.3 + 0.2 + 0.5 + 0.1
				CP	2.8	(2.8)
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
R 2015	計器盤	SL12 No. 2回分槽汚泥界面計	600V CV 2 sq - 3 c	P&D	3.5	0.2 + 1.1 + 2.2
				RACK	15.7	2.0 + 3.9 + 7.5 + 1.0 + 0.3 + 0.3 + 0.1 + 0.5 + 0.1
				CP	2.8	(2.8)
				FEP		
			VE 22 mm	CP		
				露出	2.8	(2.8)
				埋込		

電気設備(撤去) (13/ 13)

拾い出し根拠表

[電気撤去]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
R 2016	計器盤	SL12 No. 2回分槽汚 泥界面計	CVV 2 sq - 3 c	P&D	3.5	0.2 + 1.1 + 2.2
				RACK	15.7	2.0 + 3.9 + 7.5 + 1.0 + 0.3 + 0.3 + 0.1 + 0.5 + 0.1
				CP	2.8	(2.8)
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
R 2017	計器盤	SL12 No. 2回分槽汚 泥界面計	CVV-S 2 sq - 2 c	P&D	3.5	0.2 + 1.1 + 2.2
				RACK	15.7	2.0 + 3.9 + 7.5 + 1.0 + 0.3 + 0.3 + 0.1 + 0.5 + 0.1
				CP	2.8	(2.8)
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		

電気設備(撤去) (1/ 1)

設備材料一覽表

[電気撤去]

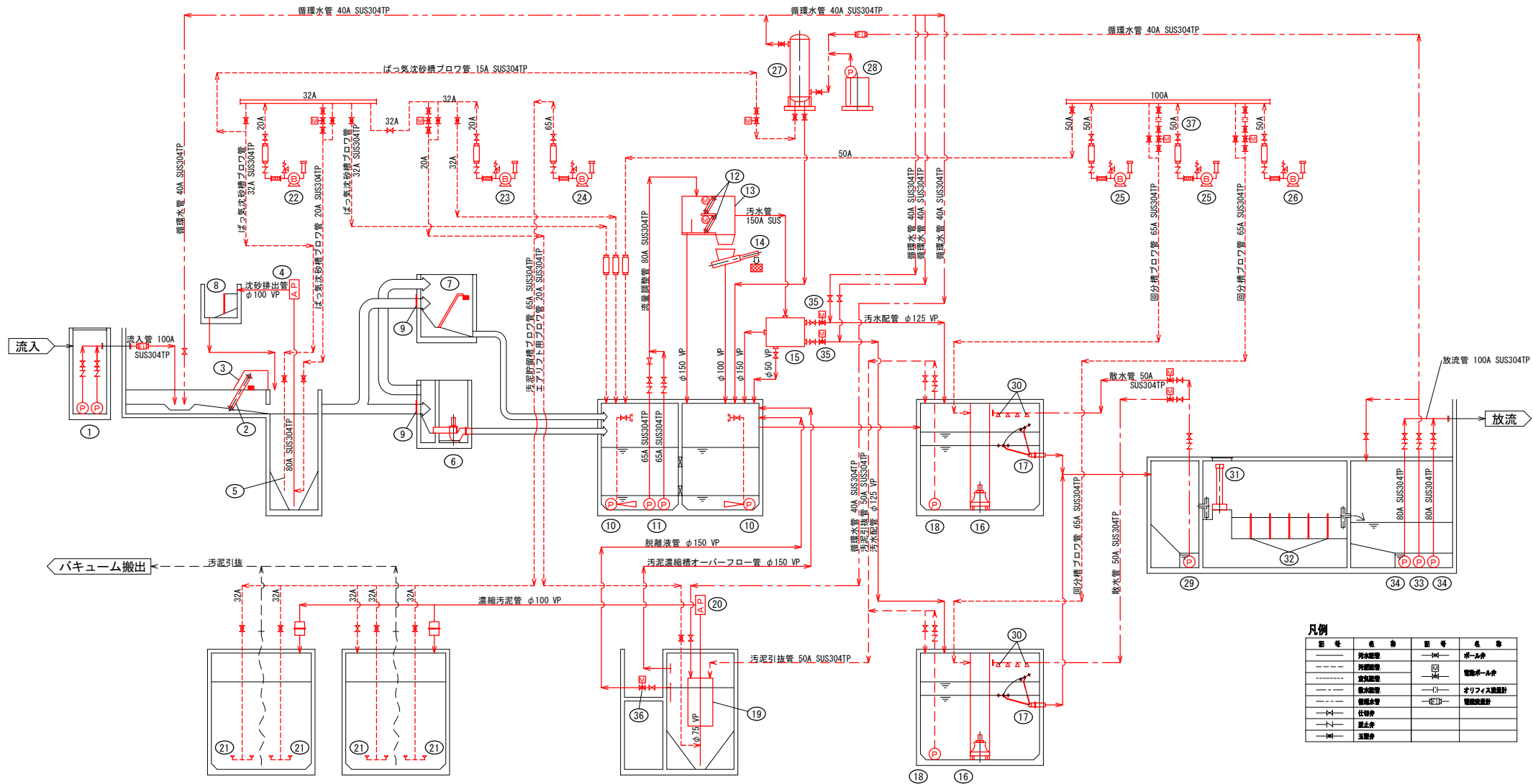
[illegible]

廃材処理材重量計算書

種 別			数量(m)	ケーブル類(導体)		ケーブル類(被覆)		管 類		機 器 類		全廃材重量
				銅質量(kg/km)	銅量(kg)	被覆質量(kg/km)	被覆量(kg)	鋼材(g/m)	鋼材(kg)	鋼材(kg/m)	鋼材(kg)	
600V CVケーブル	3.5sq	4C	150	125.44	18.816	124.56	18.684					
	2sq	4C	462	71.68	33.116	108.32	50.044					
	2sq	3C	192	53.76	10.322	96.24	18.478					
CVVケーブル	2	10C	54	179.20	9.677	205.80	1.991					
	2	7C	181	125.44	22.705	149.56	3.396					
	2	4C	54	71.68	3.871	108.32	0.419					
	2	3C	46	53.76	2.473	96.24	0.238					
CVV-S	2	2C	170	35.84	6.093	114.16	0.696					
電線管類	VE	22mm	21					216.000	4.536			
	VE	16mm	140					180.000	25.200			
機器重量												
動力制御盤1										400	320	
動力制御盤2										400	320	
動力制御盤3										400	320	
計装盤1										400	320	
計装盤2										400	320	
メカセラ装置制御盤										40	32	
上澄水排出装置現場盤										40	32	
汚水流入流量計										10		
流量調整槽水位計										10		
汚泥界面計										10		
回分槽水位計										10		
DO計										10		
非常通報装置										5		
銅くず1号												
銅くず2号												
計					107.072		93.946		29.736		1664	
合 計					107		94		30	471	1664	2366.000
							(ケーブル被覆物)		(廃プラ)	盤の20%廃材 416kg+計装品	(鋼材解体費) (鉄くずH2)	(輸送重量)

廢材處理材重量計算書

[illegible]



凡例

記号	名称	記号	名称
—	汚水配管	—	ボールド
—	汚泥配管	—	電動ボールド
—	空気配管	—	オリフィス設置計
—	循環水管	—	電線敷設計
—	排水管	—	
—	遮断弁	—	
—	玉留弁	—	

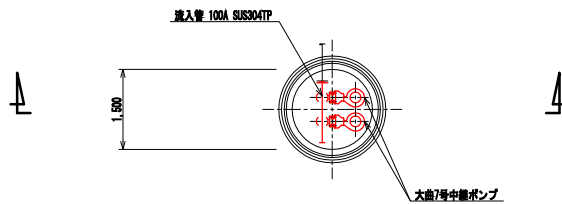
機器番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
機器名称	大倉7号中継ポンプ	自動吸上スクリーン	スクリーンカバー	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ
形式	水中ポンプ(潜置式)	自動吸上式	スクリーンカバー	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ
仕様	80A×0.6m ² /分×10m	自動吸上式	スクリーンカバー	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ
電動機	3.7 kW	0.05 kW	—	100A/40A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
台数/全体/撤去/既設	—/2/2	—/1/1	—/1/1	—/1/1	—/1/1	—/1/1	—/1/1	—/1/1	—/1/1	—/2/2	—/2/2	—/2/2	—/1/1	—/1/1
備考														

機器番号	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
機器名称	汚水ポンプ	ばっ気吹掃ポンプ	上澄りポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ
形式	水中ポンプ(潜置式)	自動吸上式	自動吸上式	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ
仕様	700W×1700L×800H	300W	80A×0.6m ² /分×10m	80A×0.6m ² /分×10m	80A×0.6m ² /分×10m	80A×0.6m ² /分×10m	80A×0.6m ² /分×10m	80A×0.6m ² /分×10m	80A×0.6m ² /分×10m	80A×0.6m ² /分×10m	80A×0.6m ² /分×10m	80A×0.6m ² /分×10m	80A×0.6m ² /分×10m	80A×0.6m ² /分×10m
電動機	—	2.2 kW	0.2 kW	0.2 kW	0.2 kW	0.2 kW	0.2 kW	0.2 kW	0.2 kW	0.2 kW	0.2 kW	0.2 kW	0.2 kW	0.2 kW
台数/全体/撤去/既設	—/1/1	—/2/2	—/2/2	—/2/2	—/2/2	—/2/2	—/2/2	—/2/2	—/2/2	—/2/2	—/2/2	—/2/2	—/2/2	—/2/2
備考														

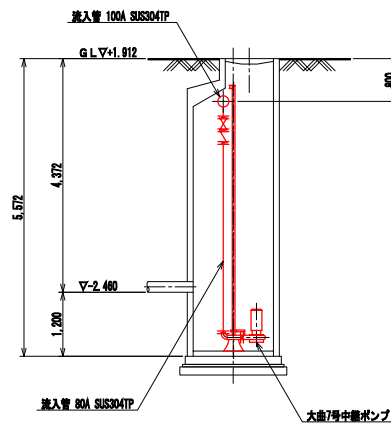
機器番号	29	30	31	32	33	34	35	36	37
機器名称	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ
形式	水中ポンプ(潜置式)	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ	放流ポンプ
仕様	80A×0.6m ² /分×10m	10 L/分	80A×0.6m ² /分×10m	1000 L/分	80A×0.6m ² /分×10m	80A×0.6m ² /分×10m	80A×0.6m ² /分×10m	80A×0.6m ² /分×10m	80A×0.6m ² /分×10m
電動機	1.5 kW	—	—	—	—	—	—	—	—
台数/全体/撤去/既設	—/1/1	—/1/1	—/1/1	—/1/1	—/1/1	—/1/1	—/1/1	—/1/1	—/1/1
備考									

事業名	下水道第3号
工事名	公共下水道管渠調査設計業務委託(大曲地区)
工事場所	名取市大曲地区
図面	撤去フローシート 縮尺 NONE
宮城県名取市建設部下水道課 図番	01/14

※()内の数字は、最小値までの値を示す。



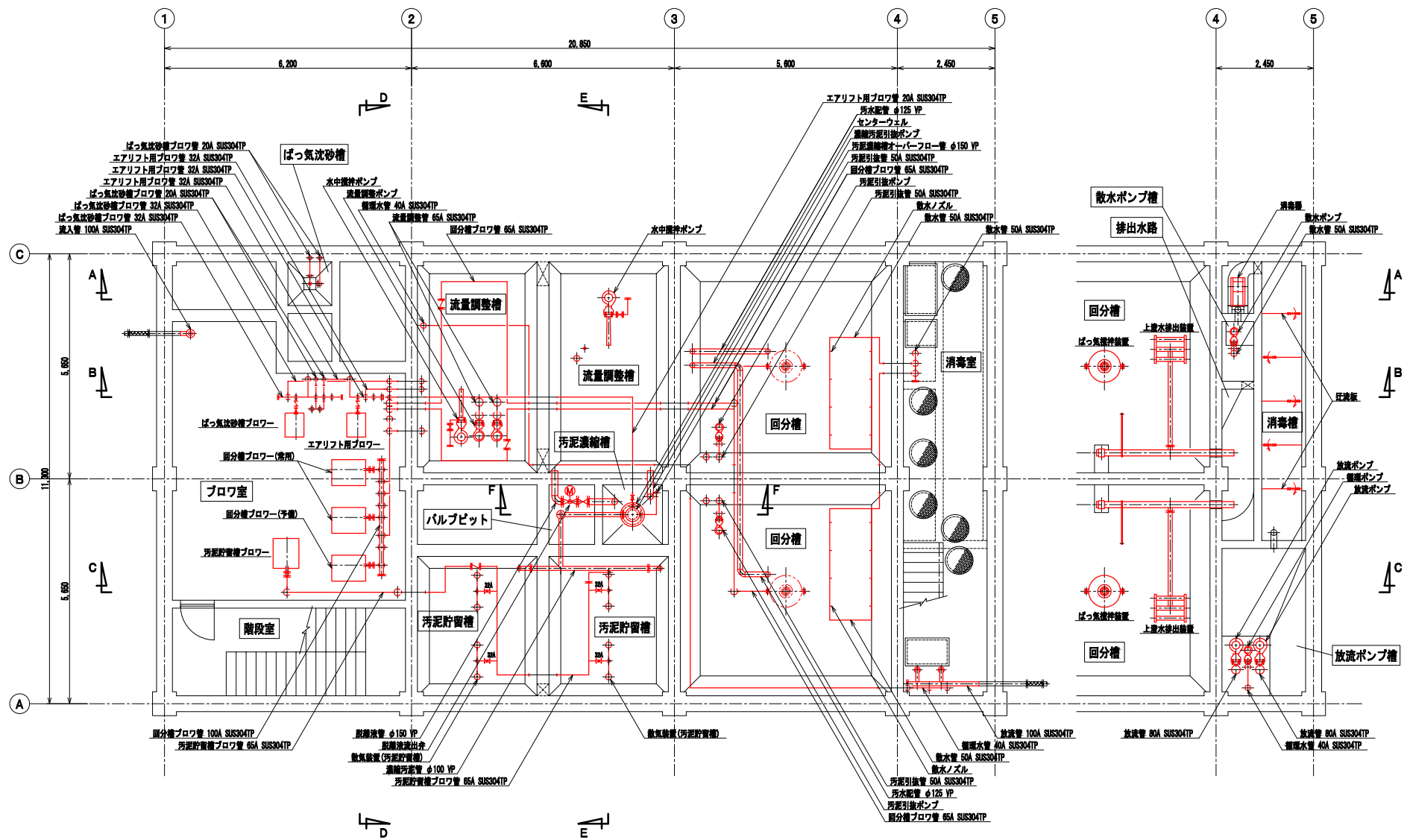
平面図 1/50



断面図 1/50

事業名	下水道第3号 公共下水道整備事業設計業務委託(大曲地区)		
工事名	名取市大曲地区		
工事場所	名取市大曲地区		
図面	中継ポンプ場 撤去平面断面図 (1)	縮尺	A1=1:50 A3=1:100
宮城県名取市建設部下水道課	図番	(02/14)	

※ () 内の図尺は、図小冊上での図尺を表す。

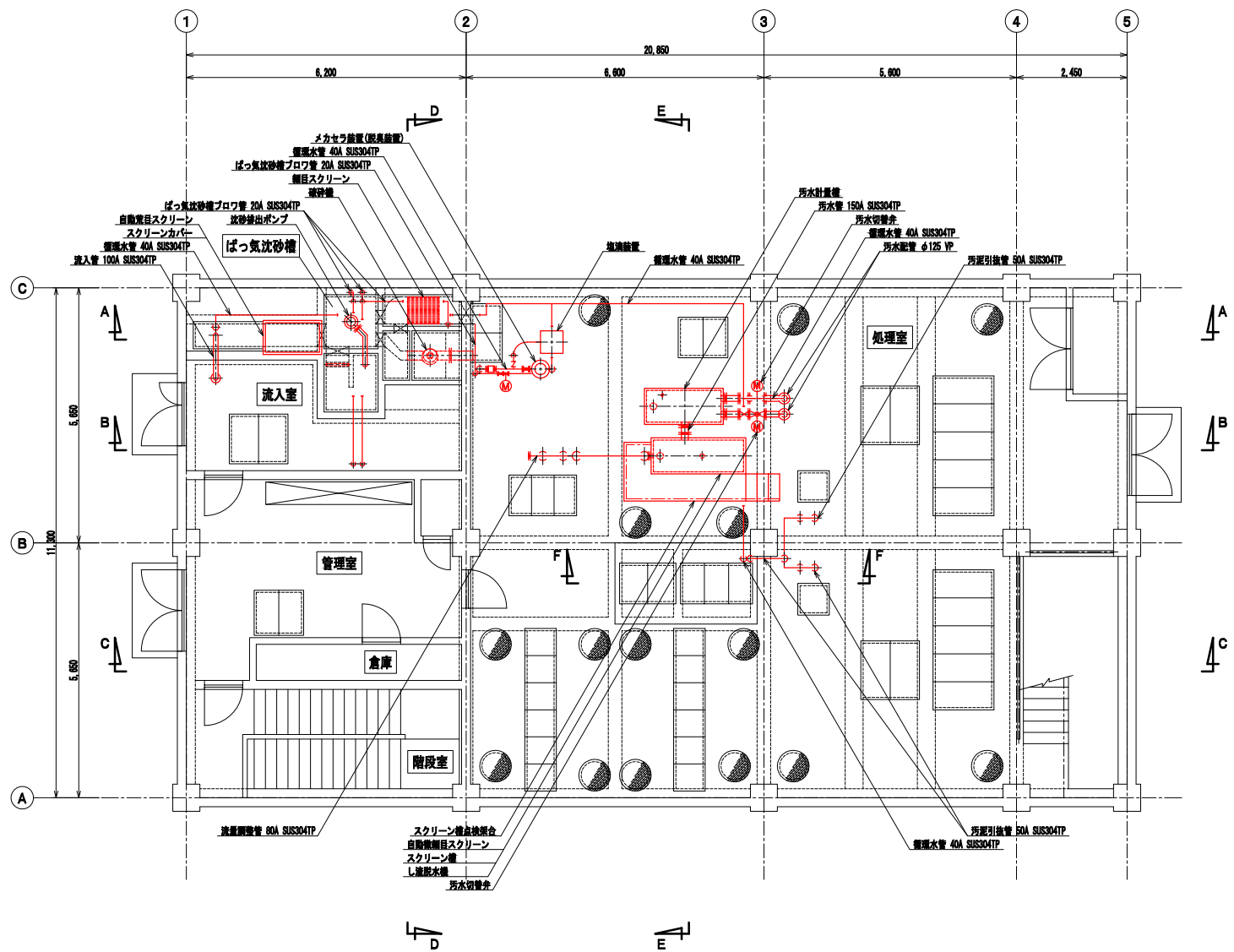


地下1階（上部）平面図 1/50

地下1階（下部）平面図 1/50

事業名	下水道第3号 公共下水道整備事業設計業務委託（大曲地区）		
工事名			
工事場所	名取市大曲地区		
図面	処理場 撤去平面図 (1)	縮尺	A1=1:50 A3=1:100
宮城県名取市建設部下水道課	図番	05/14	

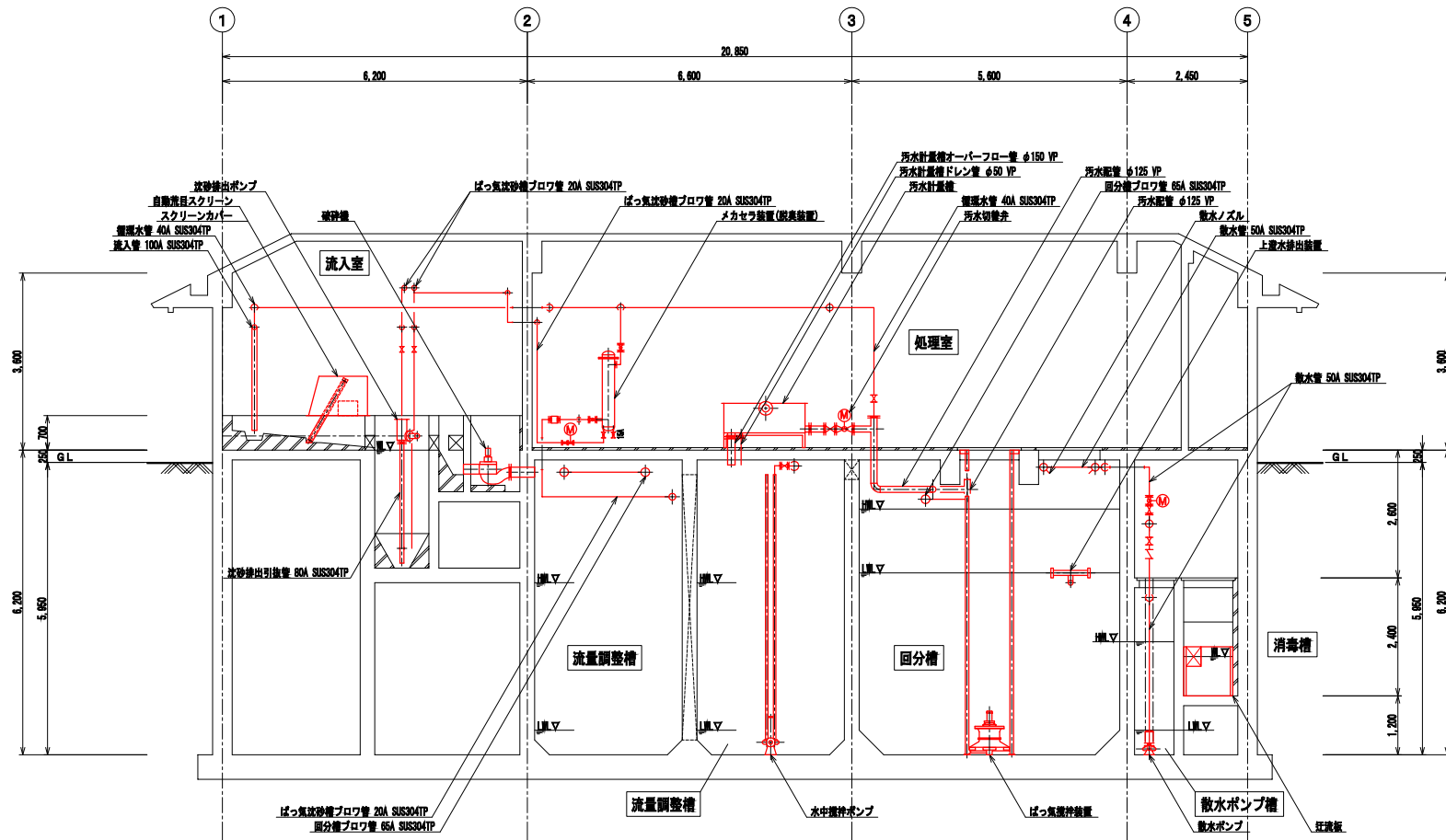
※（ ）内の縮尺は、図小図上での縮尺を表す。



1 階平面図 1/60

事業名	下水道第3号 公共下水道整備事業設計業務委託(大曲地区)		
工事名	名取市大曲地区		
工事場所	名取市大曲地区		
図面	処理場 撤去平面図 (2)	縮尺	A1=1:50 A3=1:100
宮城県名取市建設部下水道課	図番	(04/14)	

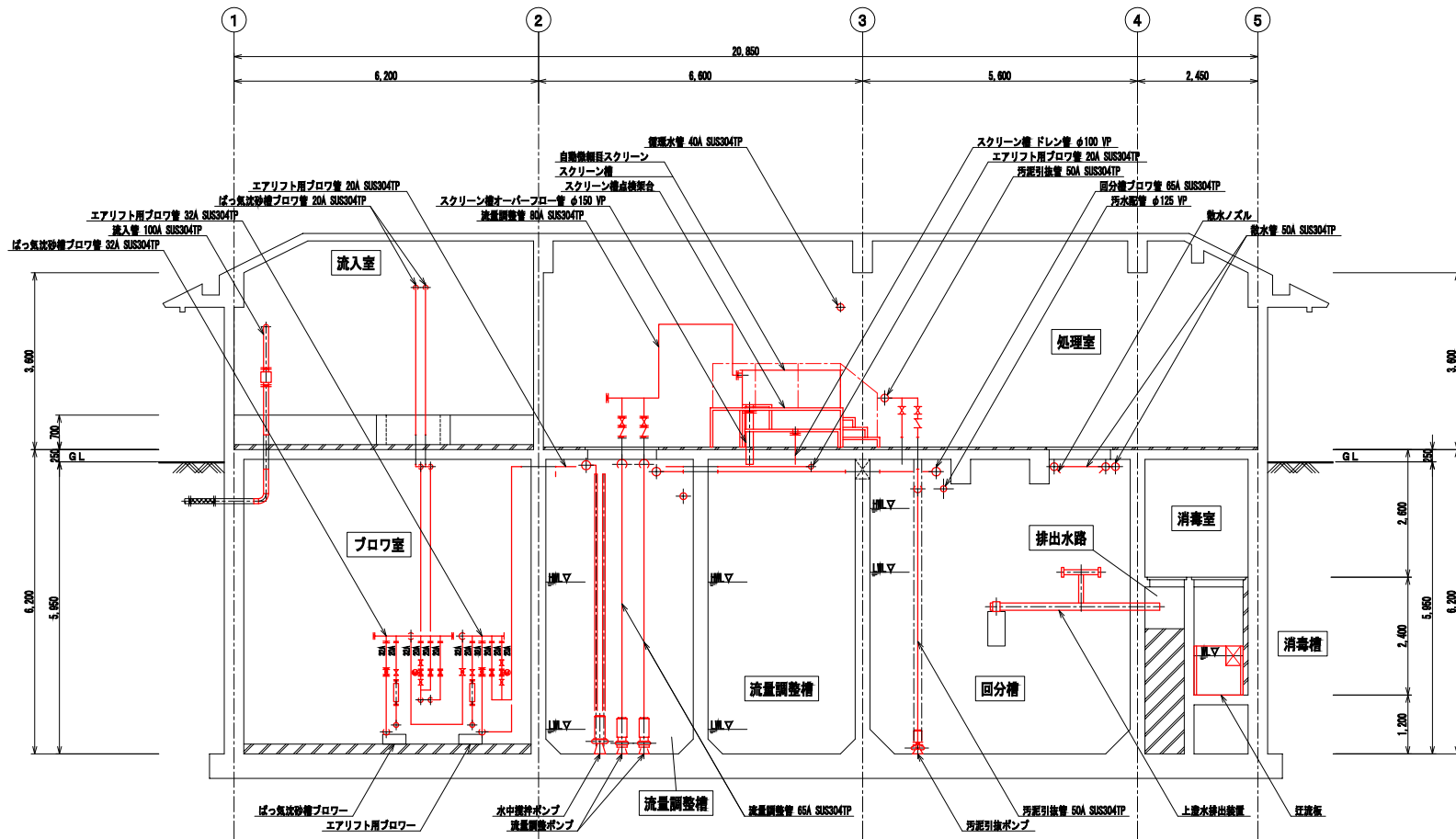
※ () 内の図尺は、図小冊子での図尺を表す。



A-A断面図 1/50

事業名	下水道第3号 公共下水道整備事業設計業務委託(大曲地区)		
工事名			
工事場所	名取市大曲地区		
図面	処理場 撤去断面図 (1)	縮尺	A1=1:50 A3=1:100
宮城県名取市建設部下水道課	図番	05/14	

※ () 内の図尺は、図小図よりの図尺を表す。



B-B断面図 1/50

事業名	下水道第3号 公共下水道整備事業設計業務委託(大曲地区)		
工事名			
工事場所	名取市大曲地区		
図面	処理場 撤去断面図(2)	縮尺	A1=1:50 A3=1:100
宮城県名取市建設部下水道課	図番	(56/14)	

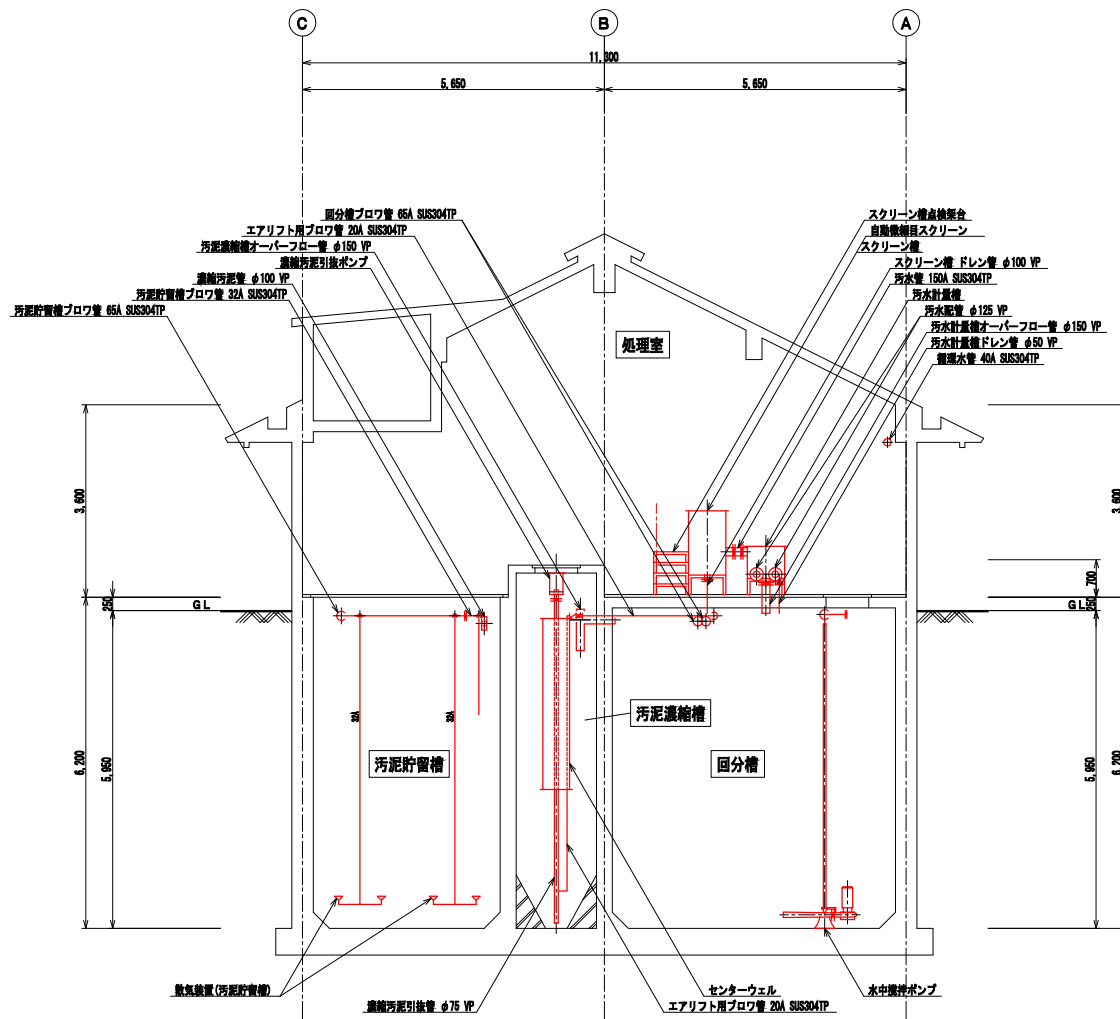
※() 内の図尺は、図小冊子での図尺を要す。



事業名	下流管第3号 公共下水道整備事業設計業務委託(大曲地区)		
工事名			
工事場所	名取市大曲地区		
図面	処理場 撤去断面図(4)	縮尺	A1=1:50 A3=1:100
宮城県名取市建設部下水道課		図番	08 14

※()内の縮尺は、縮小版上での縮尺を表す。

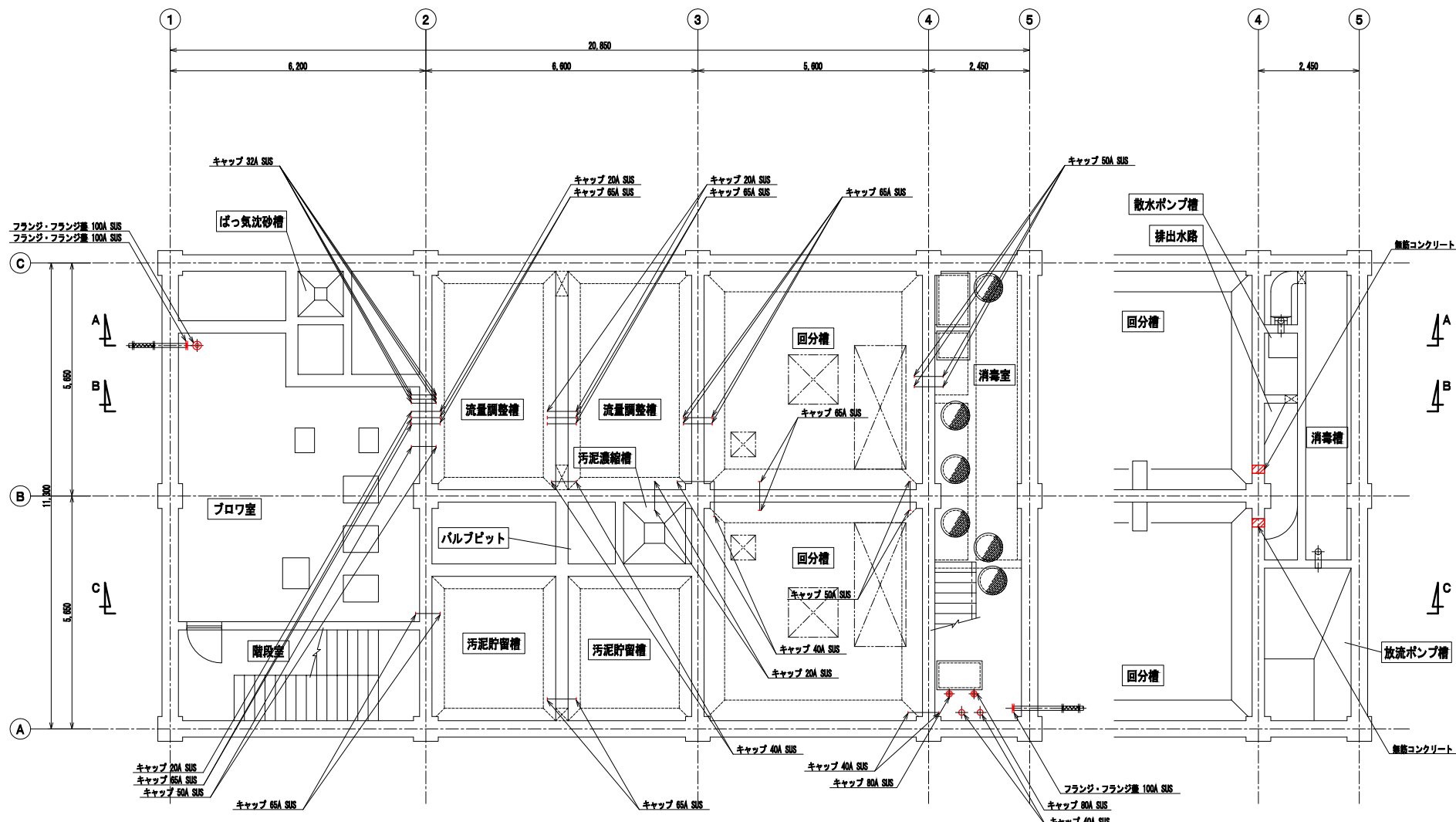
※ () 内の縮尺は、縮小版上での縮尺を表す



E-E断面図 1/80

事業名	下水道第3号 公共下水道整備事業(大曲地区)		
工事名	名取市大曲地区		
工事場所	名取市大曲地区		
図面	処理場 撤去断面図 (S)	縮尺	A1=1:50 A3=1:100
宮城県名取市建設部下水道課	図番	(09) 14	

※ () 内の図番は、図小冊子での図番を表す。

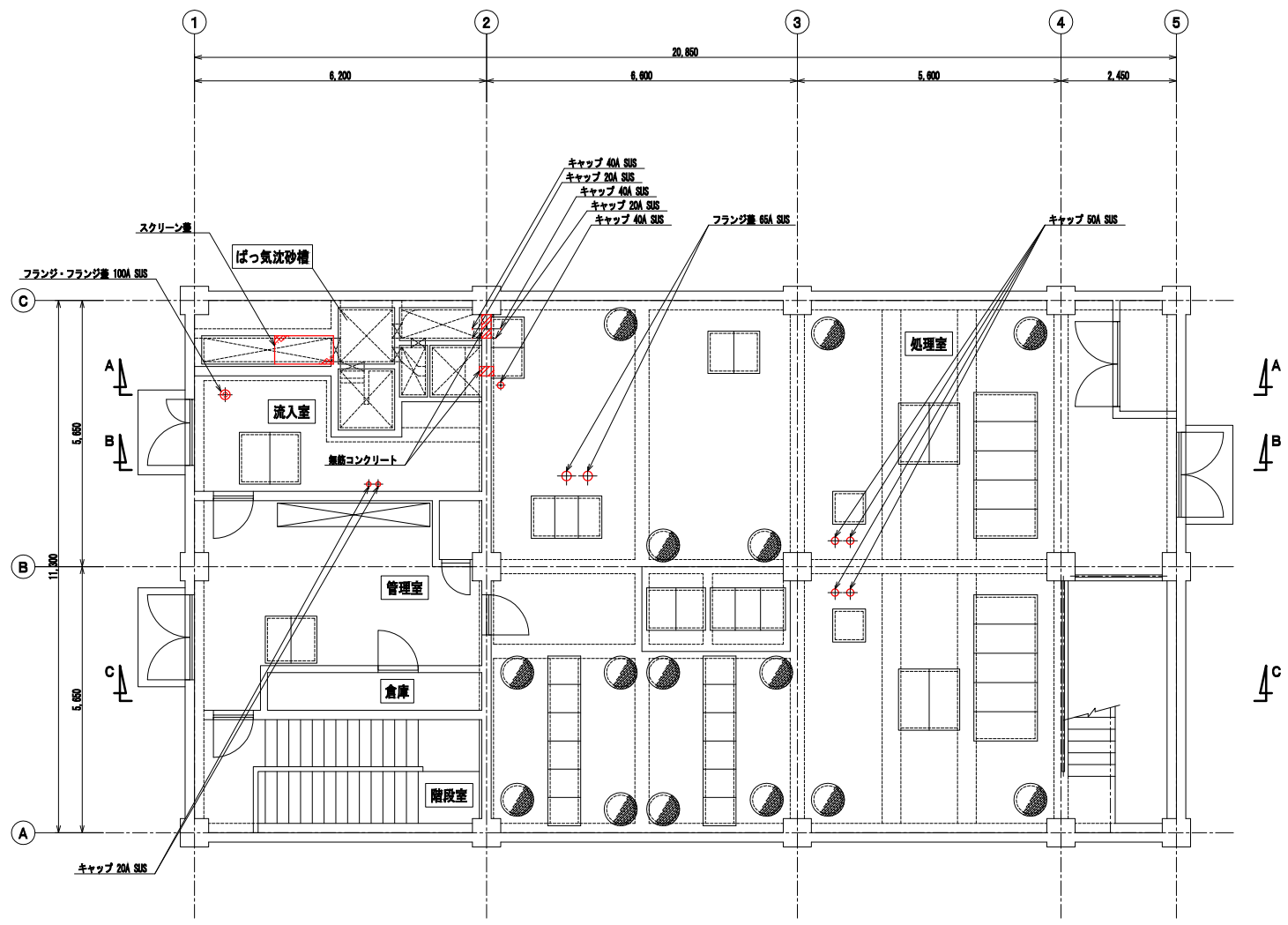


地下1階（上部）平面図 1/50

地下1階（下部）平面図 1/50

事業名	下水道第3号 公共下水道整備事業計画（大曲地区）		
工事名	名取市大曲地区		
工事場所	名取市大曲地区		
図面	処理場 設置平面図 (1)	縮尺	A1=1:50 A3=1:100
宮城県名取市建設部下水道課	図番	(10/14)	

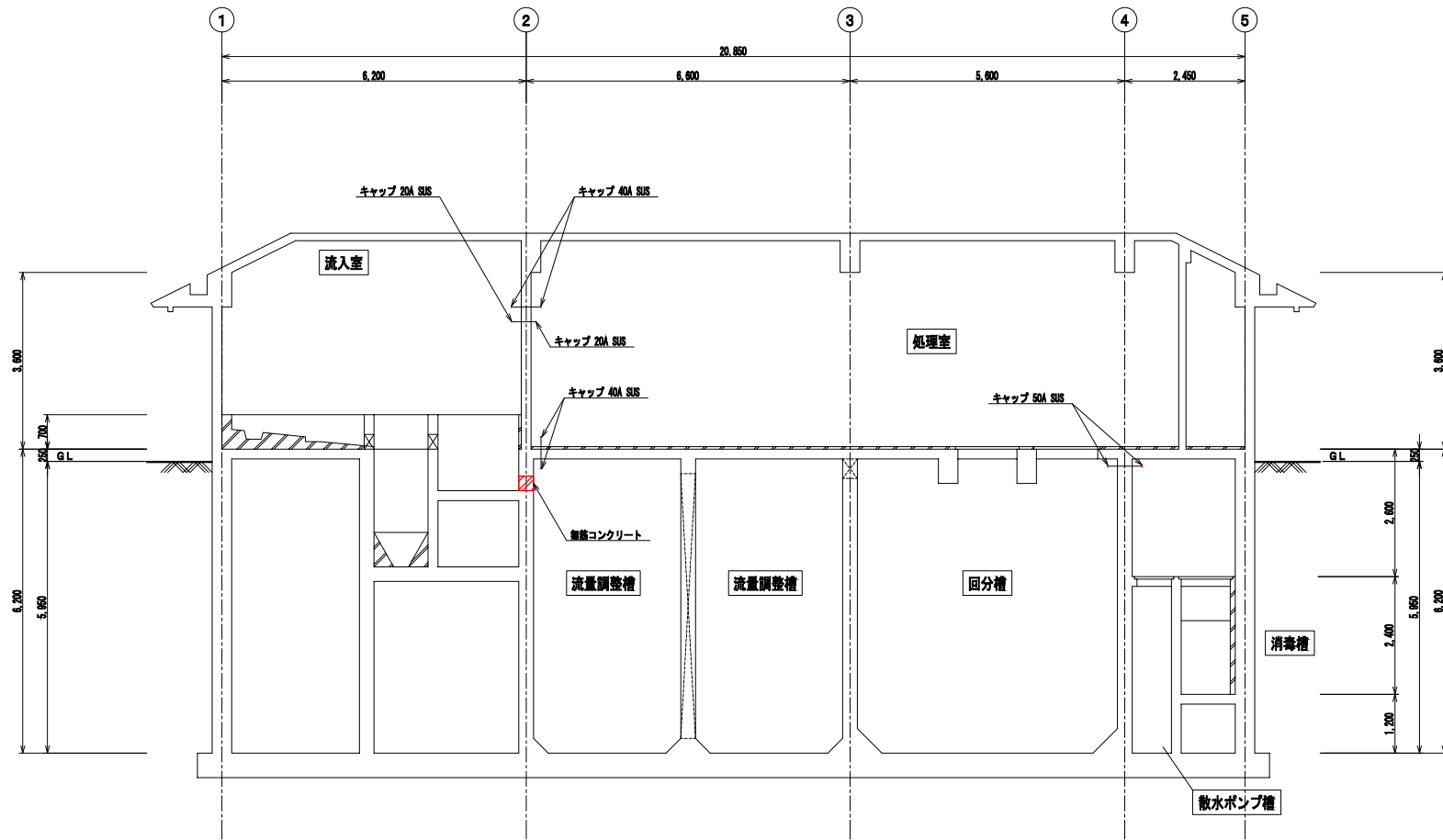
※（ ）内の縮尺は、図小冊子での縮尺を表す。



1 階平面図 1/50

事業名	下水道第3号 公共下水道整備事業計画(大曲地区)		
工事名	名取市大曲地区		
工事場所	名取市大曲地区		
図面	処理場 設置平面図 (2)	縮尺	A1=1:50 A3=1:100
宮城県名取市建設部下水道課	図番	(11/14)	

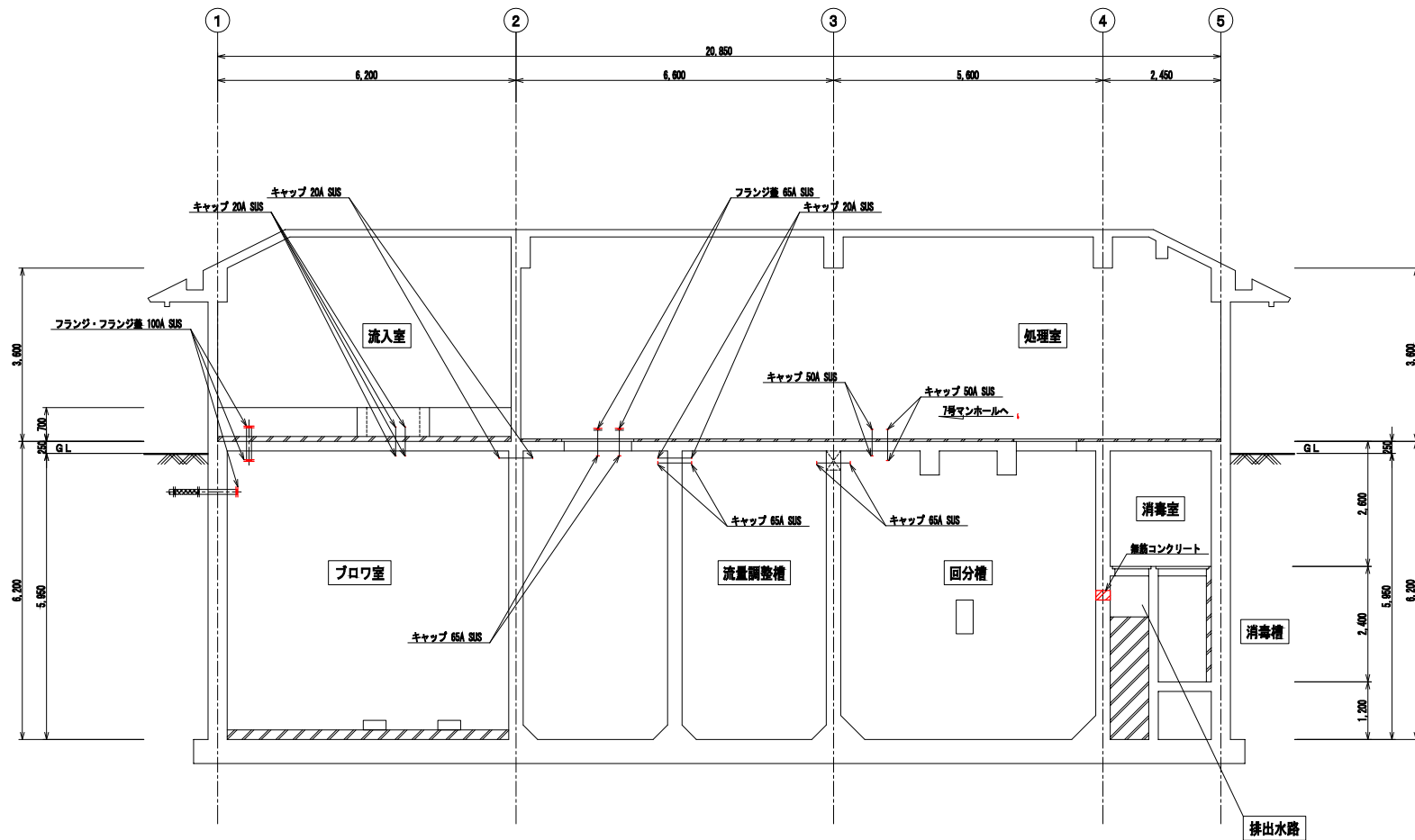
※ () 内の図尺は、図小冊子での図尺を要す。



A-A断面図 1/50

事業名	下水道第3号 公共下水道整備事業計画実施設計(大曲地区)		
工事名	名取市大曲地区		
工事場所	名取市大曲地区		
図面	処理場 設置断面図 (1)	縮尺	A1=1:50 A3=1:100
宮城県名取市建設部下水道課	図番	(12/14)	

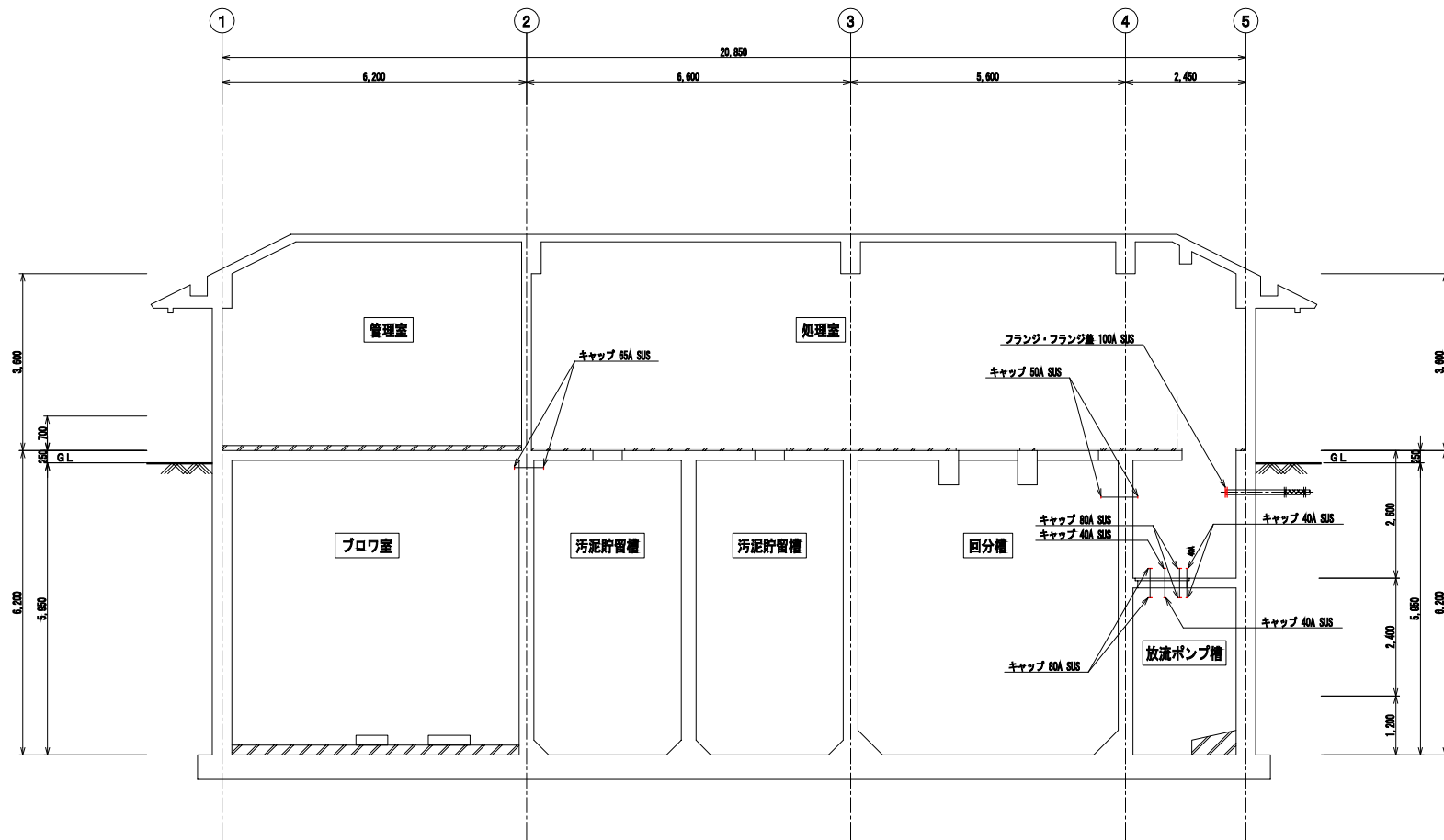
※ () 内の図尺は、図小冊子下の図尺を要す。



B-B断面図 1/50

事業名	下水道第3号 公共下水道整備事業計画(大曲地区)		
工事名	名取市大曲地区		
工事場所	名取市大曲地区		
図面	処理場 設置断面図(2)	縮尺	A1=1:50 A3=1:100
宮城県名取市建設部下水道課	図番	(13) 14	

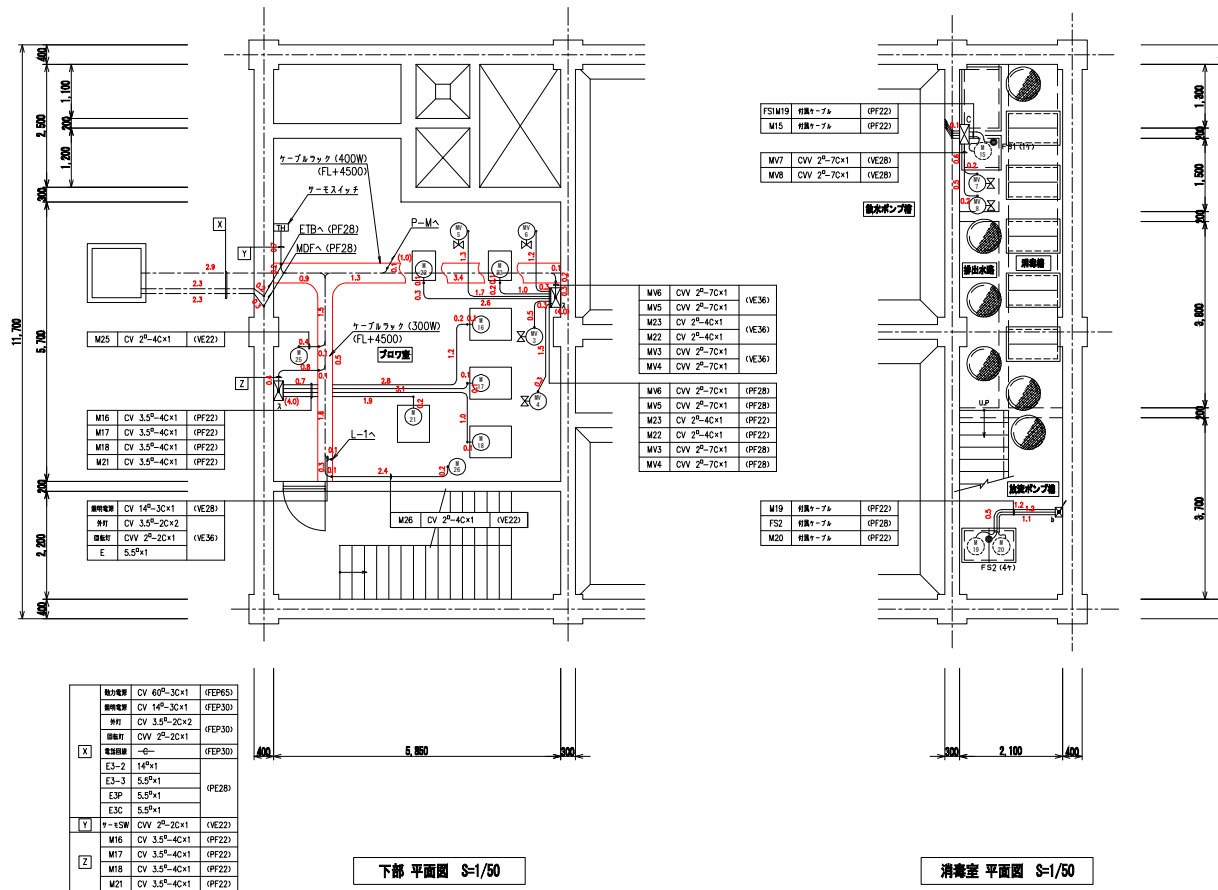
※()内の図尺は、図小冊子での図尺を要す。



C-C断面図 1/50

事業名	下水道第3号 公共下水道整備事業計画(大曲地区)		
工事名			
工事場所	名取市大曲地区		
図面	処理場 設置断面図 (3)	縮尺	A1=1:50 A3=1:100
宮城県名取市建設部下水道課	図番	(14/14)	

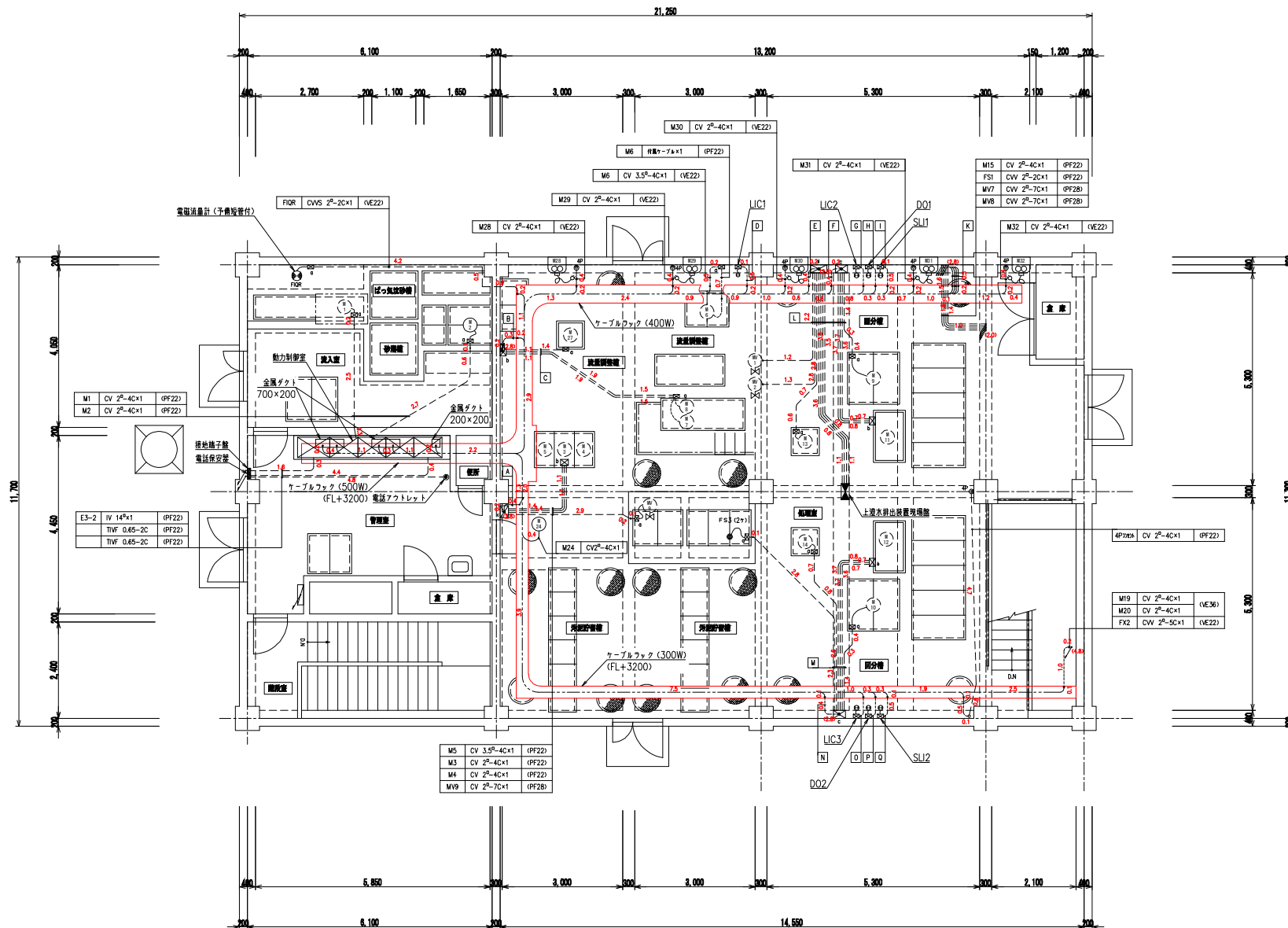
※ () 内の図尺は、図小冊上での図尺を表す。



注 記
 1. 配管配線のスラブ打込部は、CD管、露出部はVE管とする。
 2. ケーブルファンは7Aと製ヒバレータ付とする。
 3. プルボックスの寸法・仕様は下記に示す。
 □ a : 150×150×100 VE (粉末)
 □ b : 200×200×150 VE (粉末)
 □ c : 300×300×200 VE (粉末)
 □ d : 400×400×200 VE (粉末)
 □ s : 400×400×200 ステンレス

記号	名 称	容量(QM)
M-1	自動洗目スクリーン	0.025
M-2	破砕機	0.2
M-3	No.1流量調整ポンプ	1.5
M-4	No.2流量調整ポンプ	1.5
M-5	No.1水中攪拌ポンプ	2.2
M-6	No.2水中攪拌ポンプ	2.2
M-7	No.1自動洗目スクリーン	0.025
M-8	No.2自動洗目スクリーン	0.025
M-9	No.1ばっ気機付装置	2.2
M-10	No.2ばっ気機付装置	2.2
M-11	No.1上澄水排出装置	0.2
M-12	No.2上澄水排出装置	0.2
M-13	No.1汚泥引込ポンプ	0.4
M-14	No.2汚泥引込ポンプ	0.4
M-15	散水ポンプ	1.5
M-16	No.1回分器プロフ	3.7
M-17	No.2回分器プロフ	3.7
M-18	No.3回分器プロフ	3.7
M-19	No.1放流ポンプ	1.5
M-20	No.2放流ポンプ	1.5
M-21	汚泥貯留槽プロフ	3.7
M-22	ばっ気比較用プロフ	0.4
M-23	エアリフト用プロフ	0.4
M-24	流入室排気ファン	0.28
M-25	プロフ室排気ファン	0.28
M-26	プロフ室排気ファン	0.28
M-27	(配管装置)	0.3
M-28	No.1処理室換気扇	0.1
M-29	No.2処理室換気扇	0.1
M-30	No.3処理室換気扇	0.1
M-31	No.4処理室換気扇	0.1
M-32	No.5処理室換気扇	0.1
MV-1	No.1汚水切替弁	—
MV-2	No.2汚水切替弁	—
MV-3	No.1回分器ばっ気電動弁	—
MV-4	No.2回分器ばっ気電動弁	—
MV-5	洗砂機出ポンプ電動弁	—
MV-6	濃縮汚泥引込ポンプ電動弁	—
MV-7	No.1回分器散水電動弁	—
MV-8	No.2回分器散水電動弁	—
MV-9	洗砂機流出弁	—
FIOR	流入電磁流量計	—
LIC1	流量調整槽水位計	—
LIC2	No.1回分器水位計	—
LIC3	No.2回分器水位計	—
DO 1	No.1回分器DO計	—
DO 2	No.2回分器DO計	—
SLJ1	No.1回分器汚泥計	—
SLJ2	No.2回分器汚泥計	—

高尾山排水事業 (大森地区)
 図 名 : 動力配管配管図 (1)
 縮 尺 : S=1:50
 宮城県 名取市



A	M5	CV 3.5 ⁵ -4C×1	(VE36)
	M3	CV 2 ⁵ -4C×1	(VE22)
	M4	CV 2 ⁵ -4C×1	(VE22)
	MV9	CV 2 ⁵ -7C×1	(VE28)
B	M27	CV 2 ⁵ -4C×1	(VE36)
	M7	CV 2 ⁵ -4C×1	(VE22)
	M8	CV 2 ⁵ -4C×1	(VE22)
	M27	CV 2 ⁵ -4C×1	(VE22)
C	M7	CV 2 ⁵ -4C×1	(VE22)
	M8	CV 2 ⁵ -4C×1	(VE22)
	M27	CV 2 ⁵ -4C×1	(VE22)
	M8	CV 2 ⁵ -4C×1	(VE22)
D	LC1	CV 2 ⁵ -3C×1	(VE22)
	M1	CV 2 ⁵ -3C×1	(VE22)
	MV2	CV 2 ⁵ -7C×1	(VE36)
	M13	CV 2 ⁵ -4C×1	(VE22)
E	CV 2 ⁵ -8C×1	(VE36)	
	CV 2 ⁵ -8C×1	(VE36)	
	CV 2 ⁵ -2C×2	(VE36)	
	CV 2 ⁵ -3C×2	(VE36)	
F	CV 2 ⁵ -4C×1	(VE22)	
	CV 2 ⁵ -4C×1	(VE42)	
	CV 2 ⁵ -10C×1	(VE22)	
	M9	CV 3.5 ⁵ -4C×1	(VE22)
G	LC2	CV 2 ⁵ -3C×1	(VE22)
	CV 2 ⁵ -2C×1	(VE22)	
	CV 2 ⁵ -3C×1	(VE22)	
	CV 2 ⁵ -2C×1	(VE22)	
H	DO1	CV 2 ⁵ -3C×1	(VE22)
	CV 2 ⁵ -3C×1	(VE22)	
	CV 2 ⁵ -3C×1	(VE22)	
	CV 2 ⁵ -3C×1	(VE22)	
I	SL1	CV 2 ⁵ -3C×1	(VE22)
	CV 2 ⁵ -3C×1	(VE22)	
	CV 2 ⁵ -3C×1	(VE22)	
	CV 2 ⁵ -3C×1	(VE22)	
J			
K	M15	CV 2 ⁵ -4C×1	(VE22)
	FS1	CV 2 ⁵ -2C×1	(VE22)
	MV7	CV 2 ⁵ -7C×1	(VE28)
	MV8	CV 2 ⁵ -7C×1	(VE28)
L	MV1	CV 2 ⁵ -7C×1	(VE28)
	MV2	CV 2 ⁵ -7C×1	(VE28)
	M13	CV 2 ⁵ -4C×1	(VE22)
	CV 2 ⁵ -8C×1	(VE28)	
M	CV 2 ⁵ -8C×1	(VE28)	
	CV 2 ⁵ -2C×2	(VE28)	
	CV 2 ⁵ -3C×2	(VE28)	
	CV 2 ⁵ -4C×1	(VE22)	
N	M11	CV 2 ⁵ -4C×1	(VE22)
	CV 2 ⁵ -10C×1	(VE28)	
	M9	CV 3.5 ⁵ -4C×1	(VE22)
	FS3	CV 2 ⁵ -3C×1	(VE22)
O	M14	CV 2 ⁵ -4C×1	(VE22)
	CV 2 ⁵ -4C×1	(VE22)	
	CV 2 ⁵ -4C×1	(VE22)	
	CV 2 ⁵ -4C×1	(VE22)	
P	M12	CV 2 ⁵ -4C×1	(VE42)
	CV 2 ⁵ -3C×1	(VE22)	
	CV 2 ⁵ -3C×1	(VE22)	
	CV 2 ⁵ -3C×1	(VE22)	
Q	M10	CV 3.5 ⁵ -4C×1	(VE22)
	LC3	CV 2 ⁵ -2C×1	(VE22)
	DO2	CV 2 ⁵ -3C×1	(VE22)
	CV 2 ⁵ -3C×1	(VE22)	

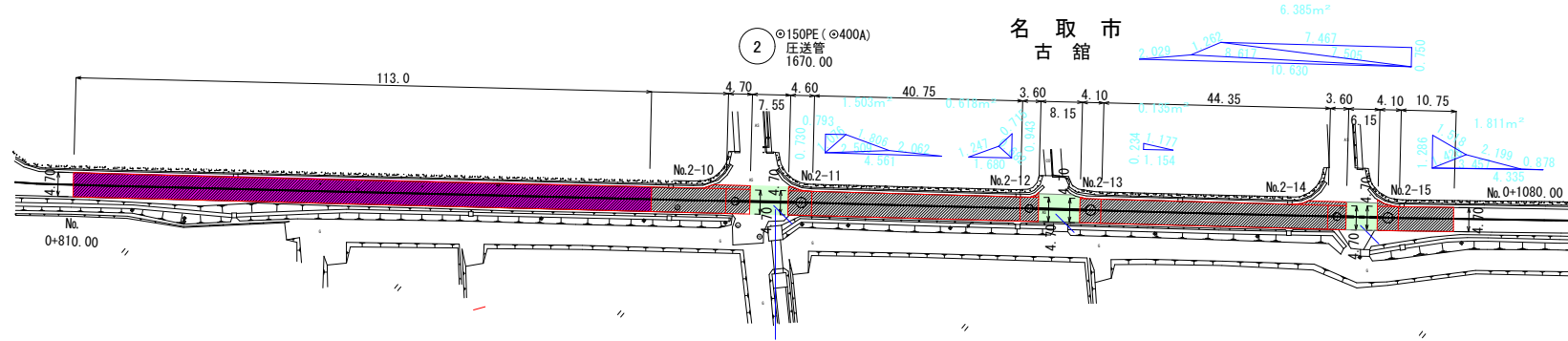
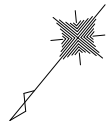
上部 平面図 S=1/50

農業集落排水事業 (大曲地区)
 図 名: 動力配管配管図 (2)
 縮 尺: S=1:50

宮城県 名取市

本復旧図(3)

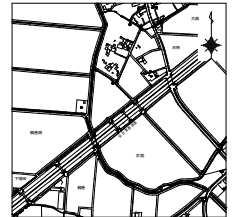
S=1:500
(S=1:1,000)



本復旧範囲

案内図

S=1:10,000 (S=1:20,000)



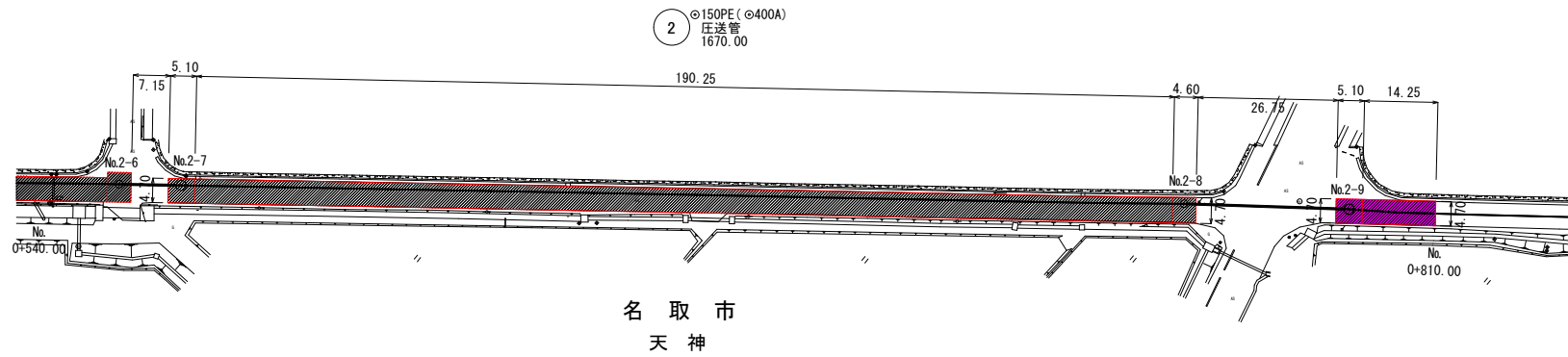
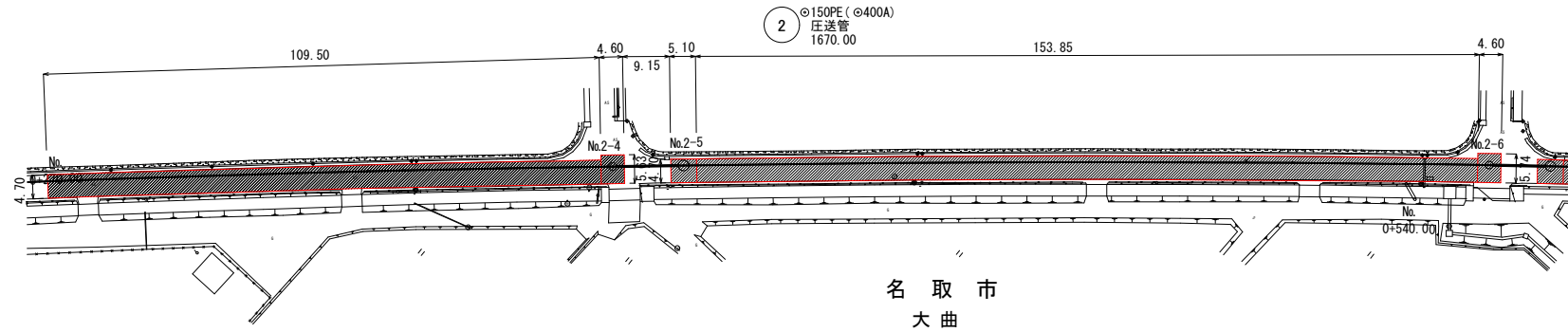
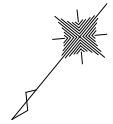
路線番号 ②

事業名	
工事名	令和7年度第2号大曲幹線築造工事(その6)
工事場所	名取市大曲地区
図面	本復旧図(3)
縮尺	図示
宮城県名取市建設部下水道課	図番

※()内の縮尺は、縮小版上での縮尺を表す。

本復旧図(2)

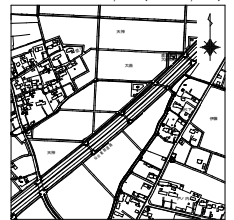
S=1:500
(S=1:1,000)



本復旧範囲

案内図

S=1:10,000 (S=1:20,000)



路線番号 ②

事業名	
工事名	令和7年度第2号大曲幹線下水道工事(その6)
工事場所	名取市大曲地区
図面	本復旧図(2)
縮尺	
図示	
宮城県名取市建設部下水道課 図番	①

※()内の縮尺は、縮小版上での縮尺を表す。